

横須賀市教育アンケート報告書

（学校教育編）

平成25年（2013年）9月

横須賀市教育委員会

I	調査目的及び実施方法等	3
II	集計結果	5
1	基本的属性	5
(1)	性別（全対象者）	5
(2)	学年・年齢	5
①	学年（児童生徒）	5
②	年齢（保護者、市民、教員）	6
(3)	勤続年数（教員）	7
(4)	勤務する学校（教員）	7
(5)	子どもが通う学校（保護者）	8
2	子ども自身	9
(1)	子どもの長所（児童生徒）	9
(2)	子どもの将来（児童生徒）	9
(3)	子どもの努力（児童生徒）	10
3	家庭生活など	11
(1)	子どものことについて意識して取り組んでいること（保護者）	11
(2)	保護者の学校行事や活動への参加状況（保護者）	15
(3)	学校外での勉強の有無（児童生徒）	16
(4)	学校外での勉強時間（児童生徒）	17
(5)	学校外での読書時間（児童生徒）	17
(6)	問題解決（児童生徒）	18
(7)	平日の就寝時間（児童生徒）	19
(8)	家族との交流（児童生徒）	20
4	地域との関わり	22
(1)	地域との交流（児童生徒）	22
(2)	公共の場での行動（児童生徒）	26
(3)	自分の町について（児童生徒）	26
(4)	異国文化への興味・関心	27
(5)	地域に開かれた学校への取り組み（保護者、市民、教員）	28
(6)	学校への関わり方（保護者、市民、教員）	29
(7)	やっているボランティア・やってもらいたいボランティア活動内容	31

5	学校教育（学校での生活、勉強）	33
(1)	授業理解度(児童生徒、教員)	33
(2)	授業に取り組む姿勢（児童生徒）	35
(3)	わかりやすい授業（児童生徒）	36
(4)	園児や他学年、地域との交流（児童生徒）	37
(5)	学校のきまり（児童生徒）	37
(6)	望まれる学校像（児童生徒）	38
(7)	クラス活動や学校行事への協力（児童生徒）	39
(8)	担当クラスで困ったこと(教員)	40
(9)	望まれる教師像（児童生徒、保護者、市民、教員）	42
(10)	教員が希望する研修（教員）	45
(11)	教員の仕事の現状（教員）	46
(12)	子どもの教育に必要だと思うこと（保護者、市民、教員）	50
(13)	基礎的学力向上への取り組み(保護者、教員)	51
(14)	いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み（保護者、教員）	53
(15)	横須賀市の教育への評価（保護者、市民、教員）	55
(16)	取り組みへの評価（保護者、市民、教員）	72
6	悩みなど	76
(1)	健康や体力に関する問題（児童生徒）	76
(2)	運動（児童生徒）	77
(3)	悩みなどの有無（教員）	77
(4)	悩みや困ったことの内容（児童生徒、保護者、教員）	78
(5)	落ち込んだ時の対処方法（児童生徒）	81
(6)	相談相手（児童生徒、保護者、教員）	82
(7)	いじめはしてはいけないことか（児童生徒）	86
7	全体的なこと	87
(1)	子どもを取り巻く環境(昔の環境との比較)(保護者、市民、教員)	87
(2)	横須賀市教育振興基本計画について（保護者、市民）	91
	【自由意見】	92

I 調査目的及び実施方法等

1 調査目的

本調査は、市民、市内の公立学校に通う児童・生徒及びその保護者、並びに教職員が教育に対して何を望んでいるのか、また、どのような考えを持っているのかを把握し、横須賀市教育委員会が平成23年度に策定した横須賀市教育振興基本計画（計画期間：平成23年度～平成33年度）における次期実施計画期間（平成26年度～平成29年度）の計画策定や今後の教育行政施策の参考とするために実施しました。

2 調査対象及び回収数

(1) 調査の対象

① 児童・生徒

地域ごとに学校を選定し、小学校4～6年生、中学校と高等学校の各学年1クラスずつ及びろう学校（中等部・高等部）の児童生徒に学校を通して配布・回収しました。

小学校名			中学校名			高等学校	ろう学校
4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生		
追浜	鷹取	長浦	追浜	田浦	坂本	横須賀総合 全日制 (1～3年生) 定時制 (2年生)	中等部 高等部
汐入	山崎	公郷	衣笠	公郷	常葉		
衣笠	大津	馬堀	浦賀	馬堀	大矢部		
浦賀	高坂	明浜	岩戸	久里浜	野比		
野比	津久井	武山	武山	長井	北下浦		

② 教員

地域ごとに学校を選定し、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員に配布・回収しました。

小学校名			中学校名			高等学校	特別支援学校
夏島	田浦	桜	鷹取	不入斗	衣笠		
鶴久保	池上	大矢部	浦賀	野比	武山	横須賀総合	ろう
根岸	大塚台	岩戸					養護
野比東	北下浦						

③ 保護者

地域ごとに学校を選定し、小学校1～6年生、中学校と高等学校の各学年1クラスずつ及び特別支援学校の保護者に学校を通して配布・回収しました。

小学校名			中学校名			高等学校	特別支援学校
1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生		
富士見	神明	望洋	大矢部	常葉	田浦	横須賀総合 全日制1年 定時制1年	ろう
4年生	5年生	6年生	大楠	北下浦	鴨居		養護
平作	諏訪	船越					

④ 市民

住民基本台帳から抽出し、郵送にて配布・回収しました。

(2) 調査期間

平成25年（2013年）年1月上旬～1月下旬

(3) アンケート調査票の配布数と回収結果

対 象	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
	A	B	B/A
児 童 ・ 生 徒	1,133	1,111	98.1
教 員	515	486	94.4
保 護 者	473	406	85.8
市 民	1,000	342	34.2

3 集計結果の表記方法

- ① 「回答数」「N」は回答資格者総数から未回答などを除いた数値で、割合の算出の基準となっています。
- ② 「回答率」は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計100%とならない場合があります。
- ③ 一人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100%を超えています。
- ④ コメント欄に記載してある前回の結果は、平成22年に実施した調査結果です。

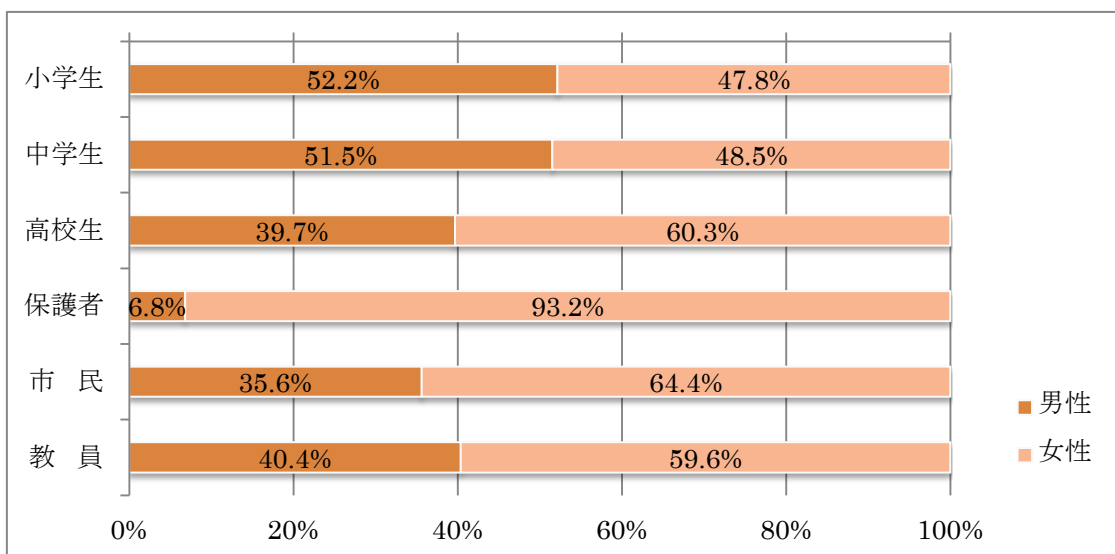
Ⅱ 集計結果

1 基本的な属性

(1) 性別

(児童生徒) 問1 あなたの性別を教えてください。

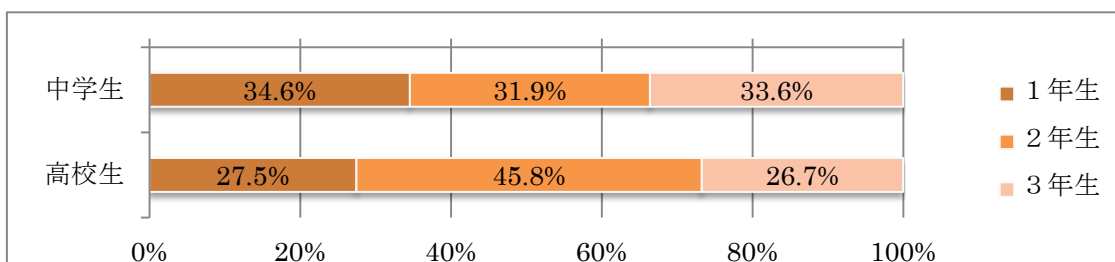
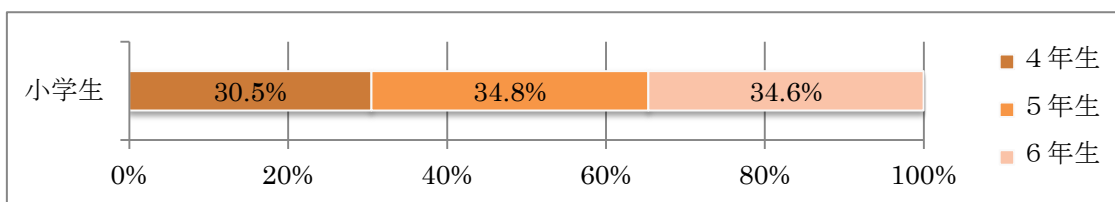
(保護者・市民・教員) 問1 あなたの性別を記載してください。



(2) 学年・年齢

① 学年

(児童生徒) 問2 あなたは何年生ですか。(1つに○)

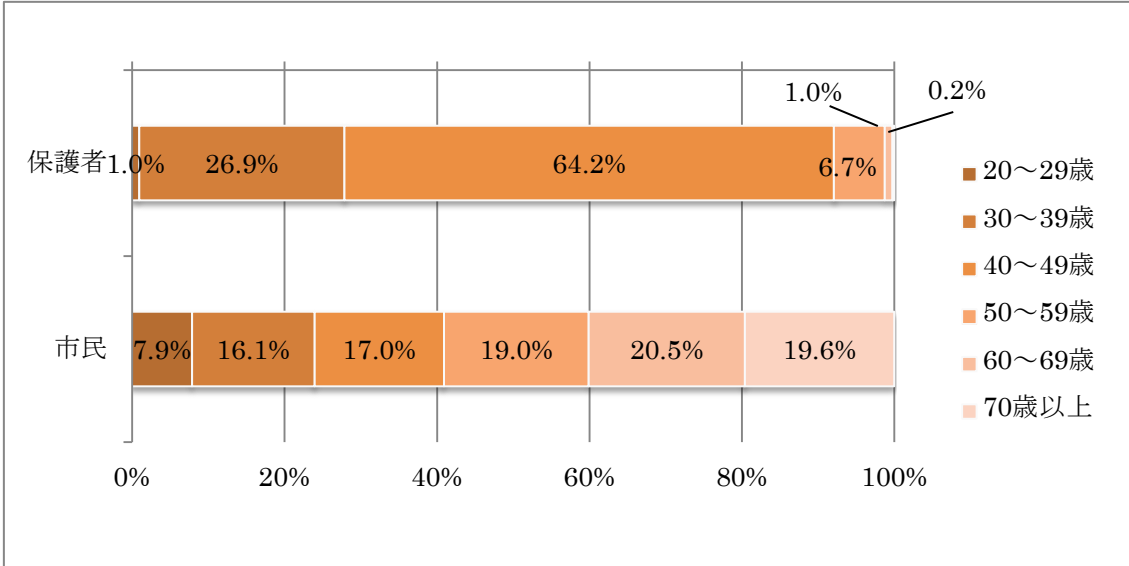


※ 高校2年生については、定時制にも配布

② 年齢

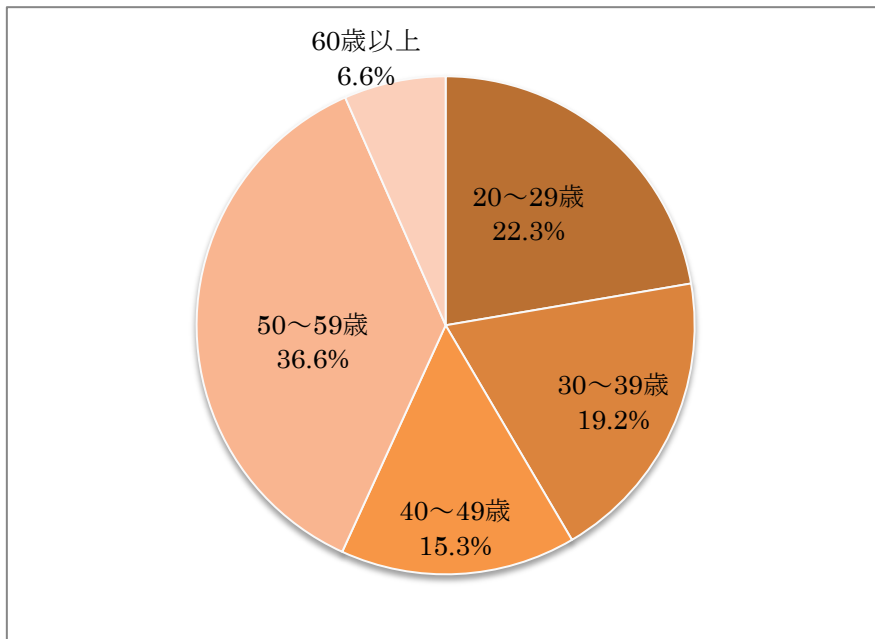
ア 保護者・市民

（保護者・市民）問2 あなたの年齢を教えてください。



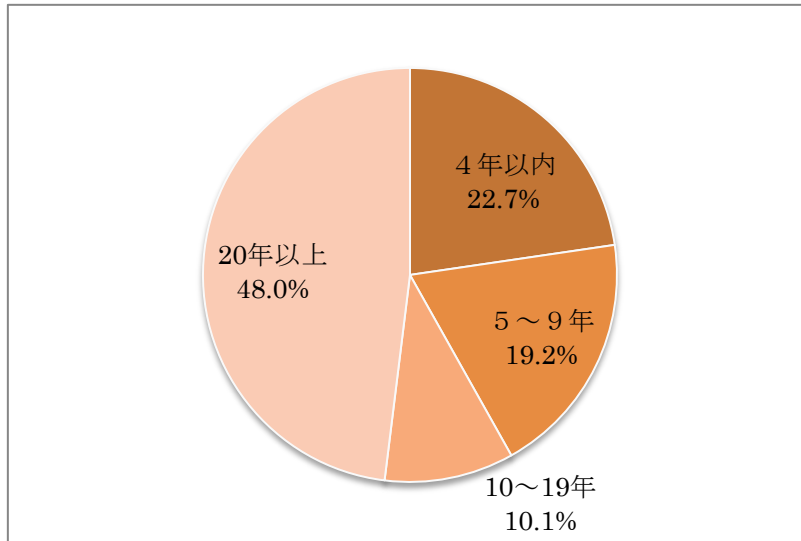
イ 教員

（教員）問2 あなたの年齢は、何歳ですか。



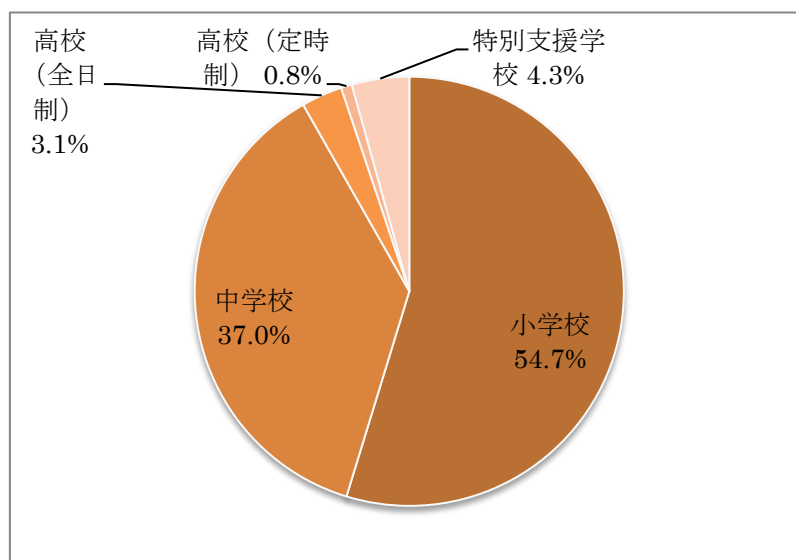
（3）勤続年数

（教員）問3 あなたの教員としての勤続年数は何年ですか。



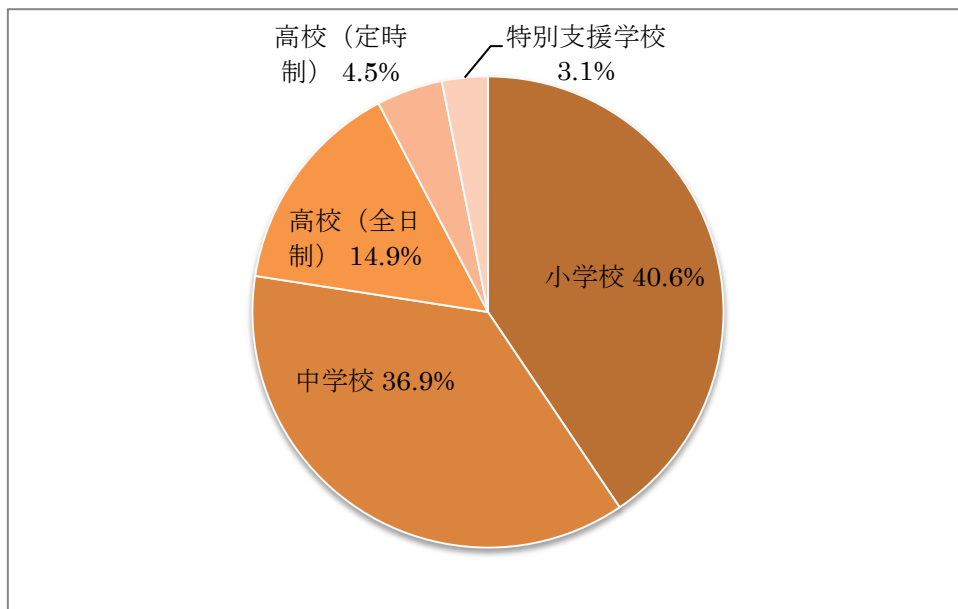
（4）勤務する学校

（教員）問4 あなたの勤務する学校種別をお答えください。



（５）子どもが通う学校

（保護者）問 10 お子さんはどの学校に通われていますか。（あてはまるものすべてに○）



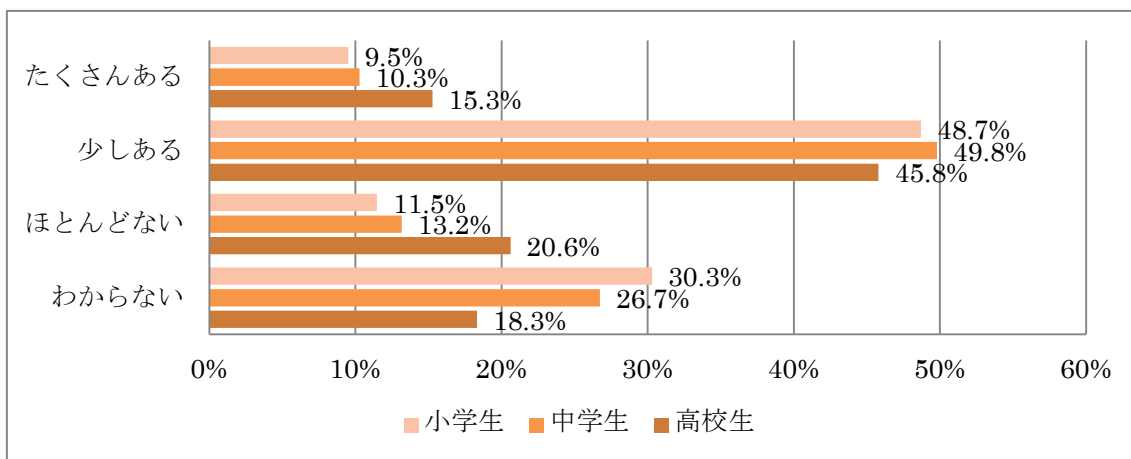
2 子ども自身

(1) 子どもの長所

(児童生徒) 問3 自分には、良いところがあると思いますか。(1つに○)

※小学生、中学生、高校生ともに、「たくさんある」「少しある」の割合が5割を超えている。

小 N=462 中 N=516 高 N=131



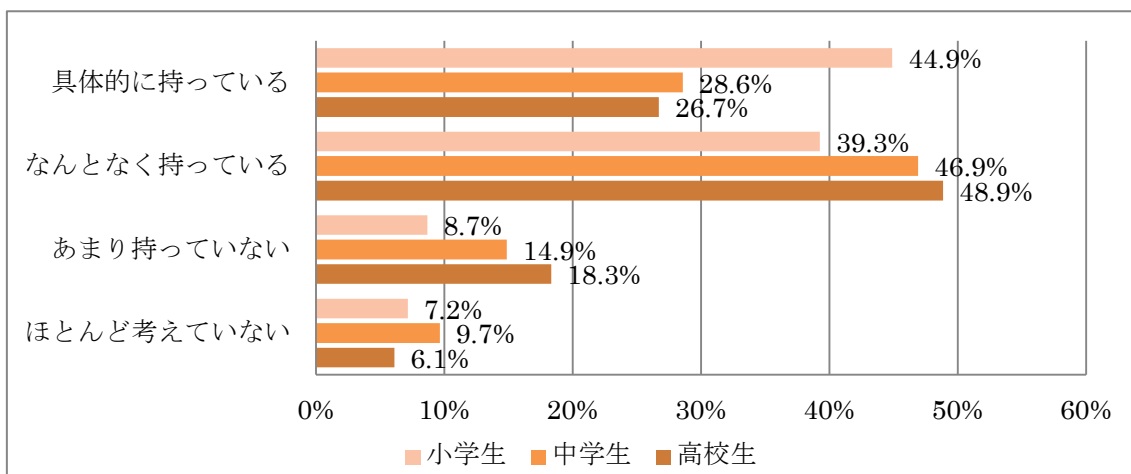
(2) 子どもの将来

(児童生徒) 問4 自分の将来に希望を持っていますか。(1つに○)

※小学生、中学生、高校生ともに、7割以上が「具体的に持っている」あるいは「なんとなく持っている」を選んでいる。

※小学生では4割以上が「具体的に持っている」を選んでおり、中学生・高校生と違いがみられる。

小 N=461 中 N=518 高 N=131



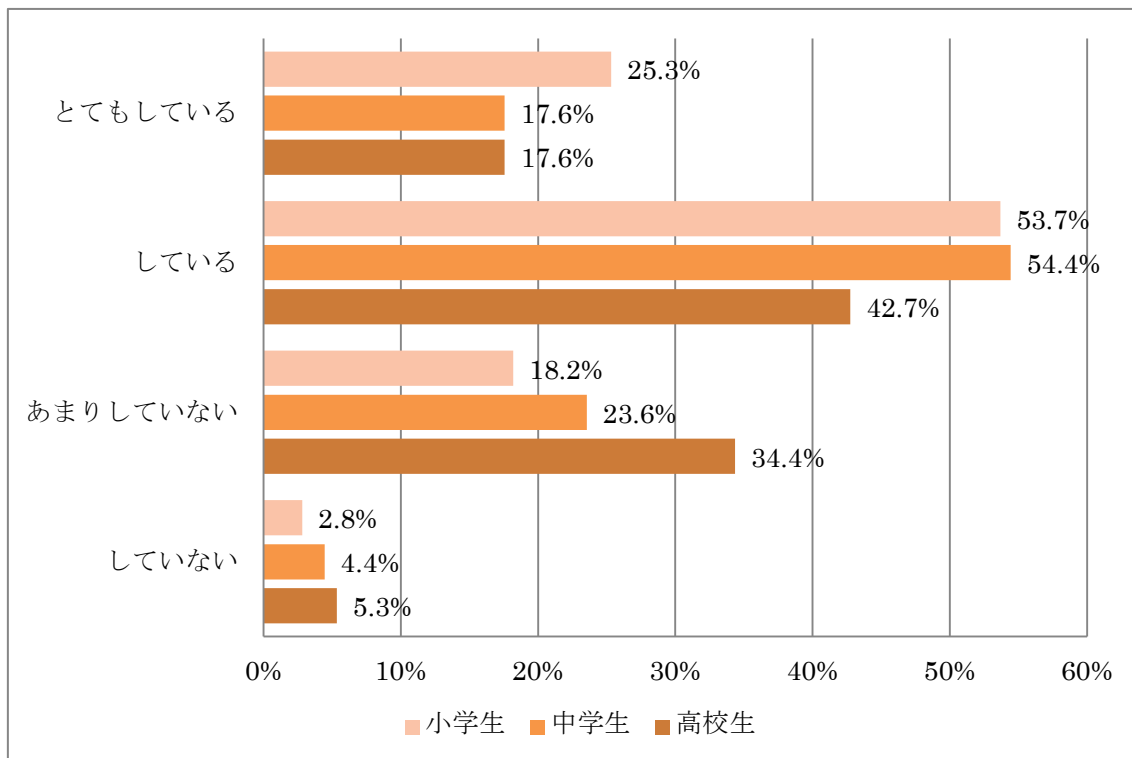
（3）子どもの努力

（児童生徒）問5 自分の力を伸ばそうと努力していますか。（1つに○）

※小学生、中学生の5割以上が「している」を選んでいるが、高校生は約4割にとどまっている。

※高校生は3割以上が「あまりしていない」を選んでいるとともに、小→中→高と年齢があがるにつれて、その割合は高くなっている。

小 N=462 中 N=518 高 N=131



3 家庭生活など

(1) 子どものことについて意識して取り組んでいること

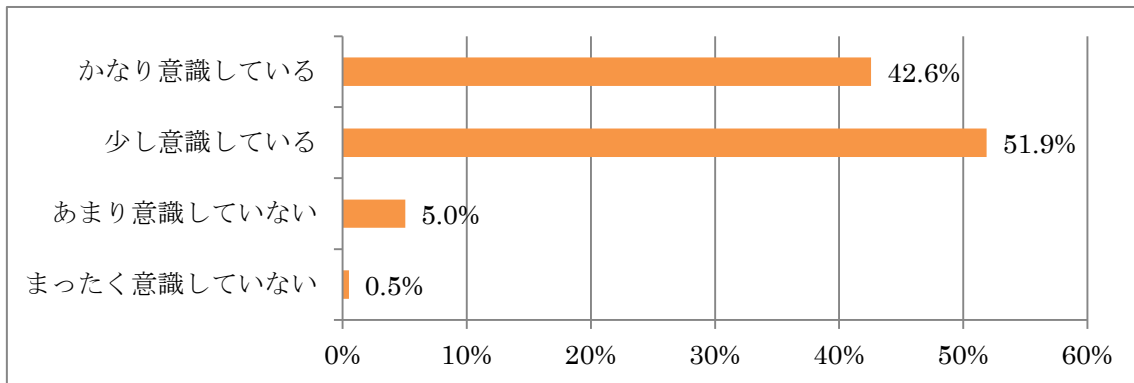
(保護者)問 11 お子さんのことについてどのくらい意識して取り組まれてきたかをお答えください。(①～⑩のそれぞれ1つに○)

※①、③、⑥、⑧、⑩の内容については「かなり意識している」「少し意識している」を選んだ割合が9割を超えている。

※④の「テレビやパソコンは時間を決めてみる」については、「あまり意識していない」「まったく意識していない」が3割を超え、高くなっている。

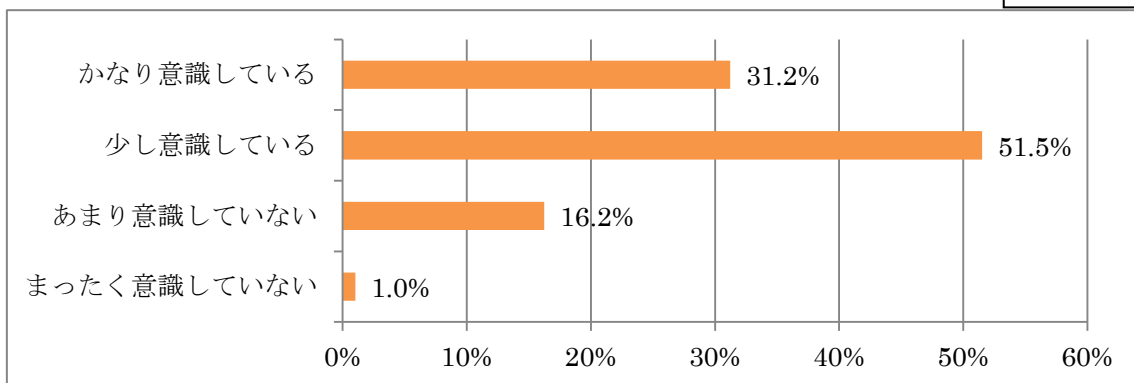
① 3食バランスよく食事をとる

N=397



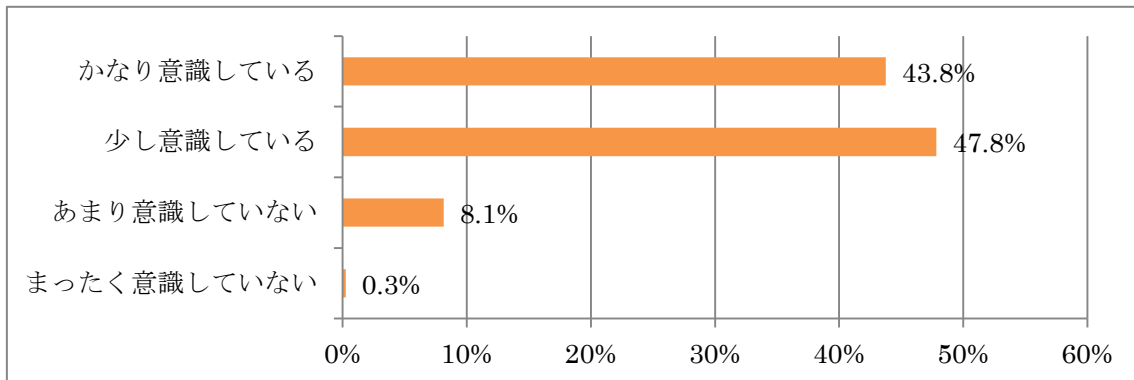
② 運動する

N=394



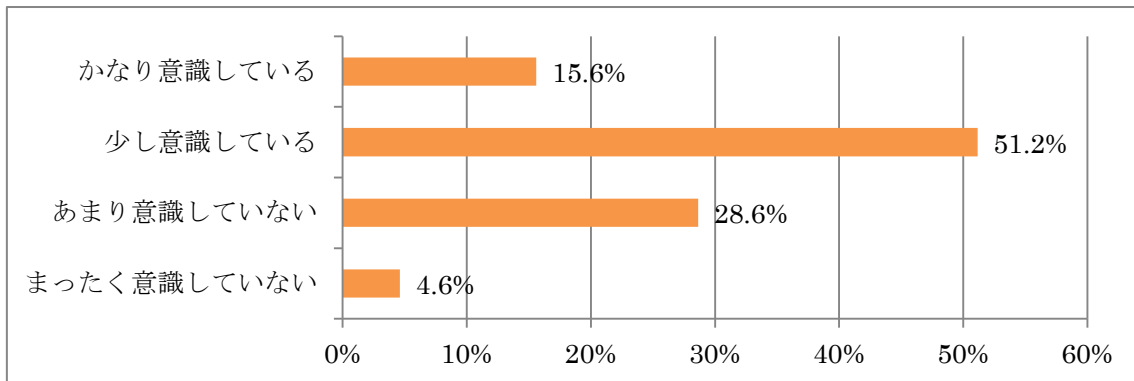
③ 寝る時間に気をつける

N=393



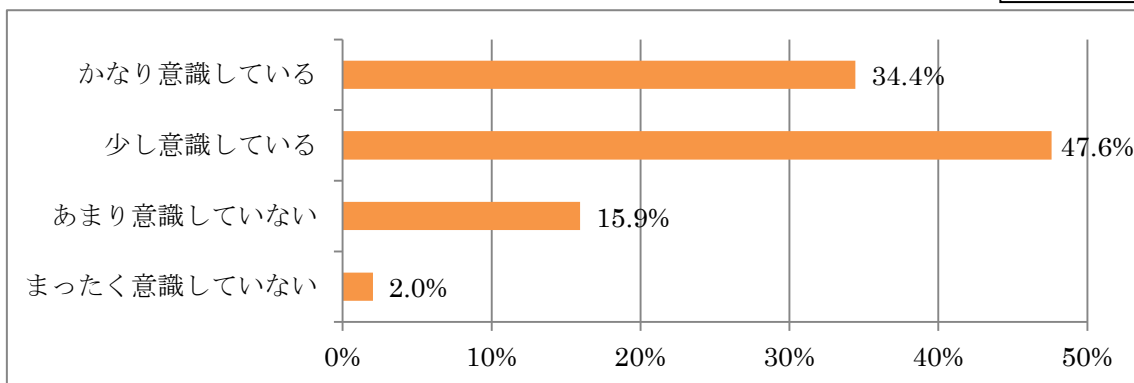
④ テレビやパソコンは時間を決めて見る

N=391



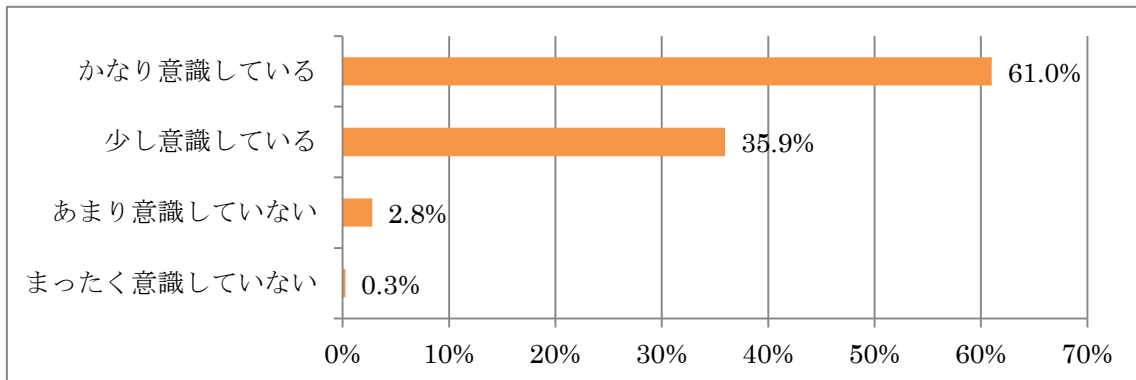
⑤ 家での学習習慣を身に付ける

N=395



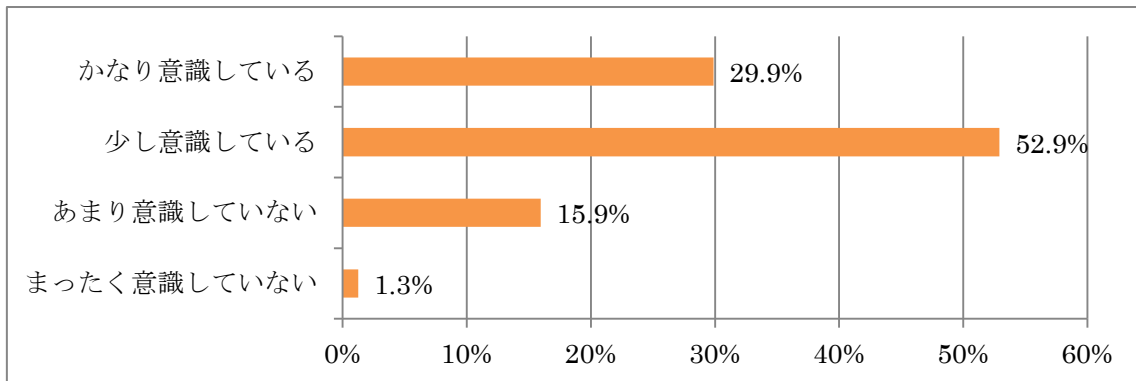
⑥ 礼儀を身に付ける

N=395



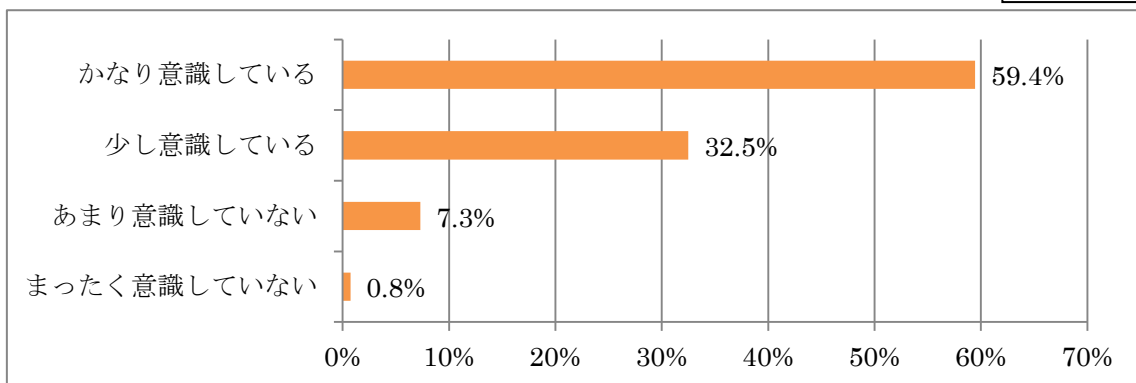
⑦ 家事などの手伝いをする

N=395



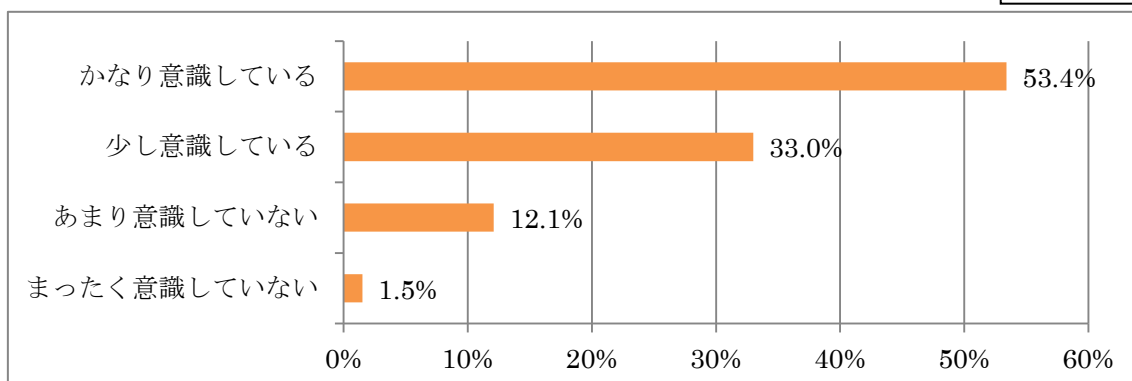
⑧ 家族に「おはよう」とあいさつする

N=397



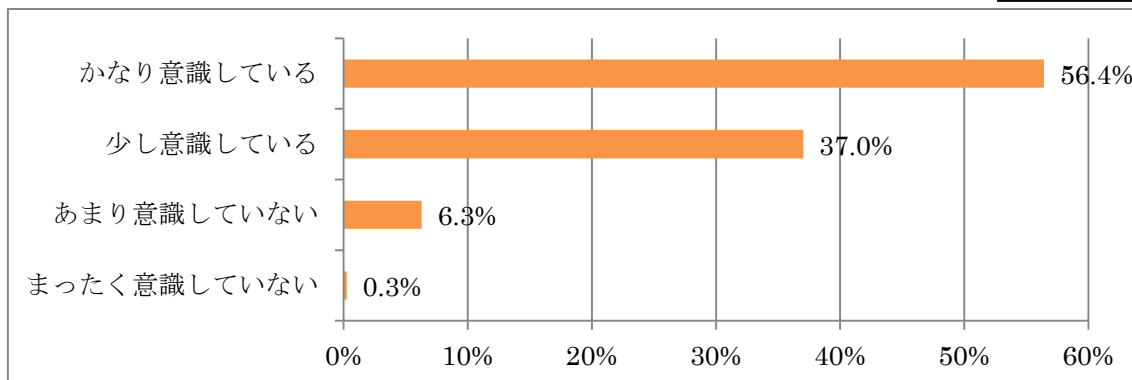
⑨ 呼ばれたら「はい」と返事をする

N=397



⑩ 親とよく会話するようにする

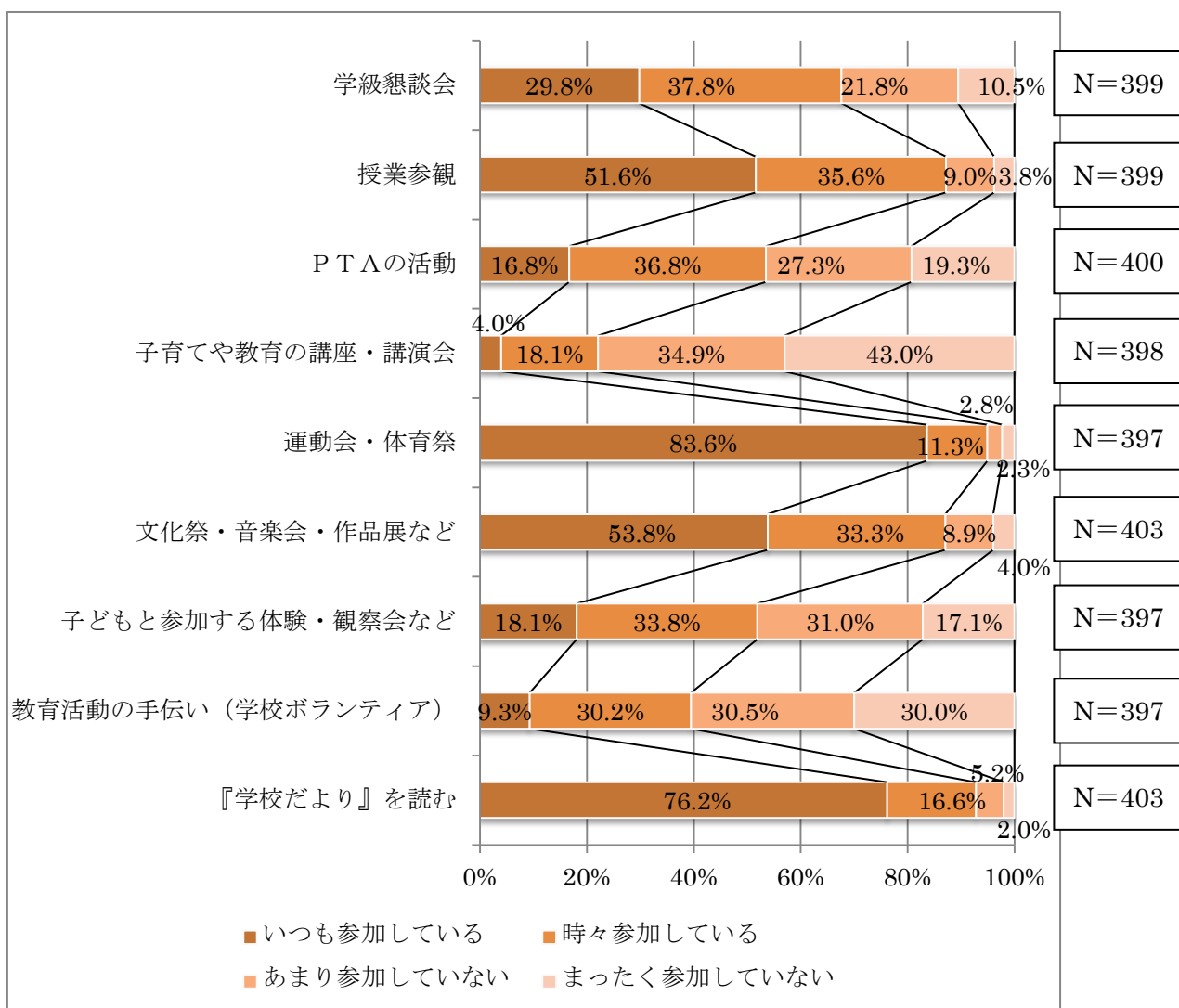
N=397



（２）保護者の学校行事や活動への参加状況

（保護者） 問 12 あなたは、次のような学校行事や活動に参加していますか。
 （①から⑨のそれぞれ1つに○）

※「いつも参加している」「時々参加している」の割合が、「学校懇談会」では67.6%（前回73.5%）、「授業参観」では87.2%（前回89.9%）、「PTAの活動」では53.6%（前回56.9%）、「子育てや教育の講座・講演会」では22.1%（前回23.7%）、「子どもと参加する体験・観察会など」では51.9%（前回53.2%）、「『学校だより』を読む」では92.8%（前回94.4%）となっており、前回より低くなっている。一方で、「運動会・体育祭」では94.9%（前回94.2%）や「文化祭・音楽会・作品展など」では87.1%（前回80%）と前回より割合が高くなっている。

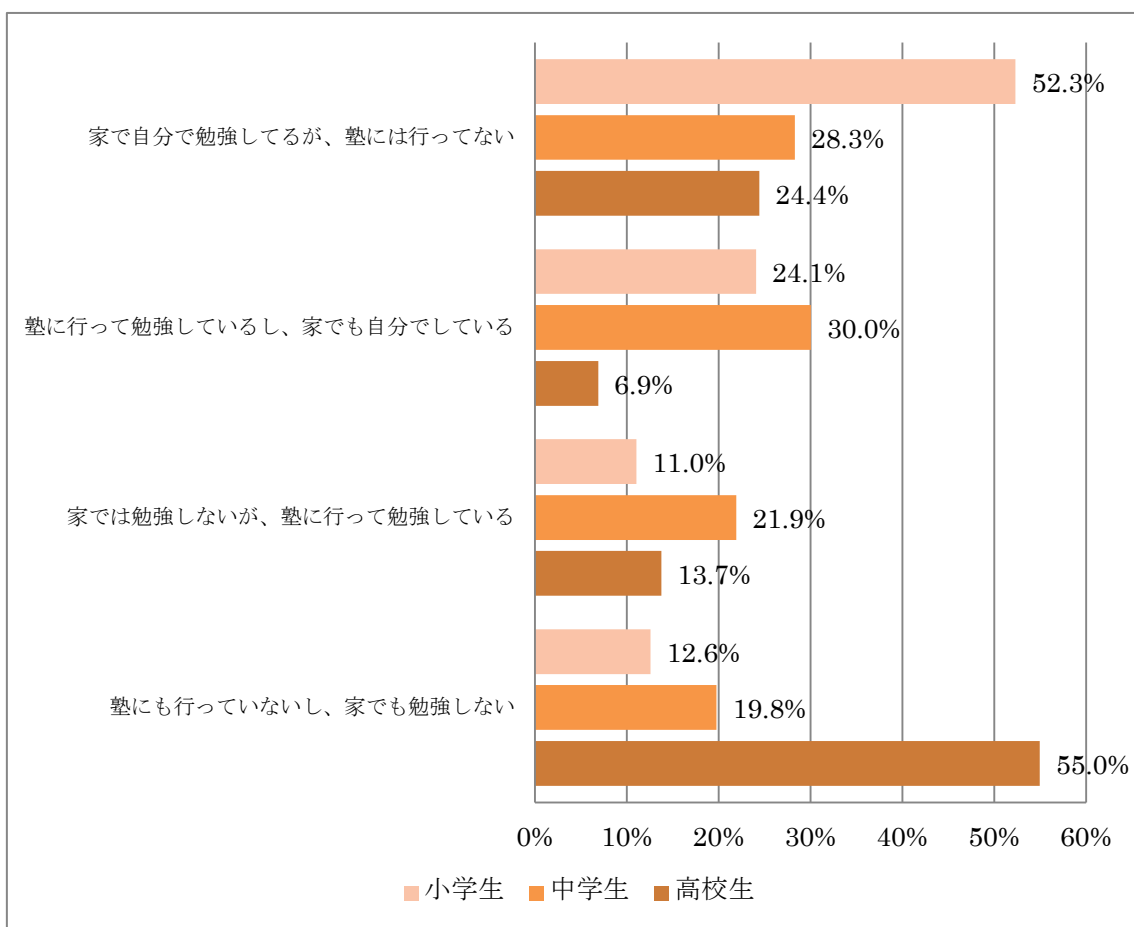


（3）学校外での勉強の有無

（児童生徒）問 20 学校から帰って、勉強していますか。塾には家庭教師も含まれます。（1つに○）

※小学生では「家で自分で勉強してるが、塾には行ってない」を選んだ割合が52.3%であり最も高くなっているが、高校生では「塾にも行ってないし、家でも勉強しない」の割合が55%と最も高くなっている。

小 N= 453 中 N=516 高 N=131



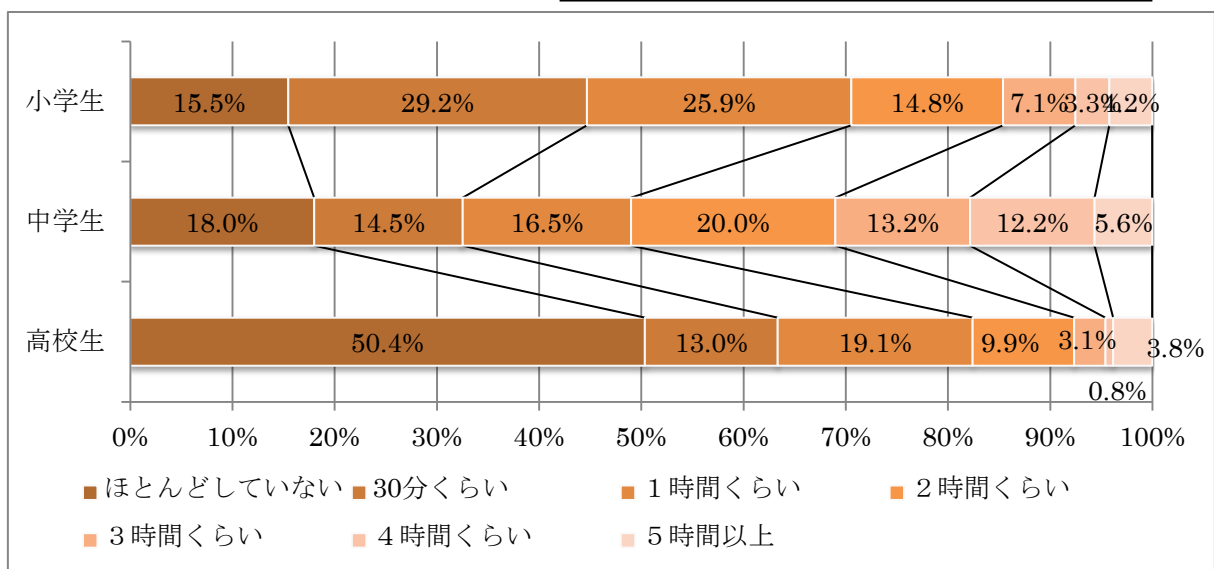
（４）学校外での勉強時間

（児童生徒）問 21 あなたは、ふだん（平日）、学校以外で、1日に何時間くらい勉強していますか。（1つに○）学習塾に行っている人は、そこでの勉強時間も入れてください。

※「ほとんどしていない」を選んだ割合が、小学生 15.5%（前回 12.3%）、中学生が 18%（前回 24.4%）、高校生が 50.4%（前回 63.0%）で、中学生と高校生については前回と比べて改善傾向がみられる。

※1時間以上勉強している割合は、小学生で 55.3%（前回 62.8%）、中学生で 67.5%（前回 67.7%）、高校生で 36.6%（前回 21.3%）となっている。

小 N=452 中 N=516 高 N=131

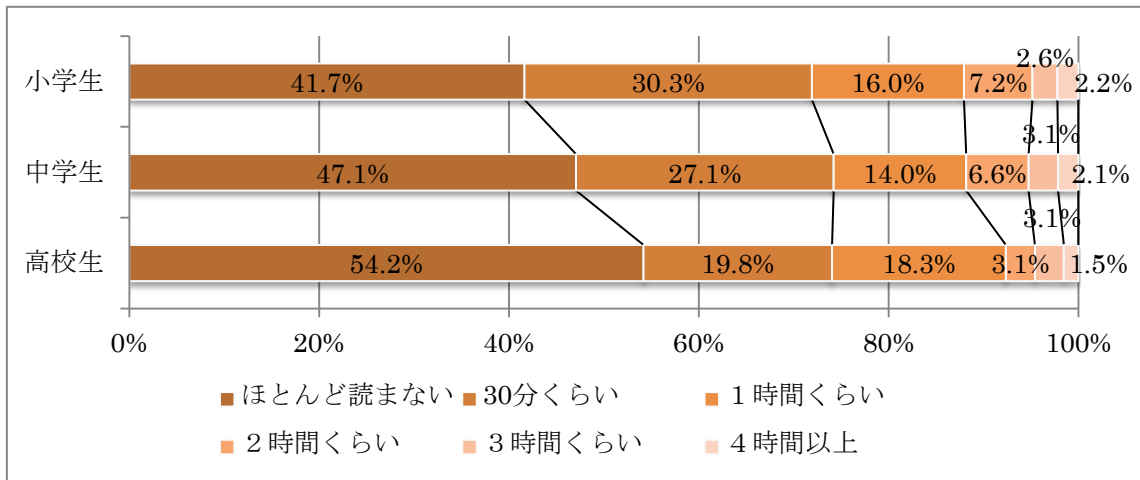


（５）学校外での読書時間

（児童生徒）問 22 あなたは、ふだん（平日）、学校以外で、一日に何時間くらい本や新聞を読みますか（1つに○）。

※「ほとんど読まない」を選んだ割合は、小学生 41.7%（前回 35.0%）、中学生 47.1%（前回 51.0%）、高校生 54.2%（前回 60.6%）で、小→中→高と上がるにつれ、割合が高くなっている。また、「ほとんど読まない」の割合が、小学生で 41.7%（前回 35.0%）と前回より高くなっている。

小 N=456 中 N=516 高 N=131

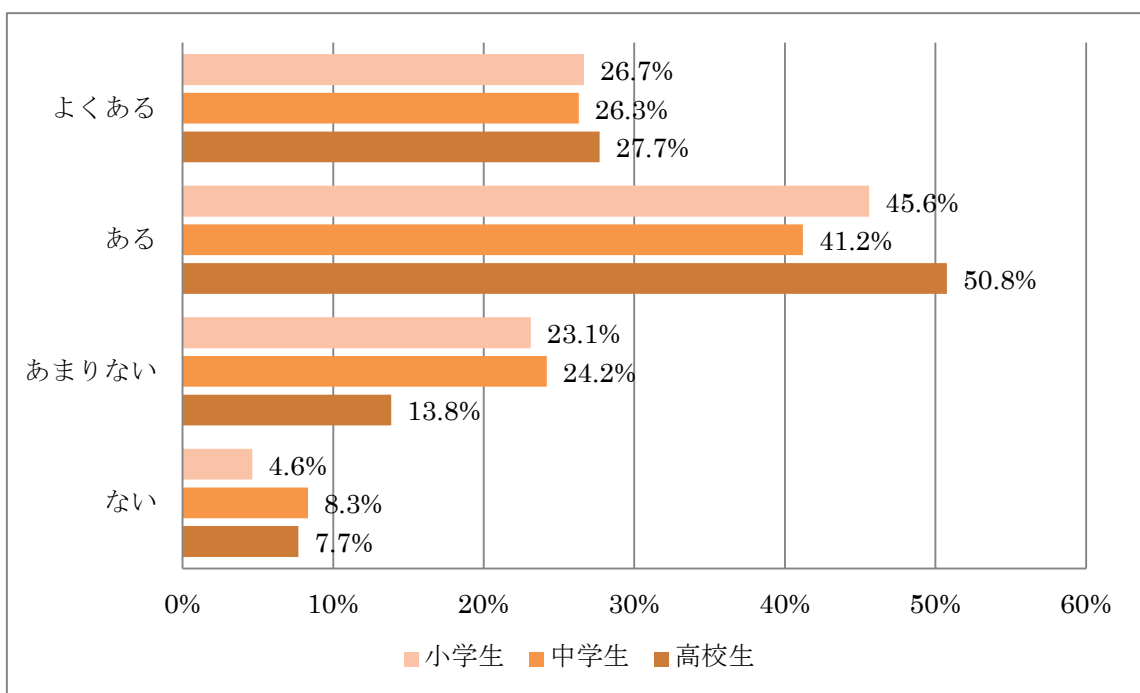


（6）問題解決

（児童生徒）問 23 調べたり考えたりして、問題を解決することの楽しさややりがいなどの良さを感じたことはありますか。（1つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「よくある」、「ある」を選んだ割合が、約7割以上となった。

小 N=454 中 N=517 高 N=130

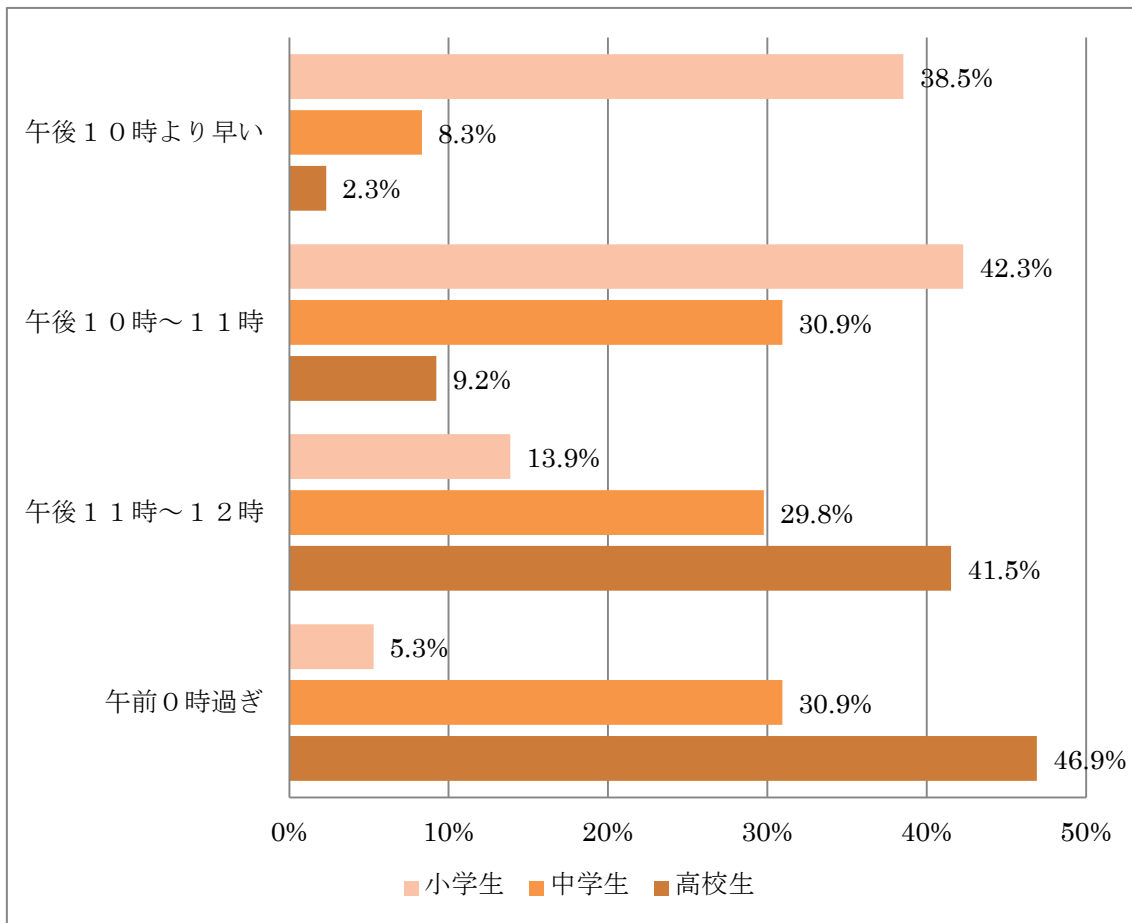


（7）平日の就寝時間

（児童生徒）問 24 平日、寝るのは何時ごろが多いですか。（平日とは、学校のある日と考えてください）（1つに○）

※小学生は8割以上が午後11時までには寝ており、高校生は約半数の割合の生徒が午前0時過ぎに寝ている。

小 N=454 中 N=517 高 N=130

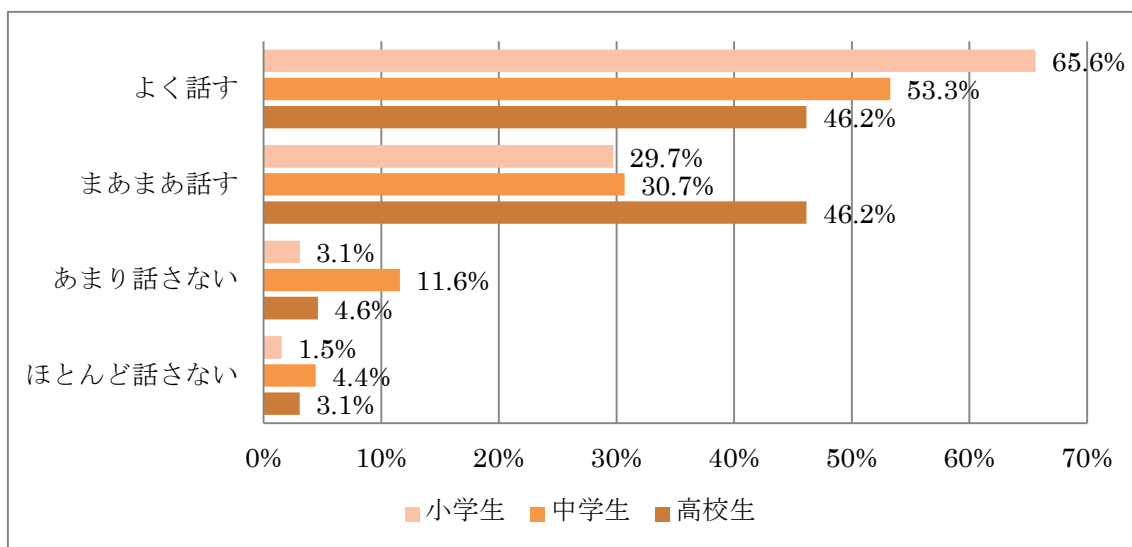


（８）家族との交流

（児童生徒）問 25 家族とよく話をしますか。（１つに○）

※小学生・中学生・高校生ともに「よく話す」、「まあまあ話す」を選んだ割合が８割以上となっている。

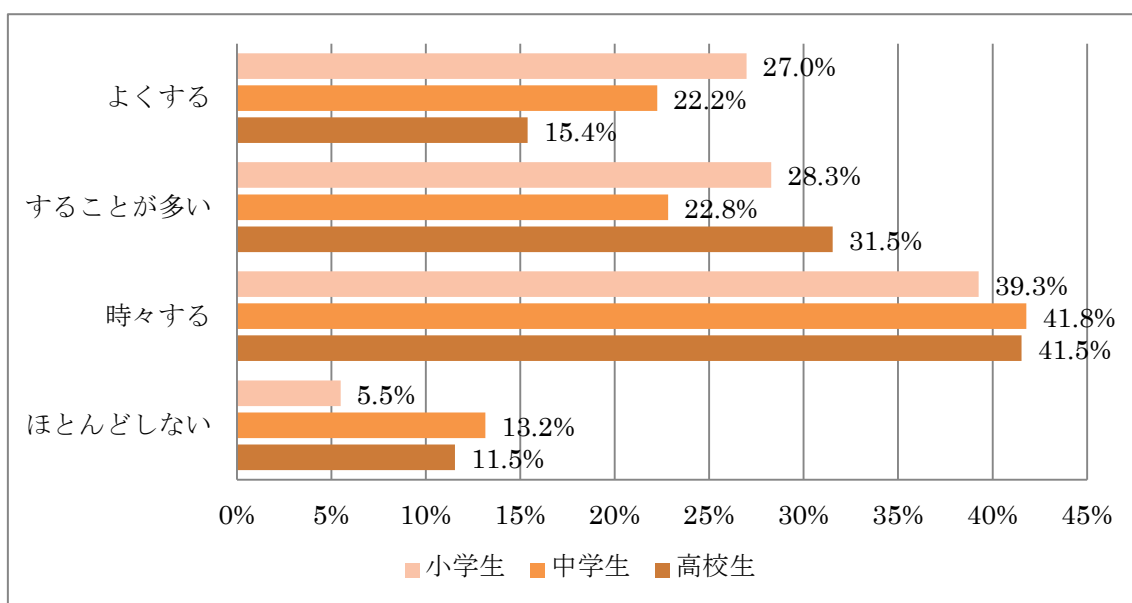
小 N=454 中 N=518 高 N=130



（児童生徒）問 26 家庭で、手伝いをしますか。（１つに○）

※小学生・中学生・高校生ともに「時々する」を選んだ割合が最も高くなっている。

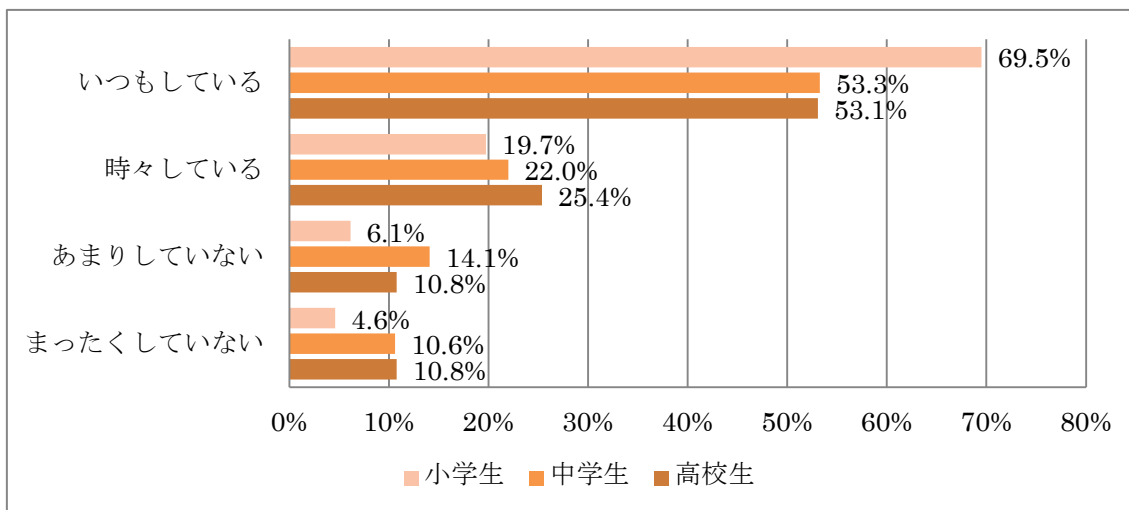
小 N=456 中 N=517 高 N=130



(児童生徒) 問 27 家族にふだん「おはよう」とあいさつをしていますか。(1つに○)

※小学生・中学生・高校生ともに「いつもしている」を選んだ割合が5割を超えている。一方、中学生・高校生は約1割が「まったくしていない」を選んでいる。

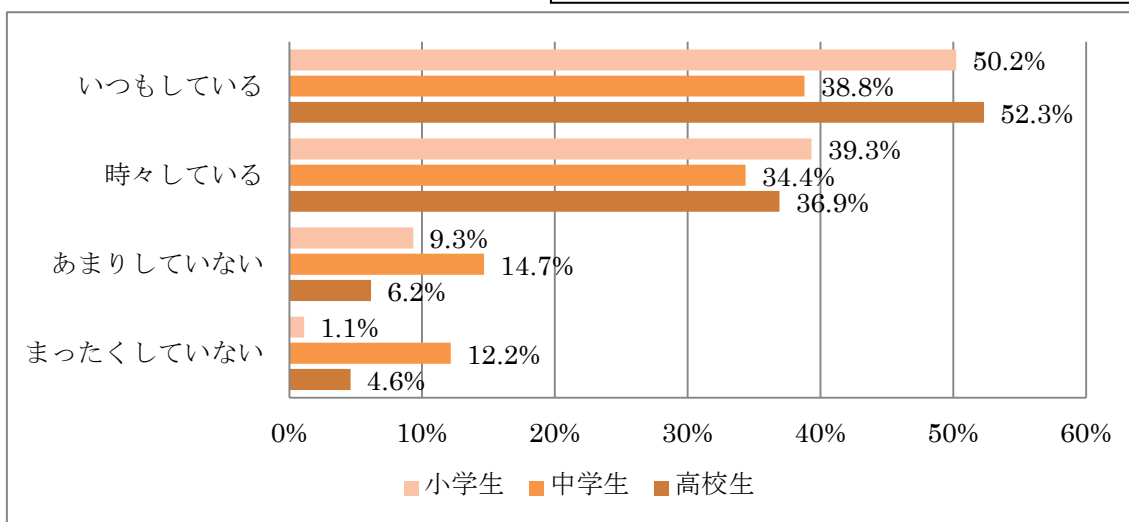
小 N=456 中 N=518 高 N=130



(児童生徒) 問 28 呼ばれたら「はい」と返事をしていますか。(1つに○)

※小学生・中学生・高校生ともに「いつもしている」、「時々している」の割合が7割を超えている。一方、中学生の約1割が「まったくしていない」を選んでいる。

小 N=450 中 N=518 高 N=130



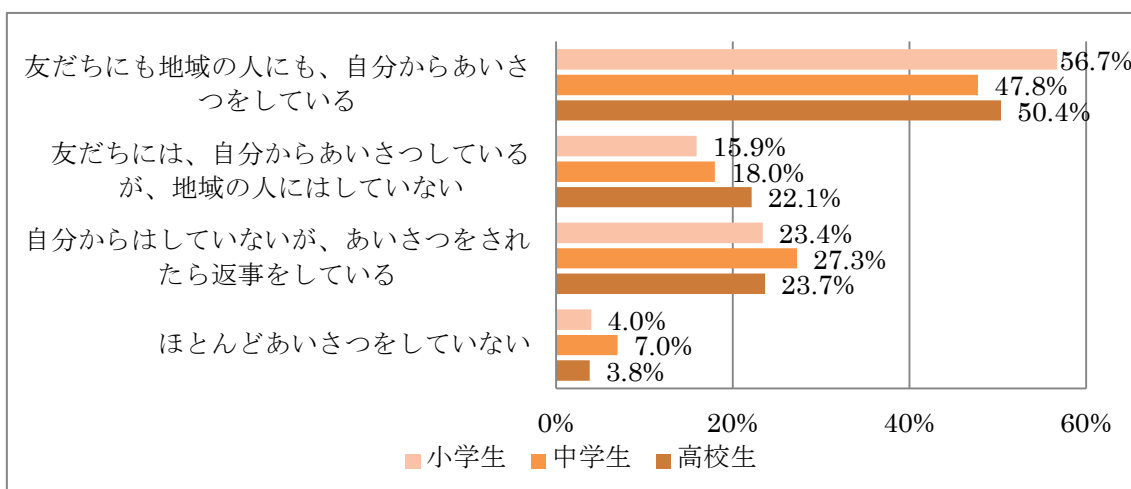
4 地域との関わり

(1) 地域との交流

(児童生徒) 問 29 友達や地域の人などに、自分からあいさつをしていますか。
(1つに○)

※小学生・中学生・高校生ともに約5割が「友だちにも地域の人にも、自分からあいさつをしている」を選んでいる。

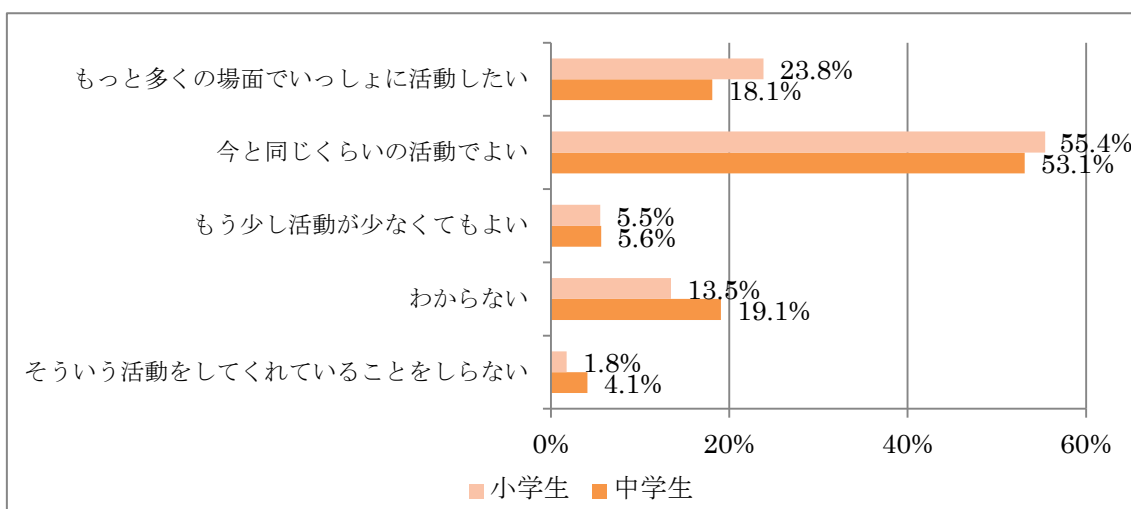
小 N=453 中 N=517 高 N=131



(児童生徒・小・中学生) 問 30 学校の行事や学習の手伝いなどをしてきている地域の方などの活動についてどう思いますか。(1つに○)

※小学生・中学生ともに約5割が「今と同じくらいの活動でよい」を選んでいる。

小 N=453 中 N=514

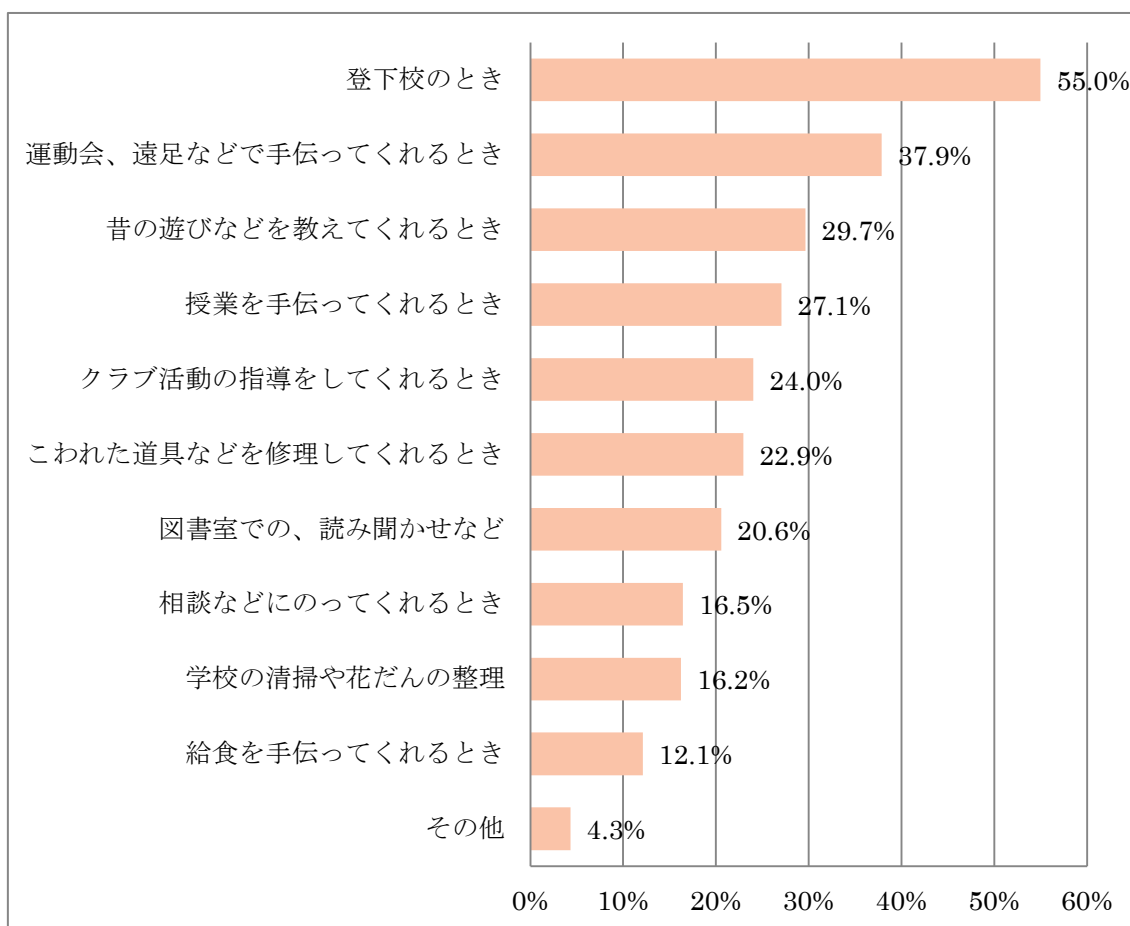


（児童生徒・小学生）

問 31 どのような場面で、学校の行事や学習の手伝いなどをしてきている地域の方などと接するとうれしいですか。（あてはまるものすべてに○）

※「登下校のとき」を選んだ割合が 55%（前回 32.9%）、「運動会、遠足などで手伝ってくれるとき」を選んだ割合が 37.9%（前回 13.7%）、「昔の遊びなどを教えてくれるとき」を選んだ割合が 29.7%（前回 5%）、「授業を手伝ってくれるとき」を選んだ割合が 27.1%（前回 9.1%）と、いずれも前回の割合よりも高くなっている。

小 N=462



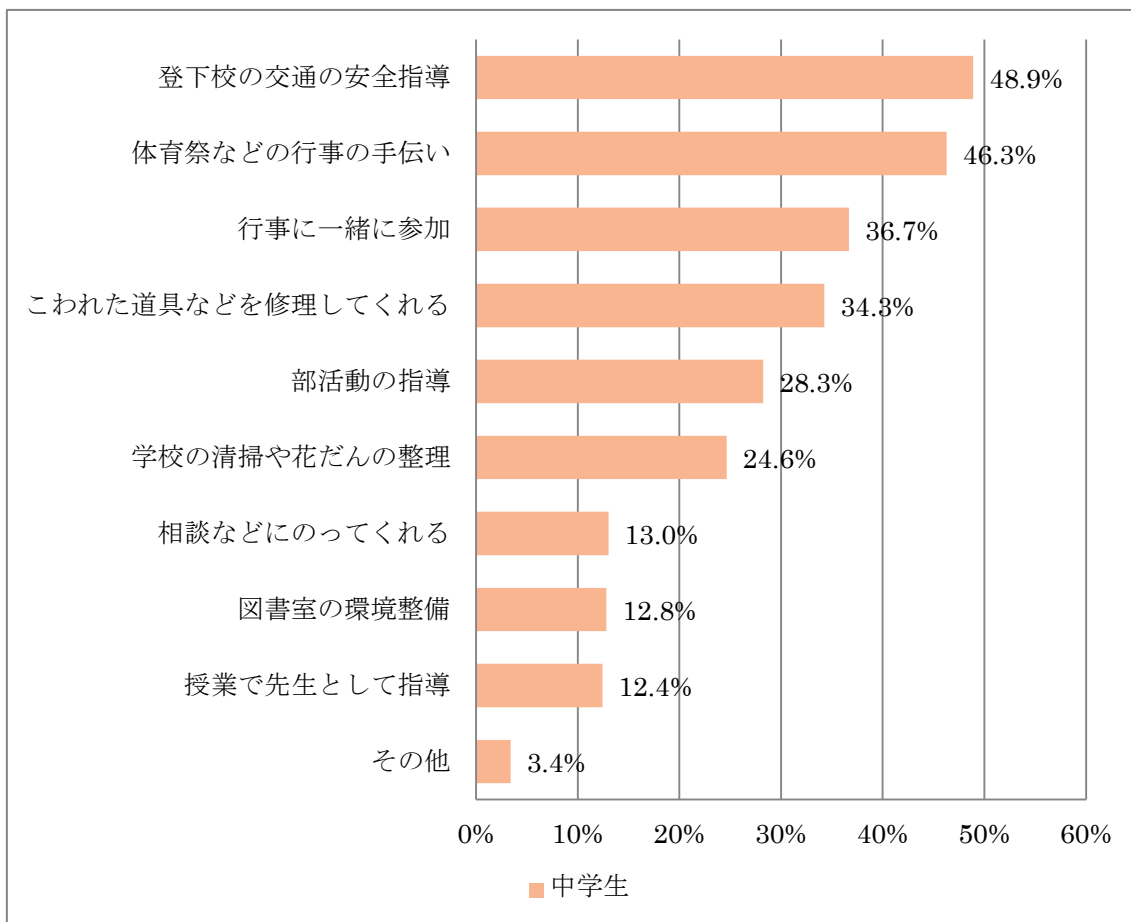
※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・スケボーをおしえてくれる人
- ・見送ってくれるとき
- ・話をしてくれる人
- ・休み時間にあそんでくれる
- ・昔の話(歴史)

（児童生徒・中学生）問31 どのような場面で、地域の方が、学校の行事などに関わってくれとよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

※「体育祭などの行事の手伝い」を選んだ割合が46.3%（前回10%）、「こわれた道具などを修理してくれる」を選んだ割合が34.3%（前回21.4%）、「部活動の指導」を選んだ割合が28.3%（前回4.5%）と、いずれも前回より大幅に高くなっている。

中 N=499



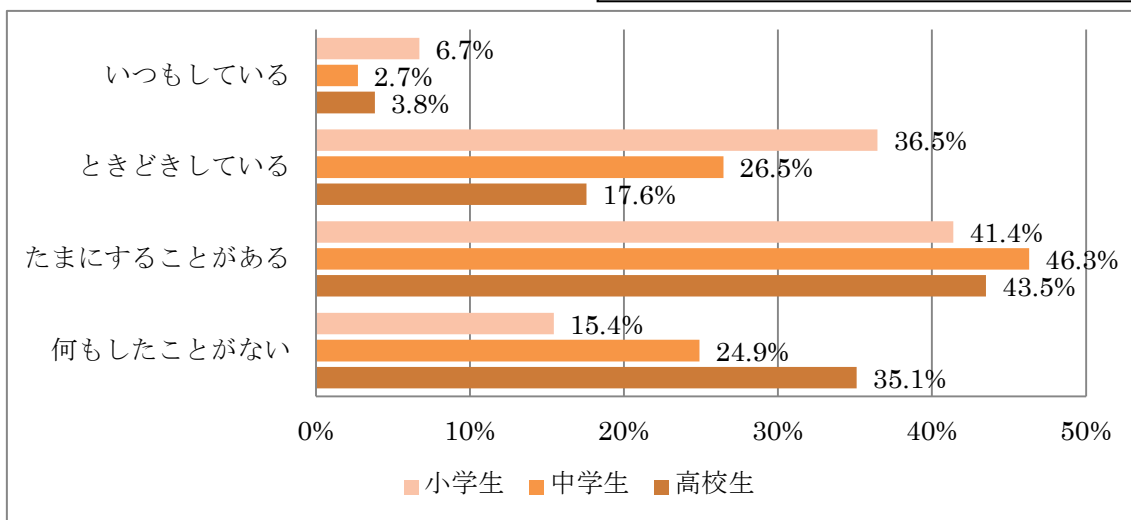
※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・ 防災訓練
- ・ ホタルの里について

（児童生徒・小・中学生）問 32 （高校生）問 30 地域のために何か役立つことをしていますか。（1つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「たまにすることがある」を選んだ割合が一番高い。「何もしたことがない」を選んだ高校生は約 35% となった。

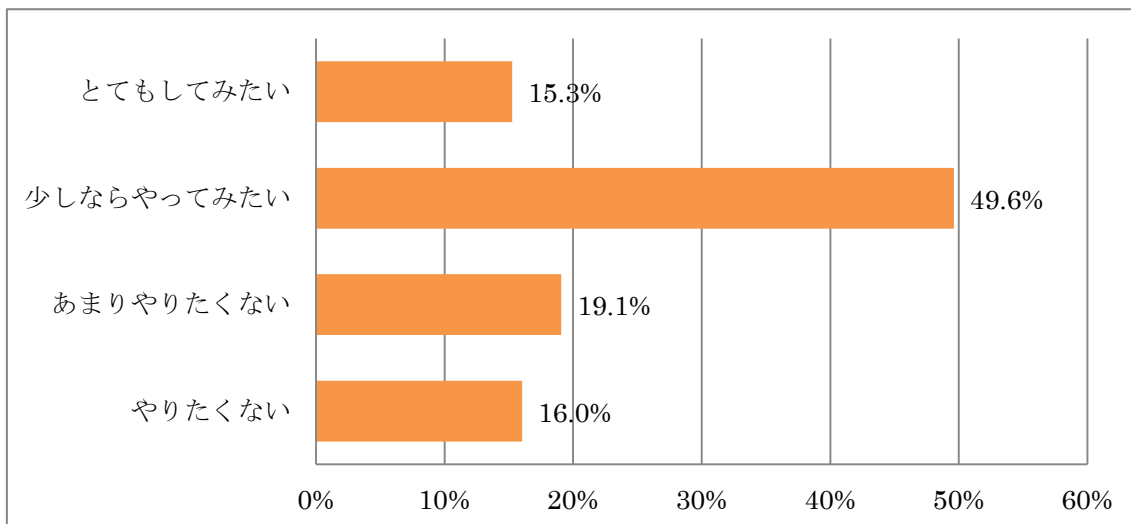
小 N=447 中 N=514 高 N=131



（児童生徒・高校生）問 31 自分の住む地域のためにこれから活動していきたいと思いませんか。（1つに○）

※「とてもしてみたい」、「少しならやってみたい」を選んだ生徒の合計は、6割を超えている。

高 N=131

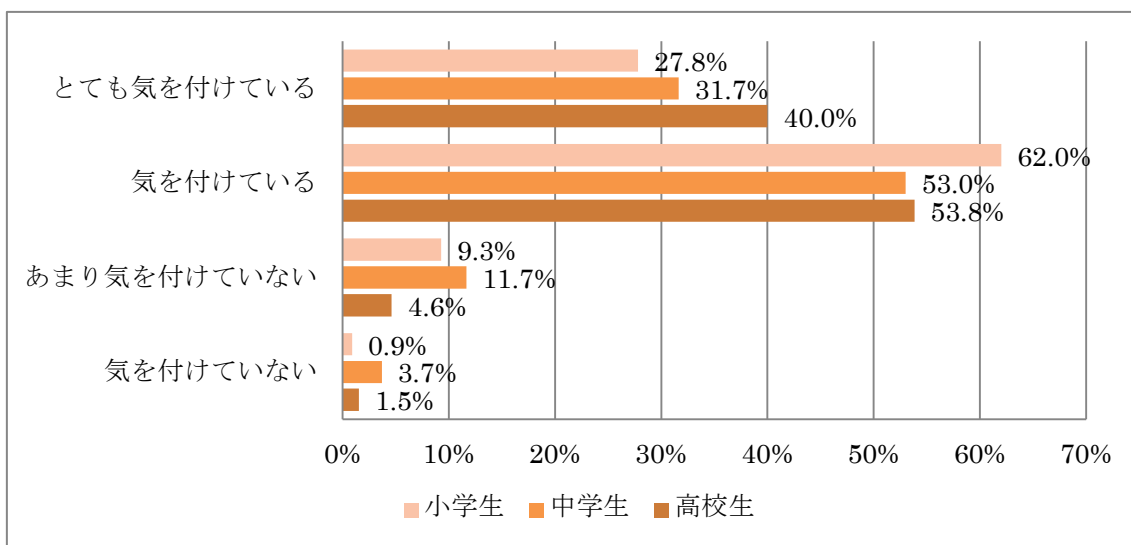


（２） 公共の場での行動

（児童生徒・小・中学生）問 33 （高校生）問 32 公共の場では、周りの人に迷惑にならないよう、気をつけて行動していますか。（１つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「とても気を付けている」、「気を付けている」を選んだ割合が８割を超えている。

小 N=453 中 N=515 高 N=130

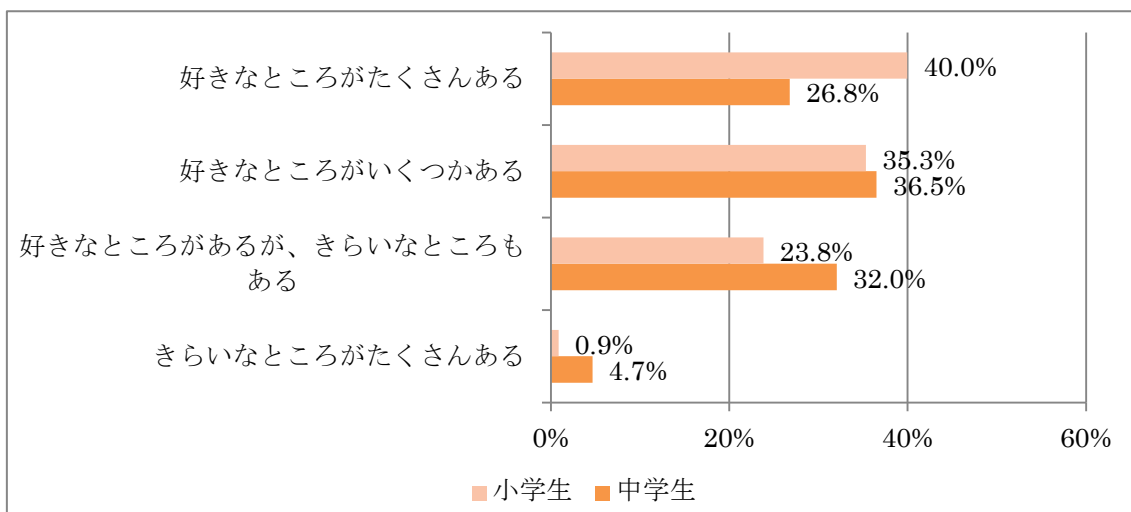


（３） 自分の町について

（児童生徒・小・中学生）問 34 自分の町は好きですか。（１つに○）

※小学生、中学生ともに「好きなおところがたくさんある」、「好きなおところがいくつかある」を選んだ割合が６割以上となっている。

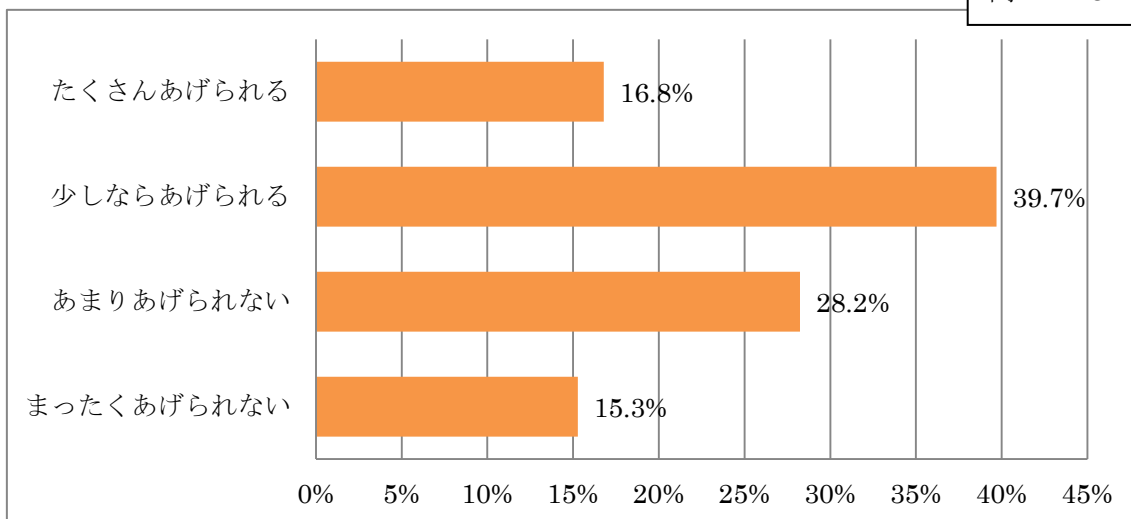
小 N=453 中 N=515



（児童生徒・高校生）問 33 横須賀のよさをあげられますか。（1つに○）

※「たくさんあげられる」、「少しならあげられる」を選んだ割合が5割を超えている。

高 N=131

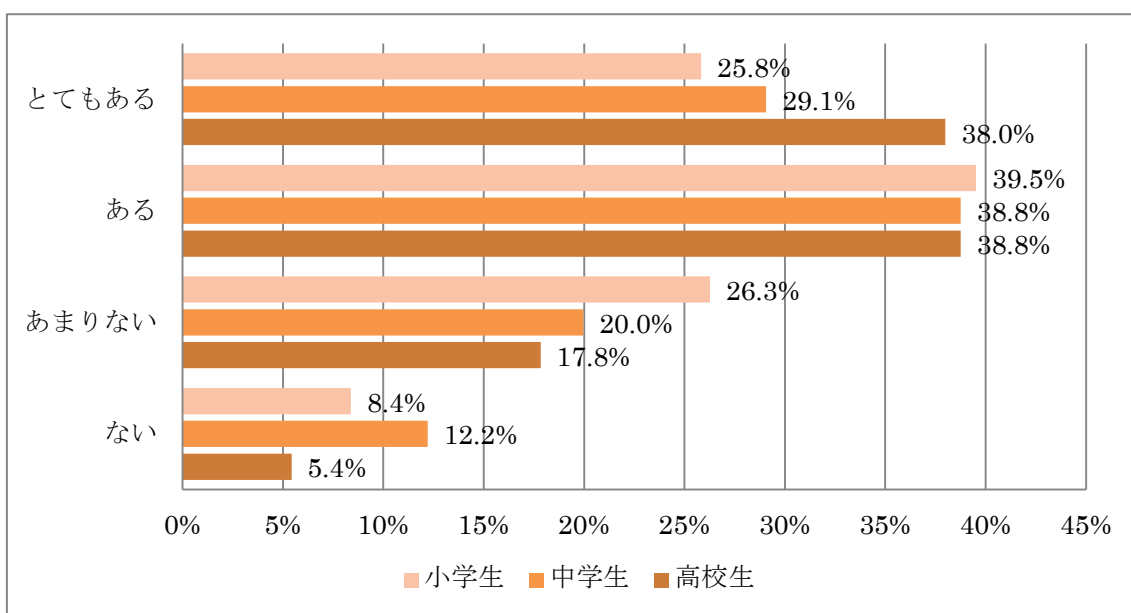


（４） 異国文化への興味・関心

（児童生徒・小・中学生）問 35 （高校生）問 34 外国の人の考え方や文化などに、興味・関心がありますか。（1つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「とてもある」、「ある」を選んだ割合が6割を超えている。

小 N=453 中 N=515 高 N=129

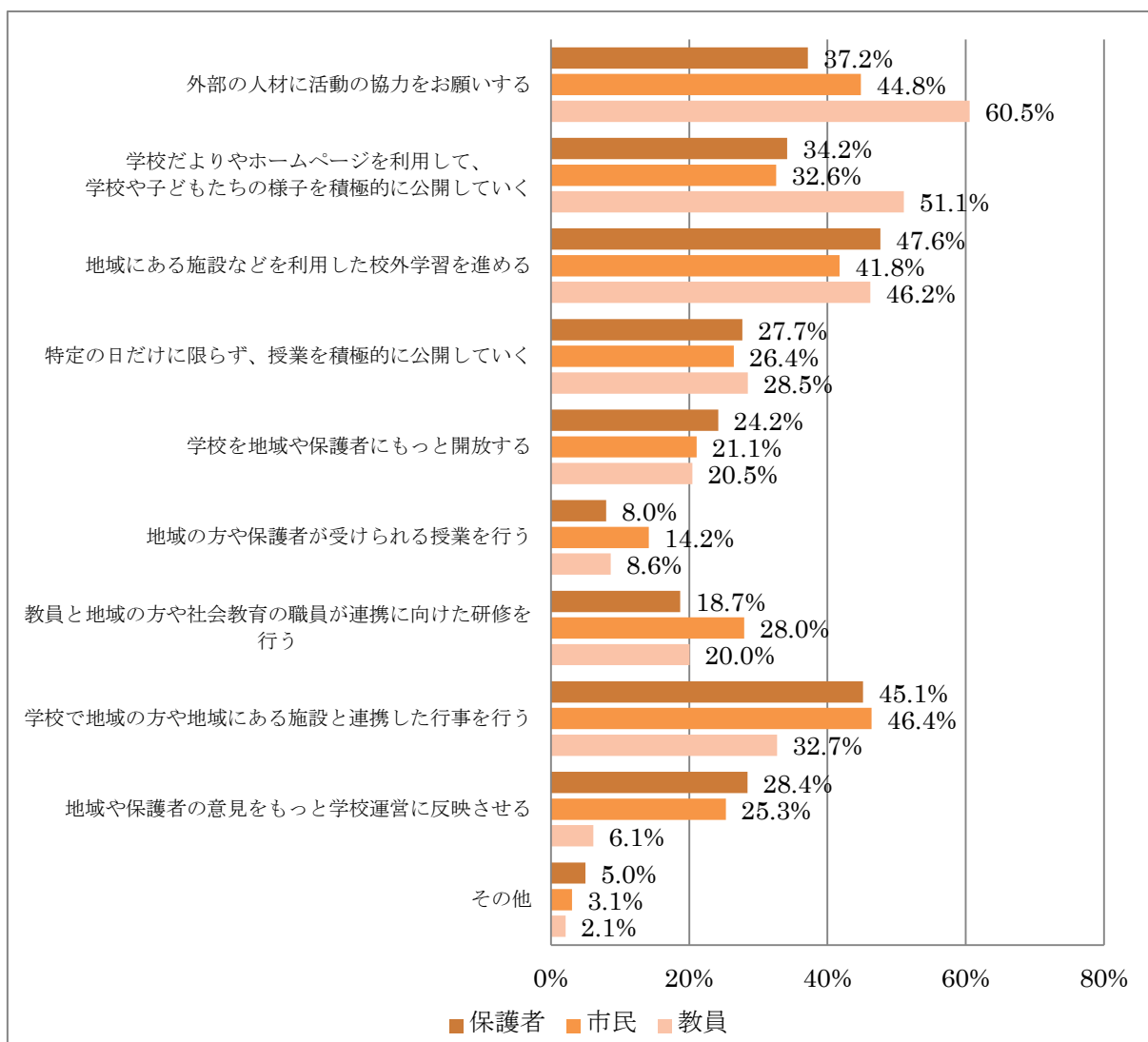


（５） 地域に開かれた学校への取り組み

（保護者）問 7 （市民）問 5 （教員）問 22 学校が、地域社会の一員として、地域に開かれ、支えられ、共に育っていくためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（おもなもの3つに○）

※「外部の人材に活動の協力をお願いする」では、保護者 37.2%（前回 36.4%）に対し、教員 60.5%（54.5%）となっており、前回と同様大きな差が出ている。また、「地域や保護者の意見をもっと学校運営に反映させる」でも、保護者 28.4%（前回 19.7%）市民 25.3%（前回 22.8%）に対し、教員 6.1%（前回 5.9%）と前回同様大きな差が出ている。

保 N=405 市 N=261 教 N=474



（6）学校への関わり方

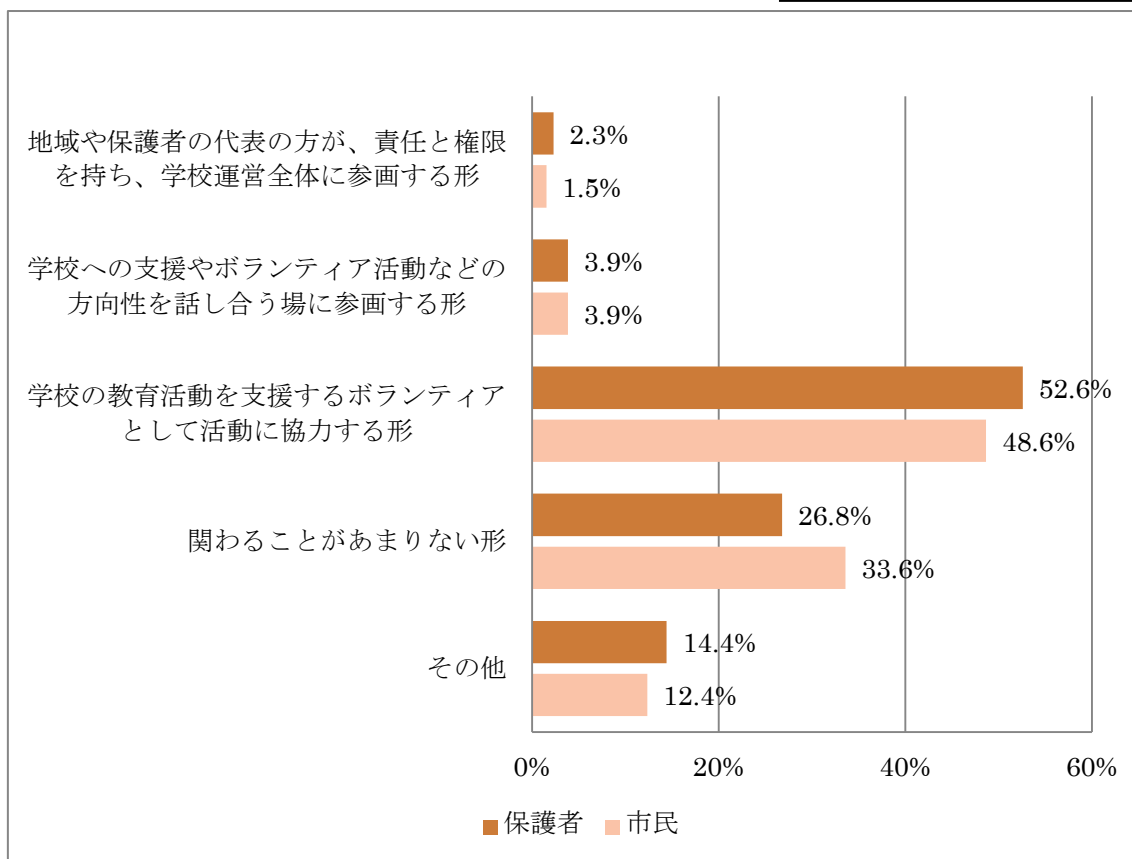
①保護者、市民

（保護者）問8 （市民）問6 （教員）問23 地域や保護者の方の学校への関わり方でよいとする形は、次のうちどれでしょうか。（1つに○）

※保護者や市民の約5割が「学校の教育活動を支援するボランティアとして活動に協力する形」を選んでいる。

※「地域や保護者の代表の方が、責任と権限を持ち、学校運営全体に参画する形」については、保護者2.3%（前回2%）、市民1.5%（前回4.5%）となっており、「学校への支援やボランティア活動などの方向性を話し合う場に参画する形」については、保護者3.9%（前回9.1%）、市民3.9%（前回13.3%）となっており、ともに前回と同様割合が低くなっている。

保 N=388 市 N=259



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

（保護者）

- ・学校を中心とした新たな教育コミュニティ
- ・学校教員がどのようなサポートが必要かわからなくて、地域の方々や保護者が協力することは難しいと思います

- ・保護者は全員が学校に関わるべき。押し付け合いばかりであきれる。ポイント制などしてやらせるべき

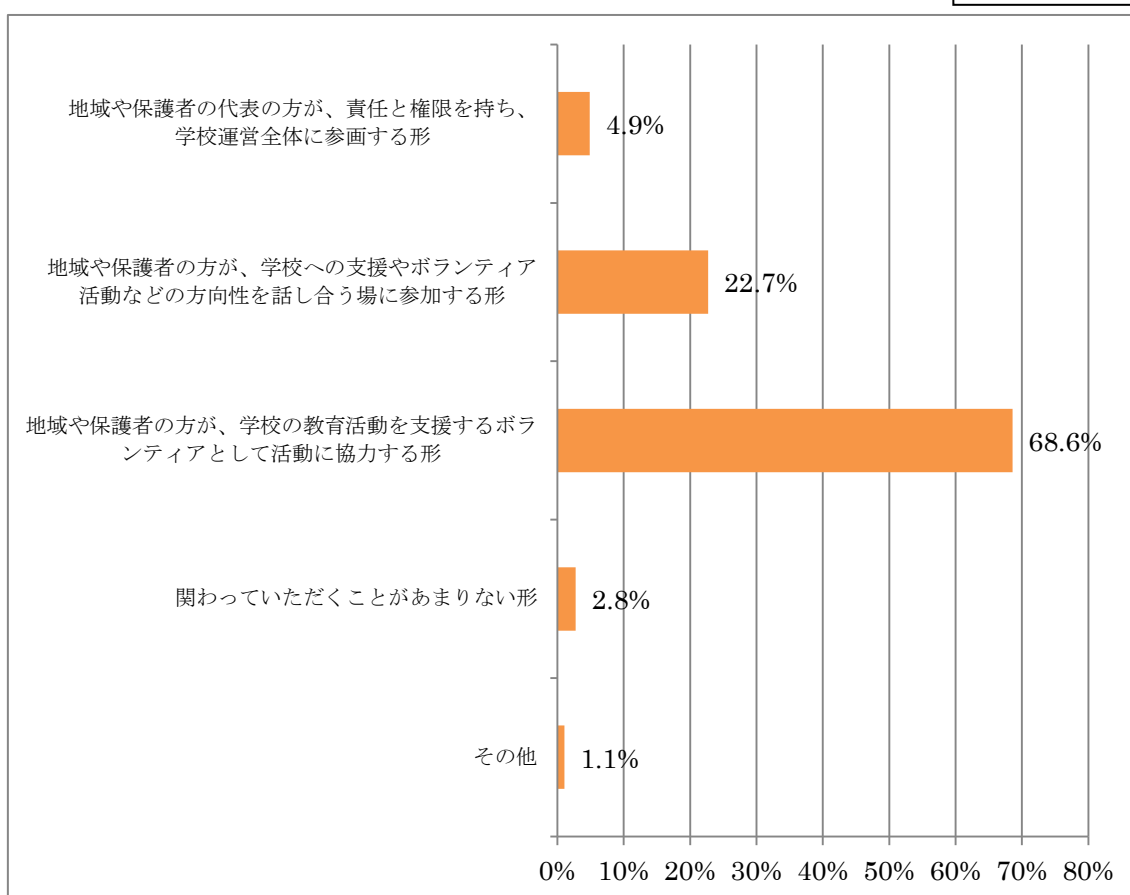
（市民）

- ・学校はもっと自覚を持って自信を持って学校運営にあたること
- ・協力したいが年齢的に無理

②教員

※教員の約7割は、前回と同様「教育活動を支援するボランティア」として関わってほしいと考えている。（前回 71.3%）

教 N=471



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

（教員）

- ・学校に対して協力する姿勢があるとよい
- ・学校が地域へ必要なことを依頼する

（7）やっているボランティア・やってもらいたいボランティア活動内容

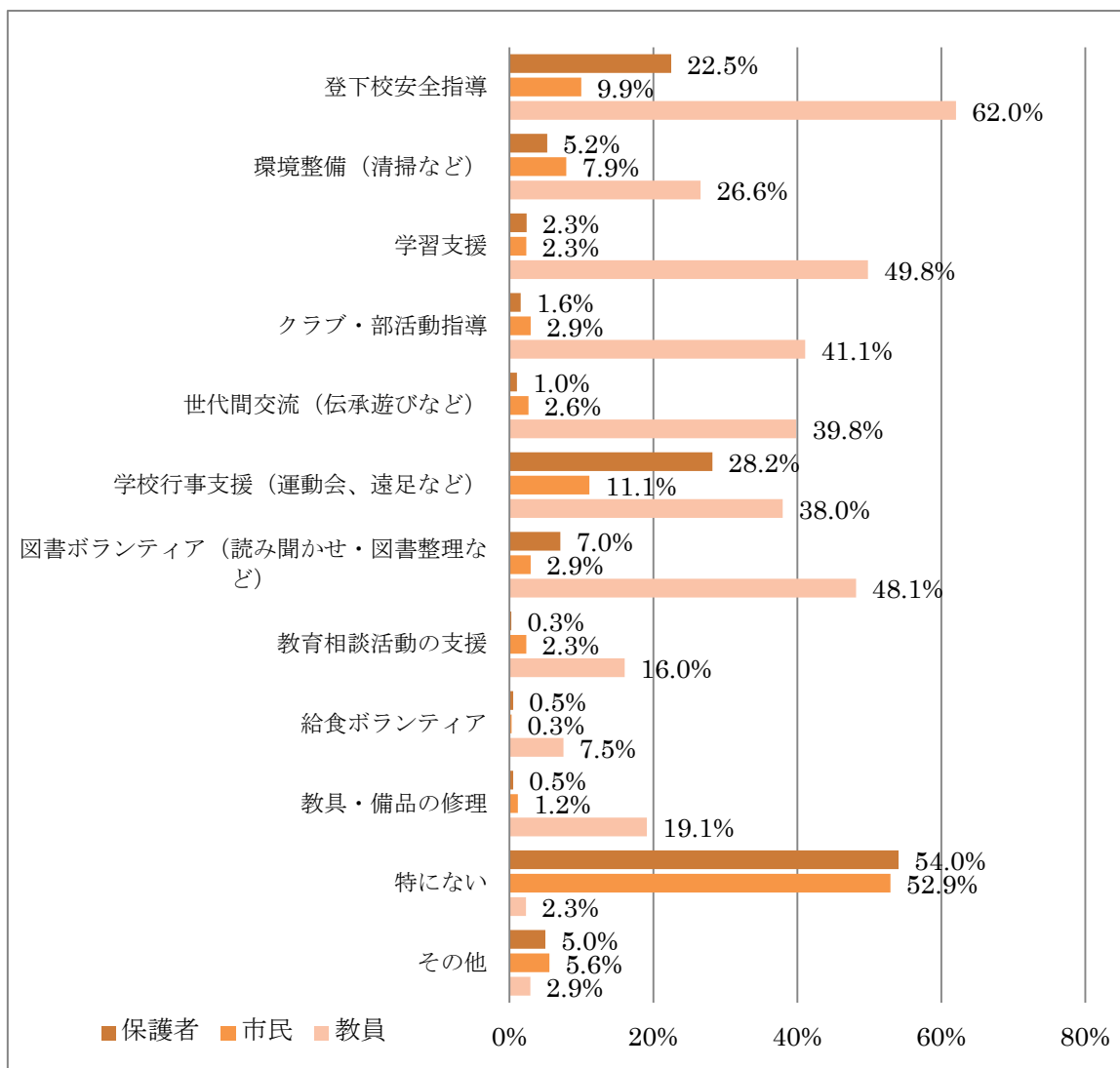
（保護者） 問 9 （市民）問 7 学校の教育活動を支援するボランティアとして、あなたが活動しているものは次のうちどれですか（あてはまるものすべてに○）。

（教員） 問 21 外部の方に、学校の教育活動を支援するボランティアとして協力していただきたいと思われるものは次のうちどれでしょうか（あてはまるものすべてに○）。

※教員は、登下校安全指導 62.0%（前回 80.7%）、学習支援 49.8%（前回 28.4%）、図書ボランティア 48.1%（前回 59.9%）を選んだ割合が高くなっている。

※保護者、市民は約 5 割が「特にない」を選んでいる。

保 N=383 市 N=342 教 N=482



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

（保護者）

- ・役員活動
- ・新しい部活動を作る準備
- ・パトロールエンジェルス、役員、PTA餅つきの手伝い
- ・近所の子どもへの声かけや遊び
- ・心身の相談

（市民）

- ・退職後に活動したい
- ・体験学習への協力
- ・学校は支援をあてにしているのか。これは誤りである
- ・資源回収の協力
- ・ペットボトルのふたの回収
- ・ベルマーク回収の協力

（教員）

- ・銀行など金銭出納に関わる業務
- ・ボランティアとして協力して頂きたい事は沢山あるのですが、それをお願いすることによって打ち合わせや反省会など、さらに多忙化につながる面もあるのであまり気が進まないのが正直なところです

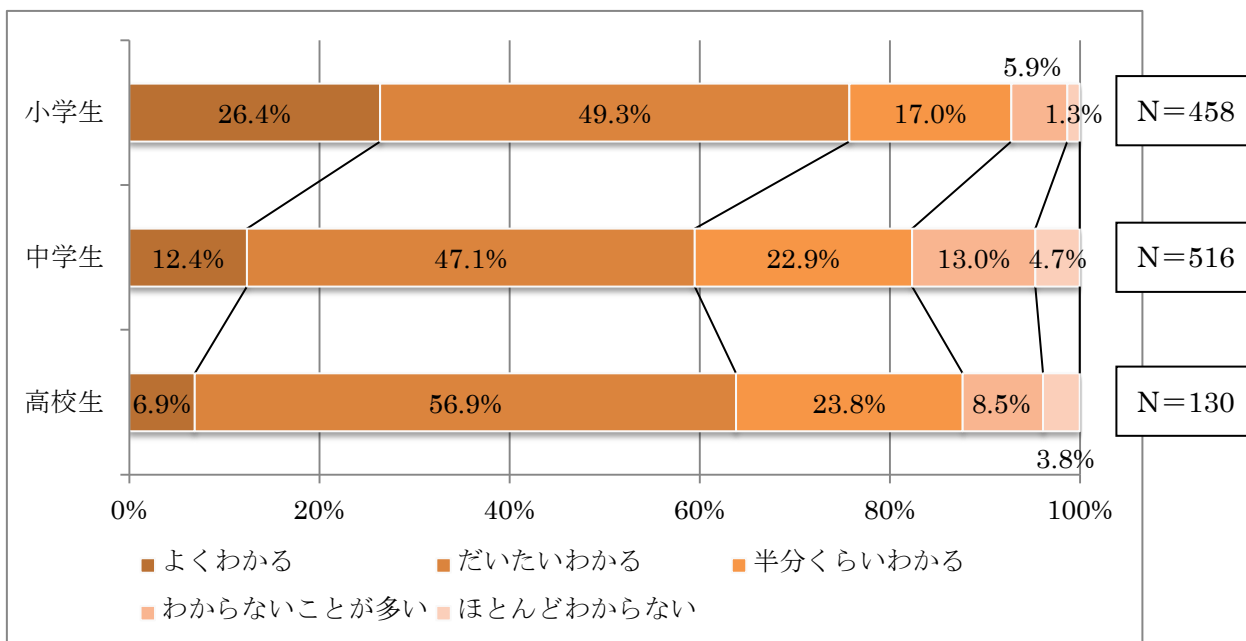
5 学校教育(学校での生活、勉強)

(1) 授業理解度

① 児童生徒から

(児童生徒) 問 15 学校の授業の内容は分かりますか (1つに○)

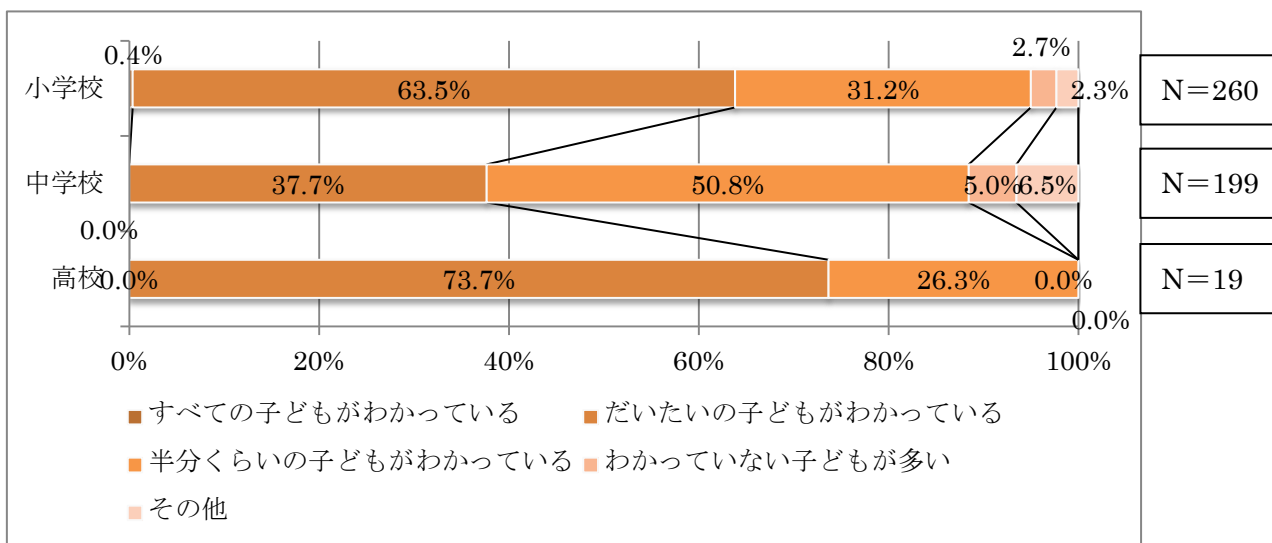
※「よくわかる」、「だいたいわかる」を合わせると、小学生 75.7% (前回 69.2%)、中学生 59.5% (前回 57.3%)、高校生 63.8% (前回 56.2%) となっており、各校種とも前回より割合が高くなっている。



② 教員から

（教員）問8 あなたが担任しているクラス（または教えている教科、全学年）で、授業がわかる子どもはおおよそどの程度でしょうか（1つに○）

※「だいたいの子どもがわかっている」が、中学校 37.7%（前回 36.5%）、高校 73.7%（前回 61.9%）であり、また、「わかっている子どもが多い」については、中学校 5%（前回 9%）、高校 0%（前回 14.3%）となっており、中学校・高校については前回より改善の傾向がみられる。



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

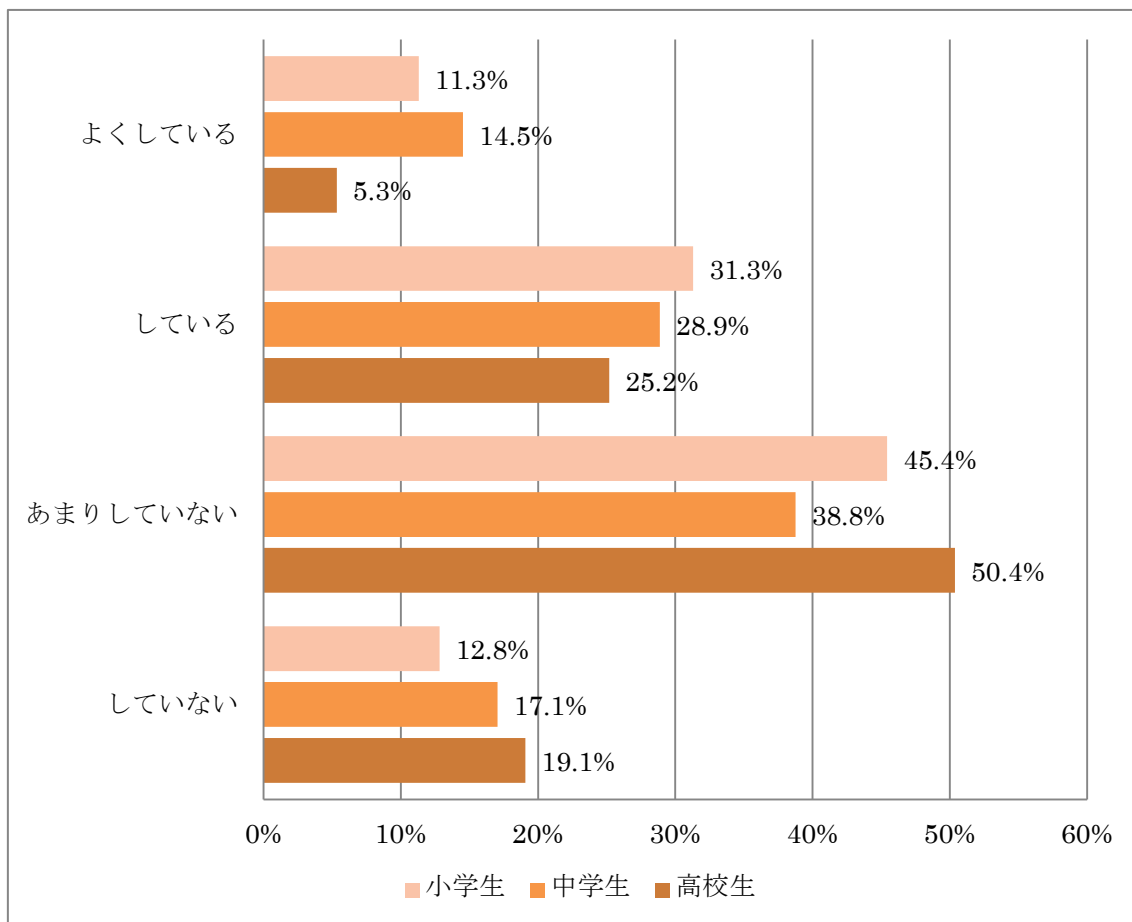
- ・個別にその子のレベルに合わせ指導している
- ・支援級なので、その子の目標にあったものを行っている

（２）授業に取り組む姿勢

（児童生徒）問 16 授業中には、自分から進んで質問したり意見を述べたりしていますか。（1つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「あまりしていない」を選んだ割合が高くなっていくが、小学生、中学生では、「よくしている」、「している」が4割を超えた。

小 N=460 中 N=516 高 N=131



（3）わかりやすい授業

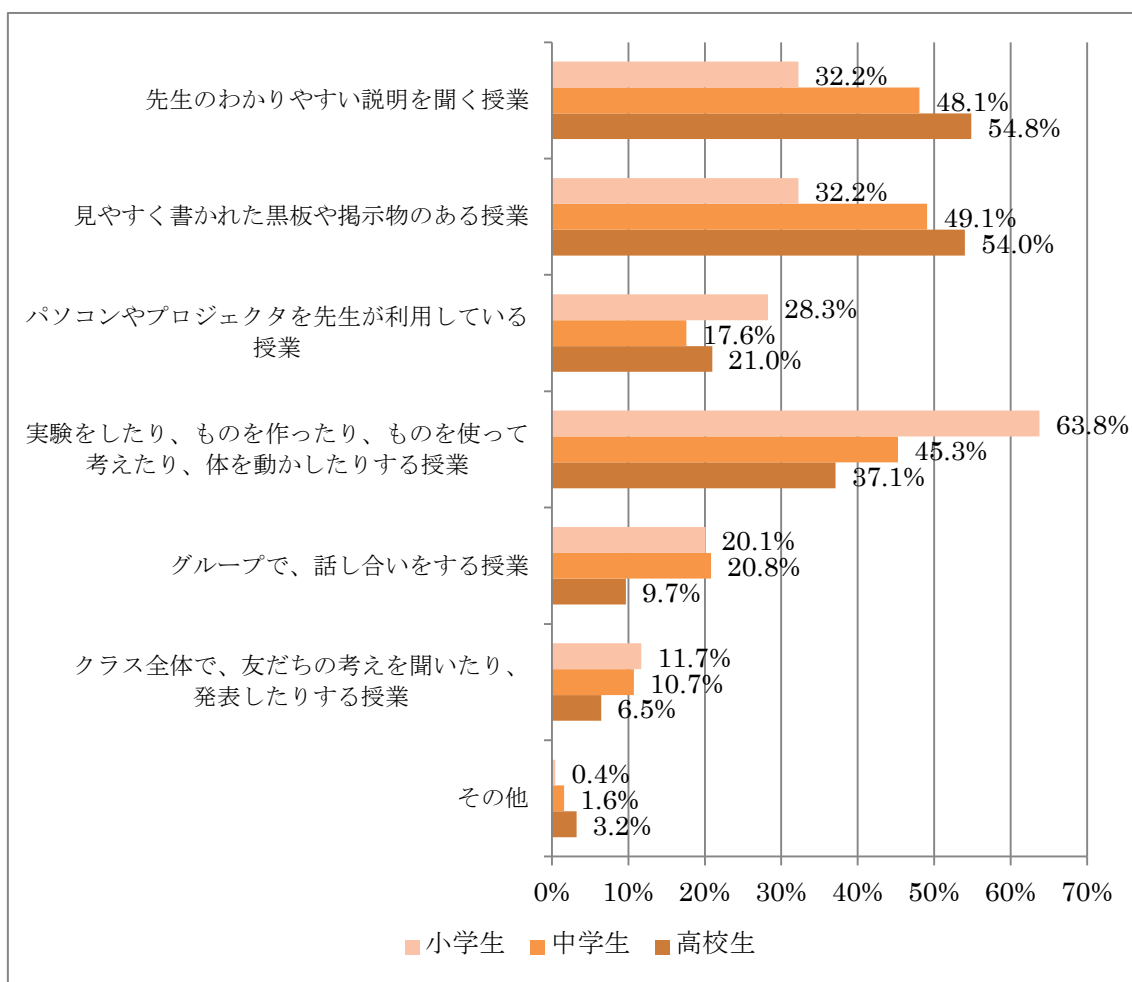
（児童生徒）問 17 学習している内容がわかりやすいのはどの授業ですか。（2つに○）

※小学生は「実験をしたり、ものを作ったり、ものを使って考えたり、体を動かしたりする授業」を選んだ割合が63.8%と高くなっている。

※中学生、高校生では「先生のわかりやすい説明」や「見やすい黒板や掲示物のある授業」を選んだ割合が高くなっている。

※「パソコンやプロジェクタを利用する授業」は、小学生・中学生・高校生ともに25%前後となっている。

小 N=453 中 N=495 高 N=124



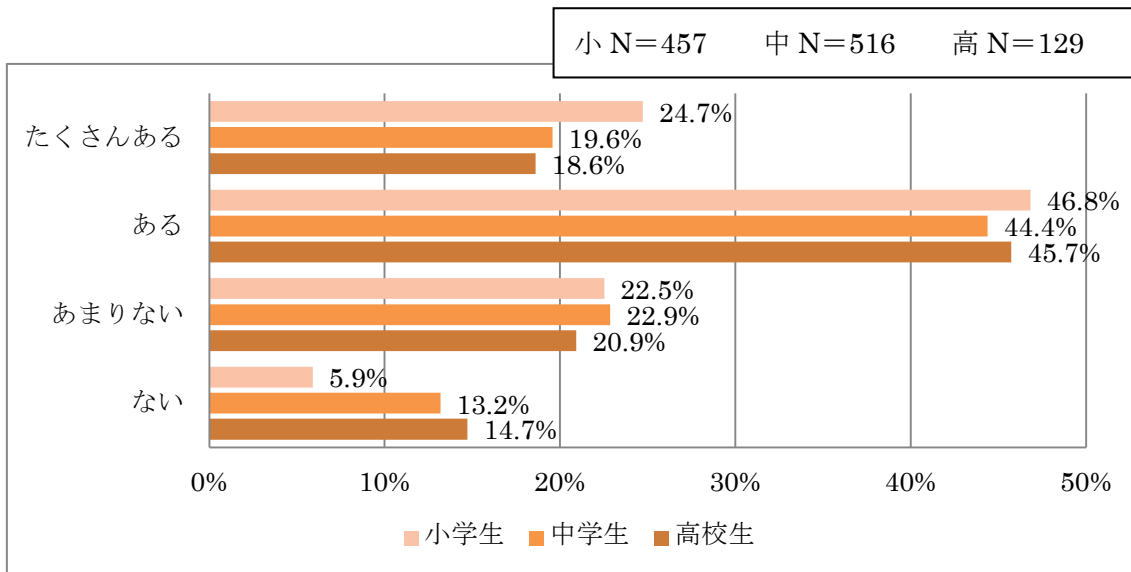
※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・先生が大きな声で説明する
 - ・1対1で教えてもらう
 - ・出来るだけゆっくり教えてほしい
- ・自分たちでパソコンを利用する授業
 - ・実習とか演習させてくれる

（４）園児や他学年、地域との交流

（児童生徒）問 18 幼稚園・保育園の園児や下（上）級生、小学生など学年の違う子や地域の人などと一緒に活動して、良かったと思うことはありますか。（１つに○）

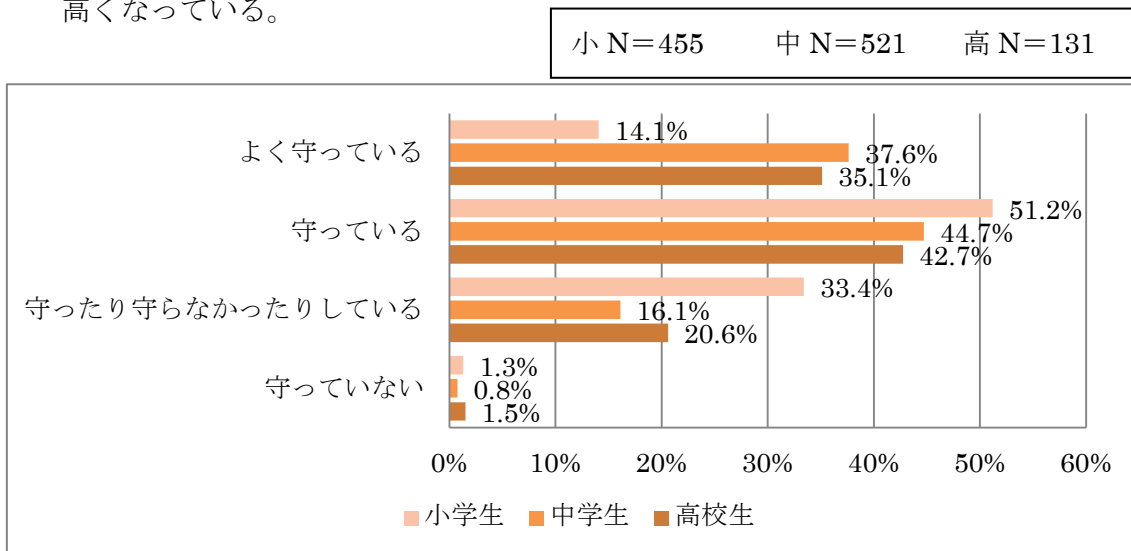
※小学生、中学生、高校生ともに「たくさんある」、「ある」が６割を超えた。小学生では「ない」を選んだ割合が５.９％と低くなっている。



（５）学校のきまり

（児童生徒）問 19 学校のきまりを守っているか。（１つに○）

※中学生、高校生では「よく守っている」、「守っている」が７割を超えたが、小学生では「守ったり守らなかったりしている」を選んだ割合が、他と比べて 33.4％と高くなっている。

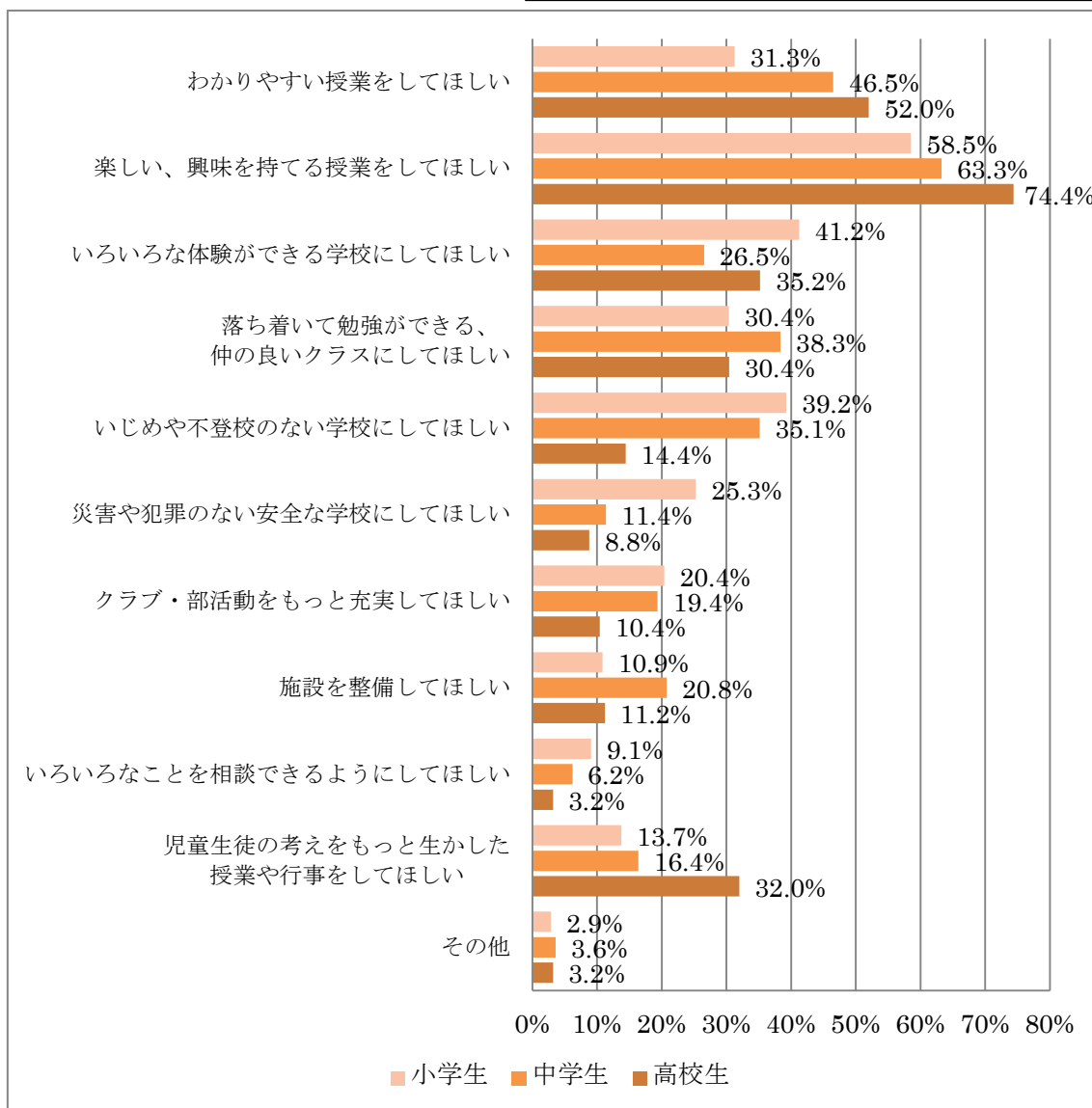


（6）望まれる学校像

（児童生徒）問 12 あなたは学校をどのような学校にしてほしいですか（おもなもの3つに○）

※学校種別により、多少数値に差があるが、前回同様「わかりやすい授業」（前回・小 26.9%、中 41.2%、高 49.3%）「楽しい、興味が持てる授業」（前回・小 59.1%、中 69.5%、高 72.3%）「いろいろな体験ができる」（前回・小 56.1%、中 37.3%、高 32.4%）などの割合が高い。

小 N=451 中 N=501 高 N=125



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・ 体育がもっと多い学校にほしい
- ・ 非常用に携帯などは持っていけるようにしてほしい

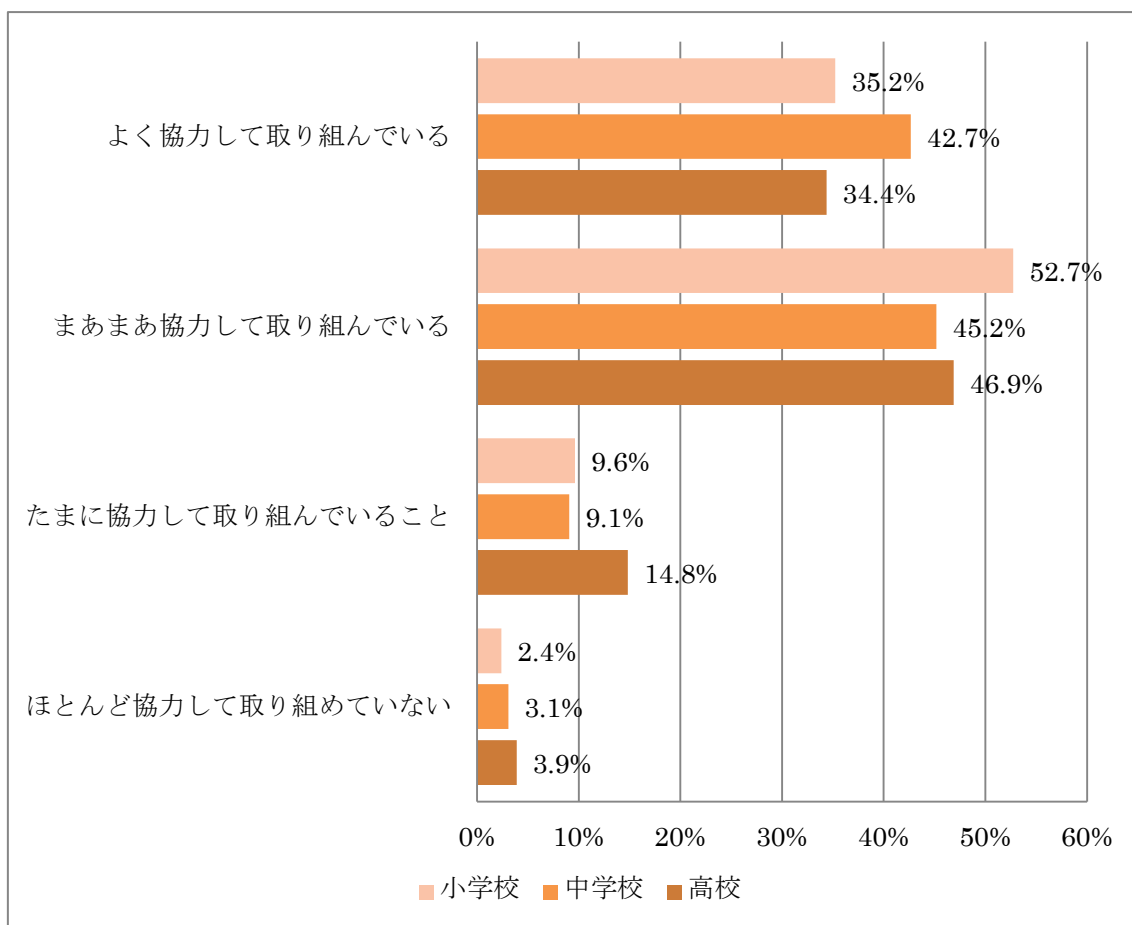
- ・安心して先生と接することができる学校
- ・先生と生徒の仲が良い学校にしてほしい
- ・先生方がしっかりと子どもと向きあってほしい
- ・今のままの学校が好きだからこのままでいい
- ・校則がムダにありすぎないようにしてほしい
- ・今の小学生や入学してくる子に先輩がこわいと思わなくしてほしい
- ・子どもの意見、考え、思いをきちんと聞いてほしい
- ・先生がひとりひとり教師としての自覚を持って欲しい

（7）クラス活動や学校行事への協力

（児童生徒）問 13 クラスの活動や学校行事には、みんなと協力して取り組んでいますか。（1つに○）

※小学校、中学校、高校生ともに「よく協力している」「まあまあ協力している」が8割を超えている。

小 N=457 中 N=518 高 N=128



（８）担当クラスで困ったこと

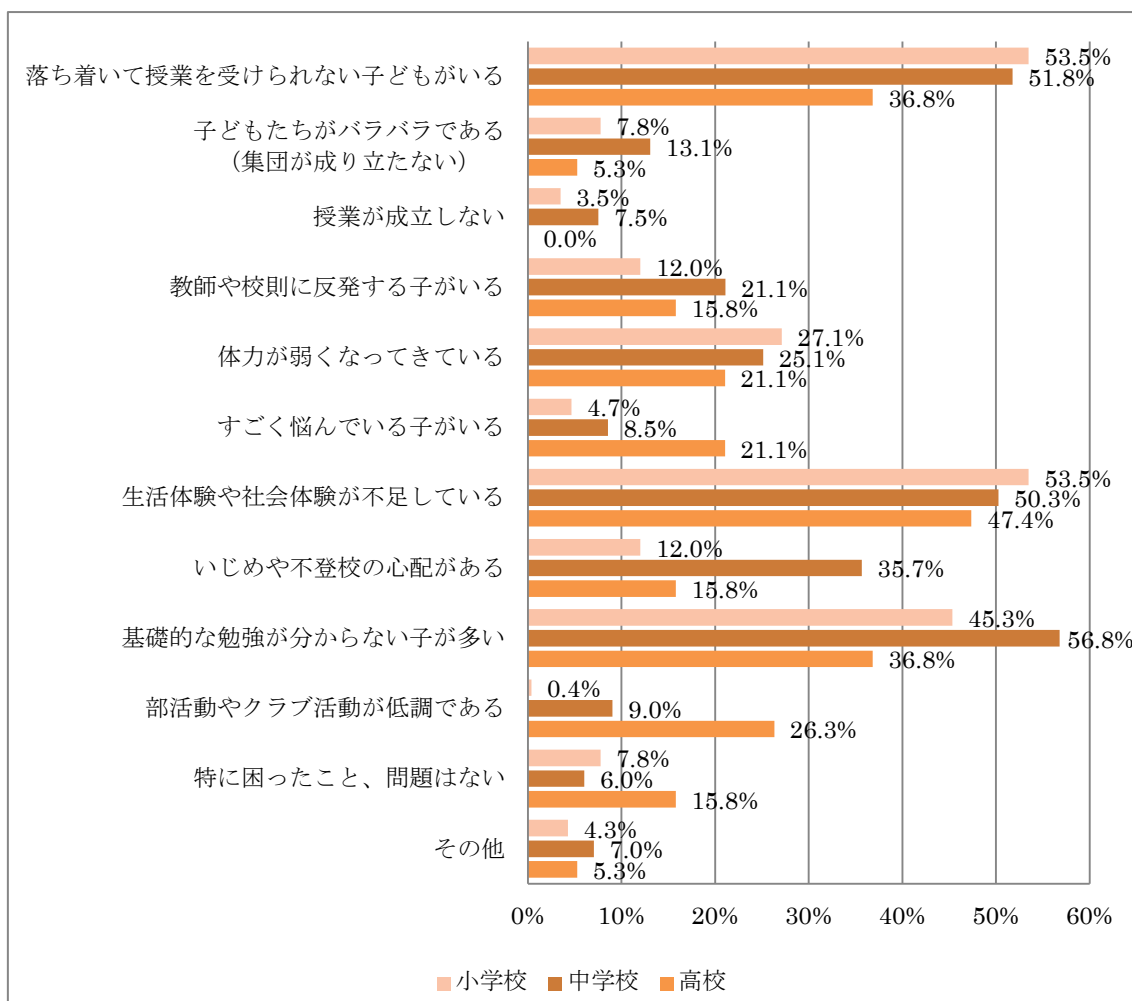
（教員）問７ あなたが担任・担当しているクラス（担任・担当のない人は学校全体）の子どもについて、何か困ったこと、問題と覚えることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

※全体を通じて、「基礎的な勉強が分からない子が多い」（前回・小 48.1%、中 69.8%、高 40%）「落ち着いて授業を受けられない子どもがいる」（前回・小 51.9%、中 49.7%、高 40%）「生活体験や社会体験が不足している」（前回・小 44.7%、中 42%、高 55%）の割合が高く、前回と同じ傾向であった。

※中学校では、56.8%（前回 69.8%）の教員が「基礎的な勉強が分からない子が多い」を選んでいる。

※「体力が弱くなってきている」については、小学校（前回 22.7%）、中学校（前回 18.9%）、高校（前回 10%）ともに、前回と比べてその割合が高くなっている。

小 N=258 中 N=199 高 N=19



※＜その他＞の意見（一部抜粋）

- ・ 保護者の子どもへの対応の仕方
- ・ 不登校気味の児童がいる
- ・ 外国籍児童の出席状況
- ・ 心身ともに弱く休みがちの子がいる
- ・ 家庭の問題があり、児童を指導する上での協力が得にくい
- ・ 給食費未納者への対応が難しい
- ・ 自分の考え
- ・ 思いを積極的に発信できない子が多い

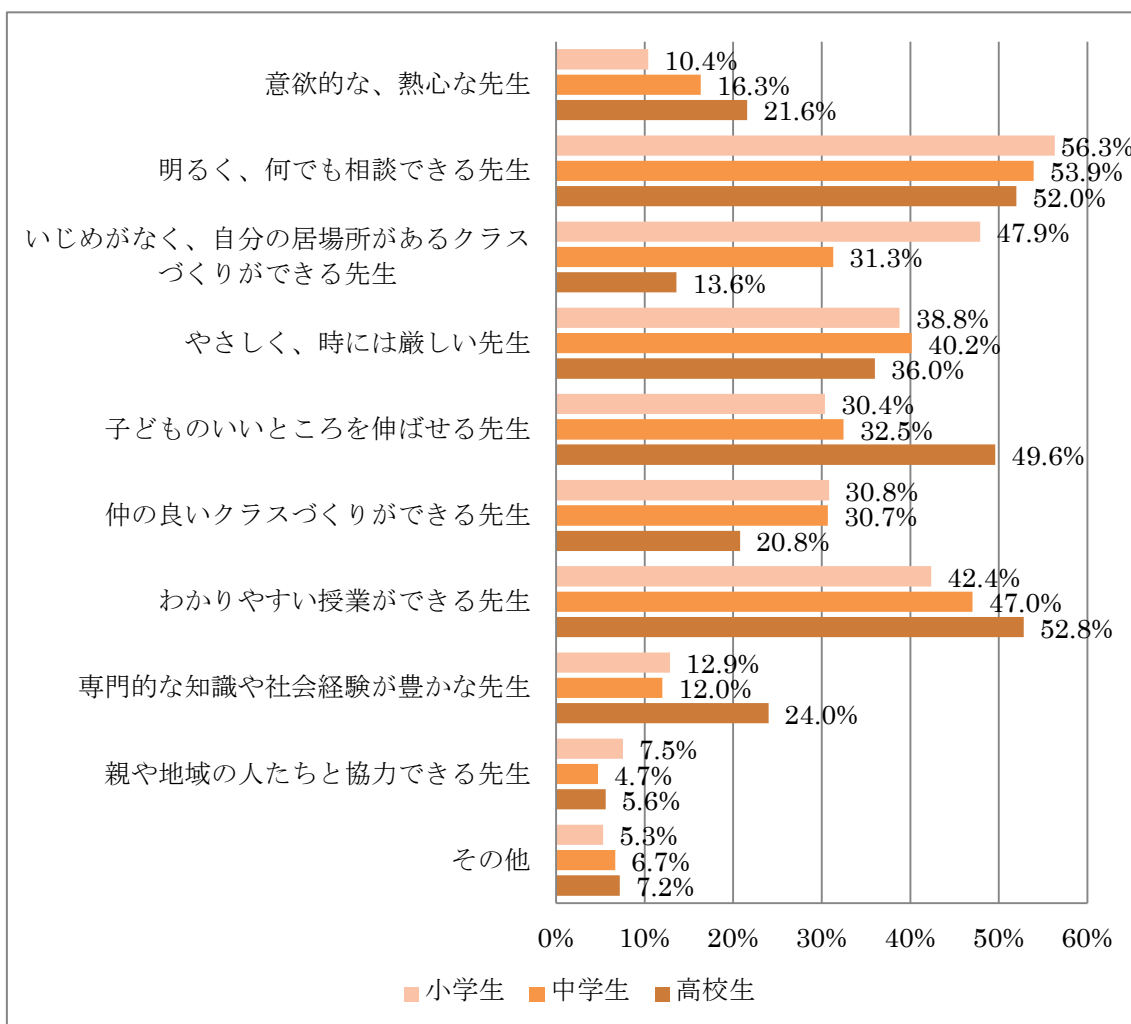
（9）望まれる教師像

①児童生徒

（児童生徒）問 14 あなたはどのような先生を望んでいますか。（おもなもの3つに○）
 （保護者・市民）問 4 （教員）問 6 あなたが考える望ましい先生（教師）はどのような先生（教師）ですか。（おもなもの3つに○）

※児童生徒については、小学生・中学生・高校生ともに5割前後が「明るく、何でも相談できる先生」、「わかりやすい授業ができる先生」を選んでいる。また、「やさしく、時には厳しい先生」も4割前後が選ばれている。

小 N=451 中 N=508 高 N=125



※＜その他＞の意見（一部抜粋）

・ 黒板を書くのが上手な先生

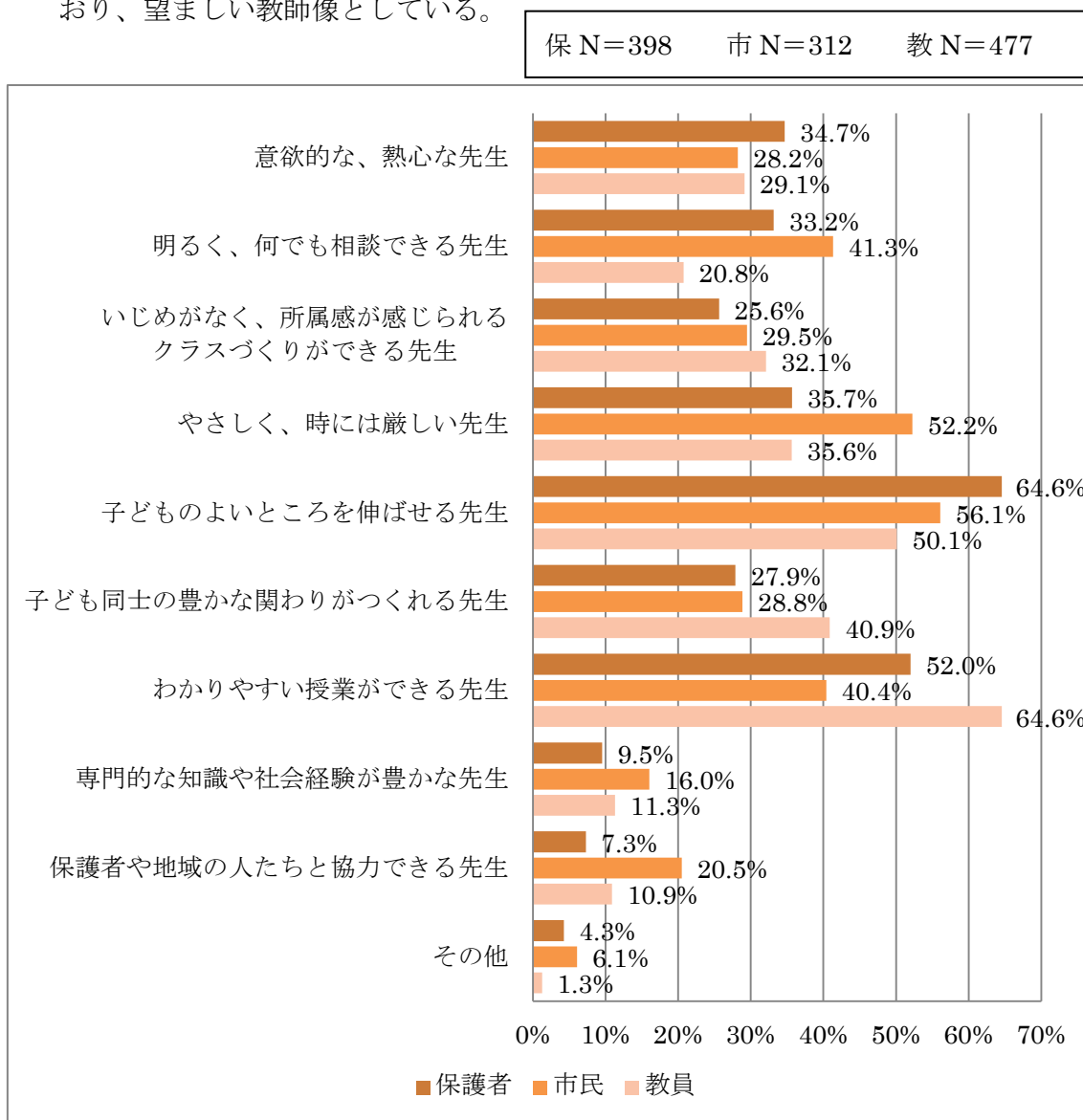
・ 誰にでも優しい先生

- ・お楽しみ会をいれてくれる先生
- ・生徒のことを一番に想ってくれる先生
- ・ごまかしたりしないで、はっきり言ってくれる先生
- ・ひいきしない先生 ・子どもの興味を引き出せる先生
- ・話の進め方が上手な先生
- ・必要以上に干渉しない先生

②保護者・市民・教員

※保護者・市民・教員ともに「子どものよいところを伸ばせる先生」、「わかりやすい授業ができる先生」を選んだ割合が4割を超えた。

※特に教員は、「わかりやすい授業ができる先生」を64.6%（前回72.5%）が選んでおり、望ましい教師像としている。



※＜その他＞の意見（一部抜粋）

- ・正しい事、悪い事をきちんと教える事の出来る先生
- ・子どもたちの憧れになる生き方をしている先生。忙しすぎる先生はダメ。心の余裕がないから
- ・子どもの話を良く聞いて、子どもの気持ちを理解してくれる先生
- ・1人ひとりの子どもが「行きたい」と思えるクラス、先生
- ・体罰のない先生
- ・クラス内での子ども達の間係を理解出来る先生
- ・親の躱の不備を正せる先生
- ・小・中学校でも勉強ができない生徒にきつくあたる事があるそうで、誰にでも平常心で接する事が出来る人物を求めます
- ・筋の通っている人
- ・正しい事を正しいと言える先生、誠実性、自己犠牲
- ・自分の間違いを認める事の出来る先生
- ・学びつづけられる教師

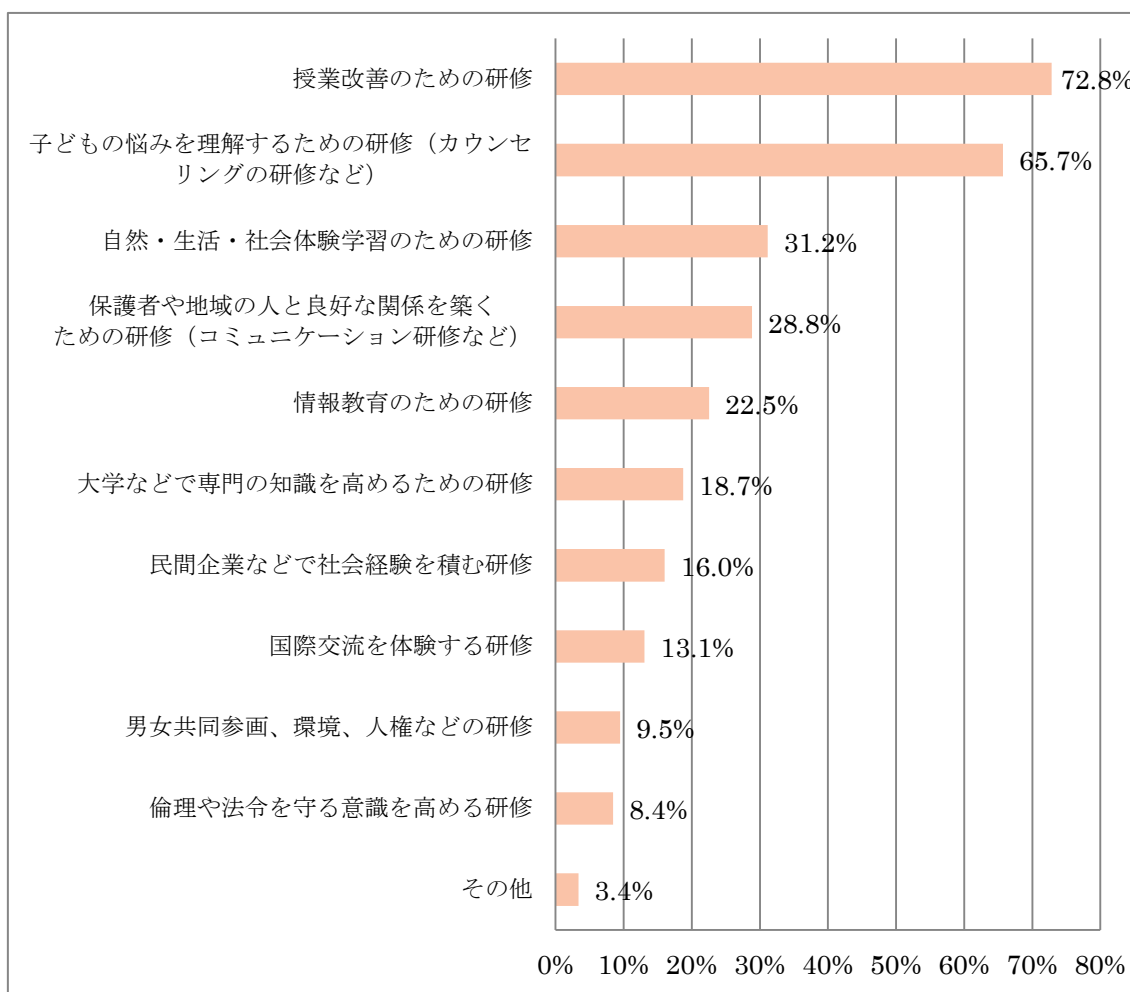
(10) 教員が希望する研修

（教員）問 11 今後どのような研修を希望しますか。（おもなもの3つに○）

※「授業改善のための研修」が 72.8%、「子どもの悩みを理解するための研修」が 65.7%（前回 56.4%）と、その割合が高くなっている。

※「情報教育のための研修」22.5%（前回 19.6%）や「大学などで専門の知識を高める研修」18.7%（前回 17.0%）といった研修を望んでいる割合も、前回と比較すると高くなっている。

教 N=475



※<その他>の意見（一部抜粋）

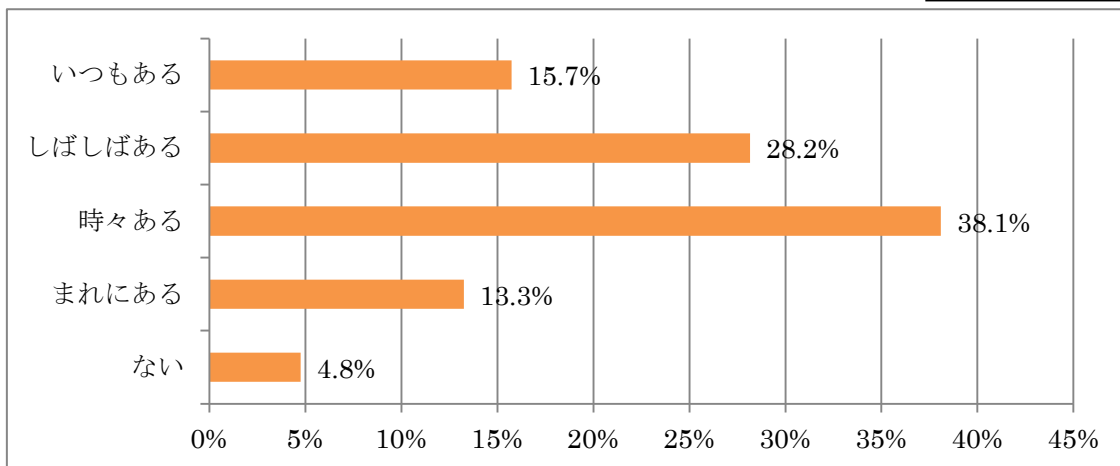
- ・支援教育……ユニバーサルデザインについての研修
- ・一般社会人として求められる資質やスキルの向上のための研修
- ・現代社会で求められている学力の考察とそれを高めるための指導方法について
- ・学校関係の法令と適用例について

(11) 教員の仕事の現状

（教員）問 12 最近6ヶ月位の間に仕事に喜びや充実感を感じるがありましたか。（1つに○）

※「いつもある」、「しばしばある」、「時々ある」を選んだ割合は、8割以上となっている。

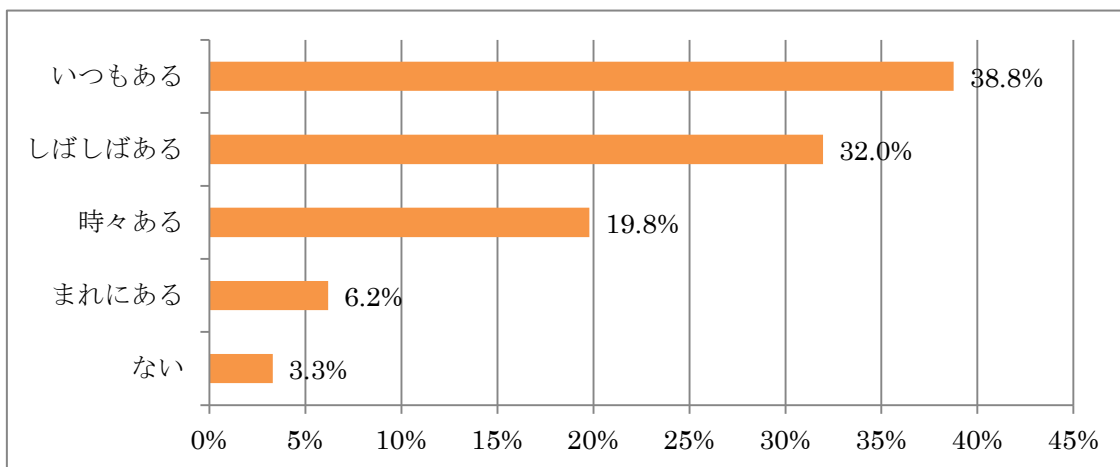
教 N=483



（教員）問 13 最近6ヶ月位の間に仕事のためにゆとりがなくなったと感じることがありましたか。（1つに○）

※「いつもある」、「しばしばある」が7割を超えた結果となった。

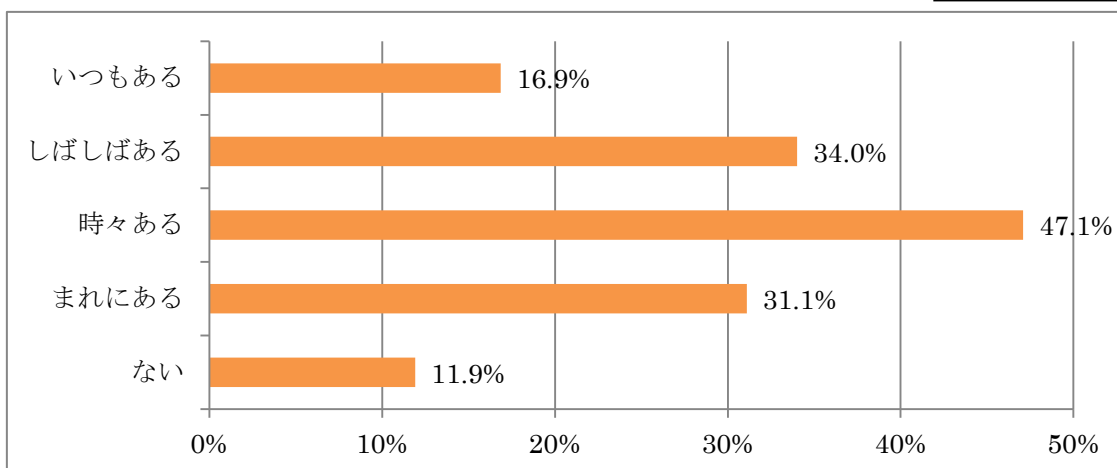
教 N=485



（教員）問 14 最近6ヶ月位の間に仕事について、気持ちが落ち込むことがありましたか。（1つに○）

※全体の約9割が何らかの形で「気持ちが落ち込むことがある」を選んでいる。

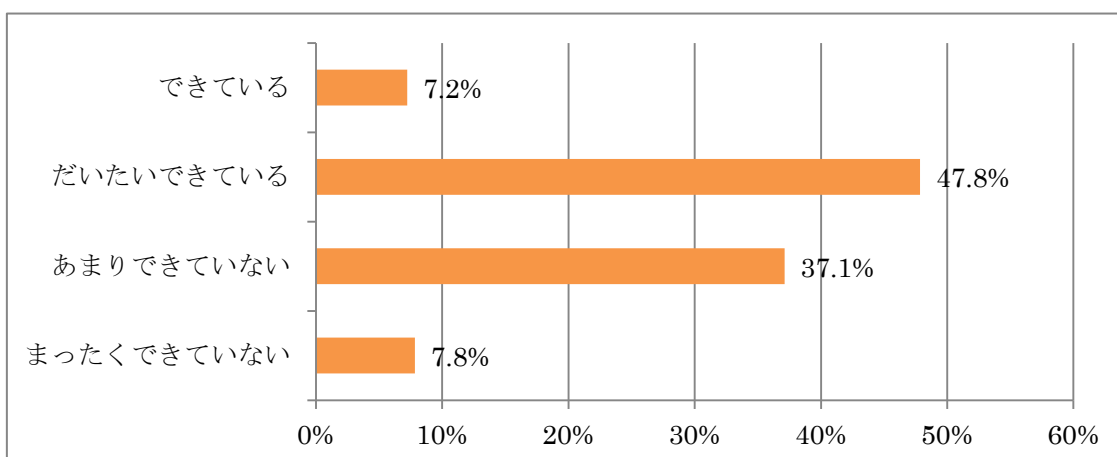
教 N=344



（教員）問 15 自分のペースで仕事ができますか。（1つに○）

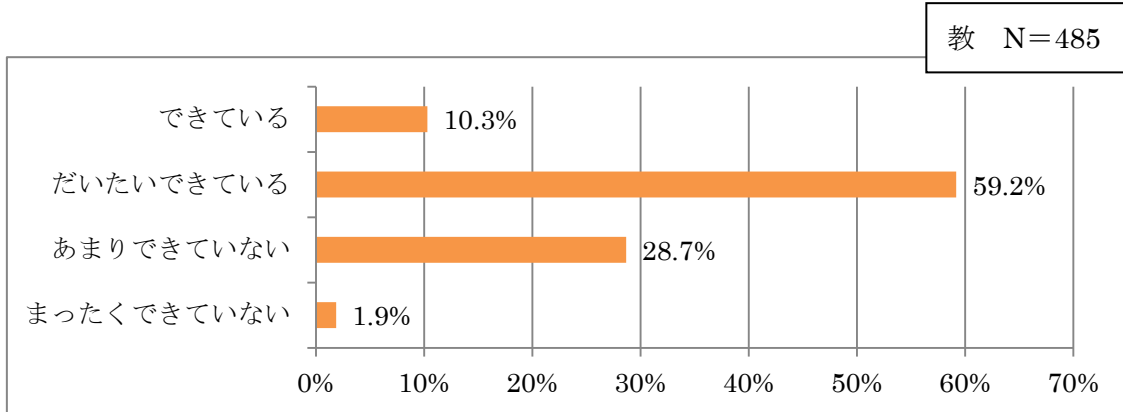
※約45%が「あまりできていない」、「まったくできていない」を選んでいる。

教 N=485



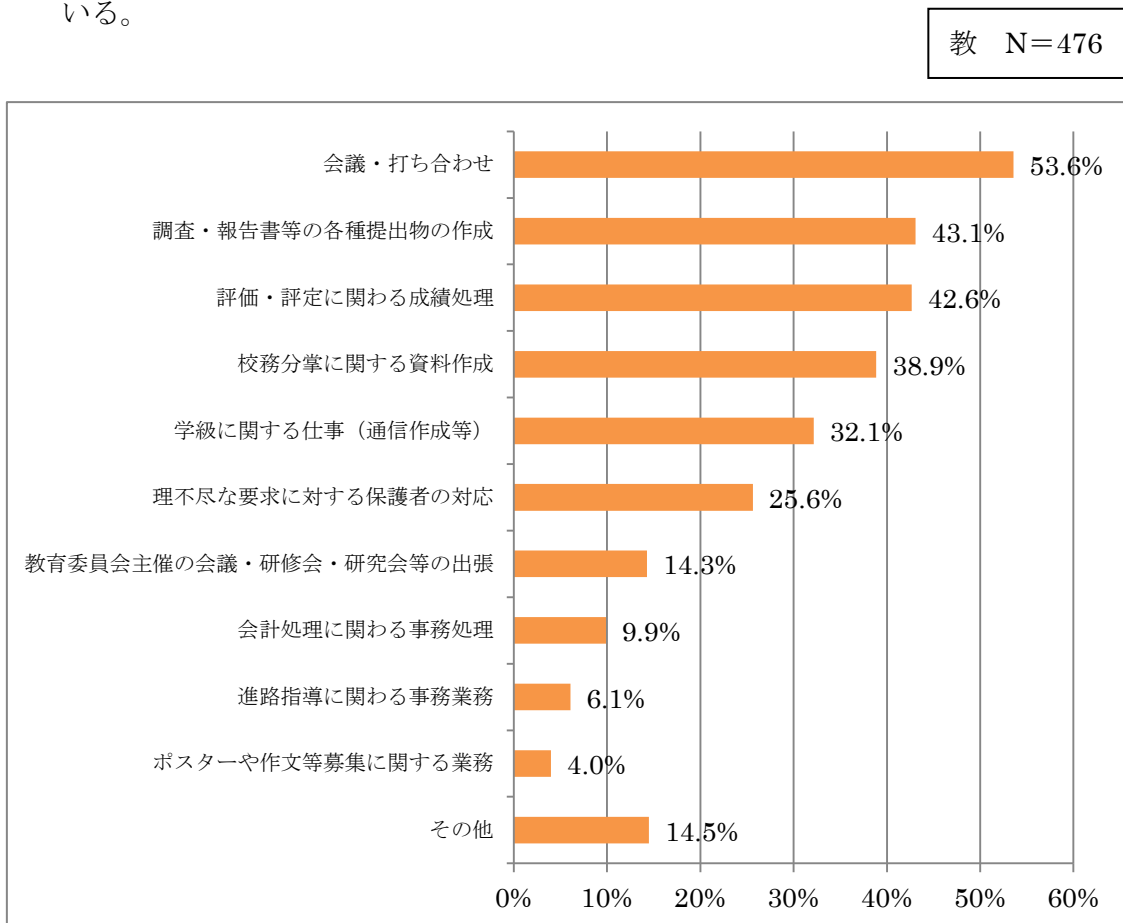
（教員）問 16 仕事に自分の意見を反映できていますか（1つに○）

※全体の約7割が「できている」、「だいたいできている」を選んでいる。



（教員）問 17 何が多忙の原因だと思えますか。（おもなもの3つに○）

※「会議・打ち合わせ」、「調査・報告書等の作成」、「成績処理」の割合が高くなっている。



※＜その他＞の意見（一部抜粋）

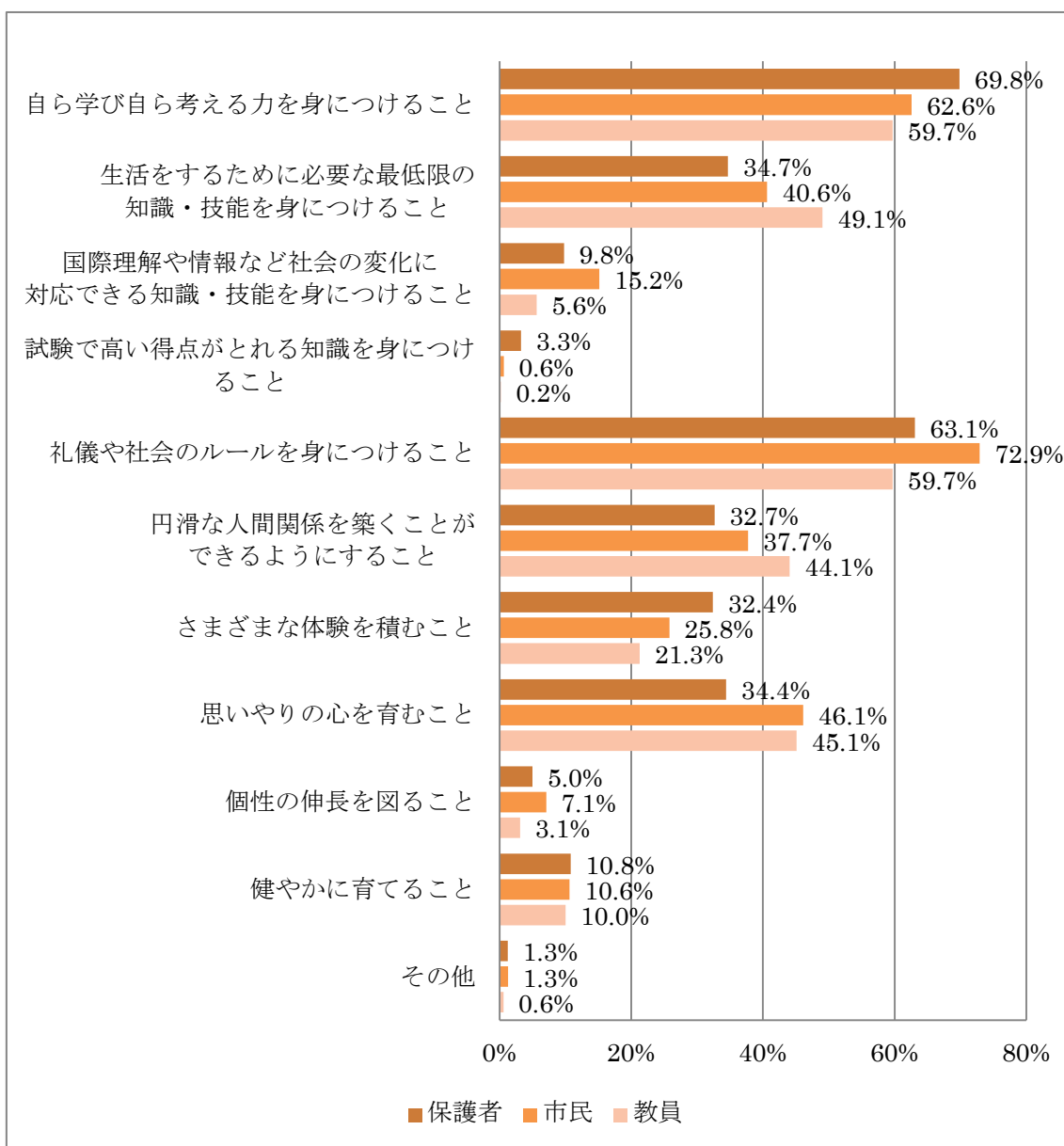
- ・パソコンが苦手なので、何か作成するのに時間がかかってしまう
- ・学校行事に関する準備、後処理
- ・子どもの学習支援として放課後に学習を見てから教材研究や校務にあたるため、子どもが帰ってから退勤時間まで1時間しかない。しかもそのうちの45分は休憩時間となっている
- ・児童・家庭・地域の要求を含め教育にまかされる分野が広すぎ
- ・校内研究
- ・特別支援教育に対する不理解
- ・生徒指導
- ・50分6校時が増え、放課後の時間がないうえに統合、行事、研究授業の準備等やることが増えているため
- ・教科・部活動に関する事業とのかかわり

(12) 子どもの教育に必要だと思うこと

(保護者・市民) 問3 (教員) 問5 あなたが、小学校・中学校の子どもの教育に必要だと思うことは何ですか。(おもなものを3つに○)

※保護者、市民、教員ともに、約6割から約7割が「自ら学び自ら考える力を身につけること」(前回・保 63.5%、市 55.2%、教 62.3%)、「礼儀や社会のルールを身につけること」(前回・保 63.0%、市 68.8%、教 51.5%)を選んでおり、いずれも前回より高くなっている。

保 N=398 市 N=310 教 N=479



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

（保護者）

- ・子どもも社会の一員である事を感じる体験をすること
- ・命や自然の大切さを学ぶ
- ・団結！仲間で達成する喜びを学ぶ

（市民）

- ・正確な歴史認識の学習
- ・上下関係を考え目上の方々を敬う事を知る事「将来社会に出て上下関係に戸惑わないため）
- ・災害や事故など突発的に起こる危機にも対応できる力

（教員）

- ・人として生きていく力の育成

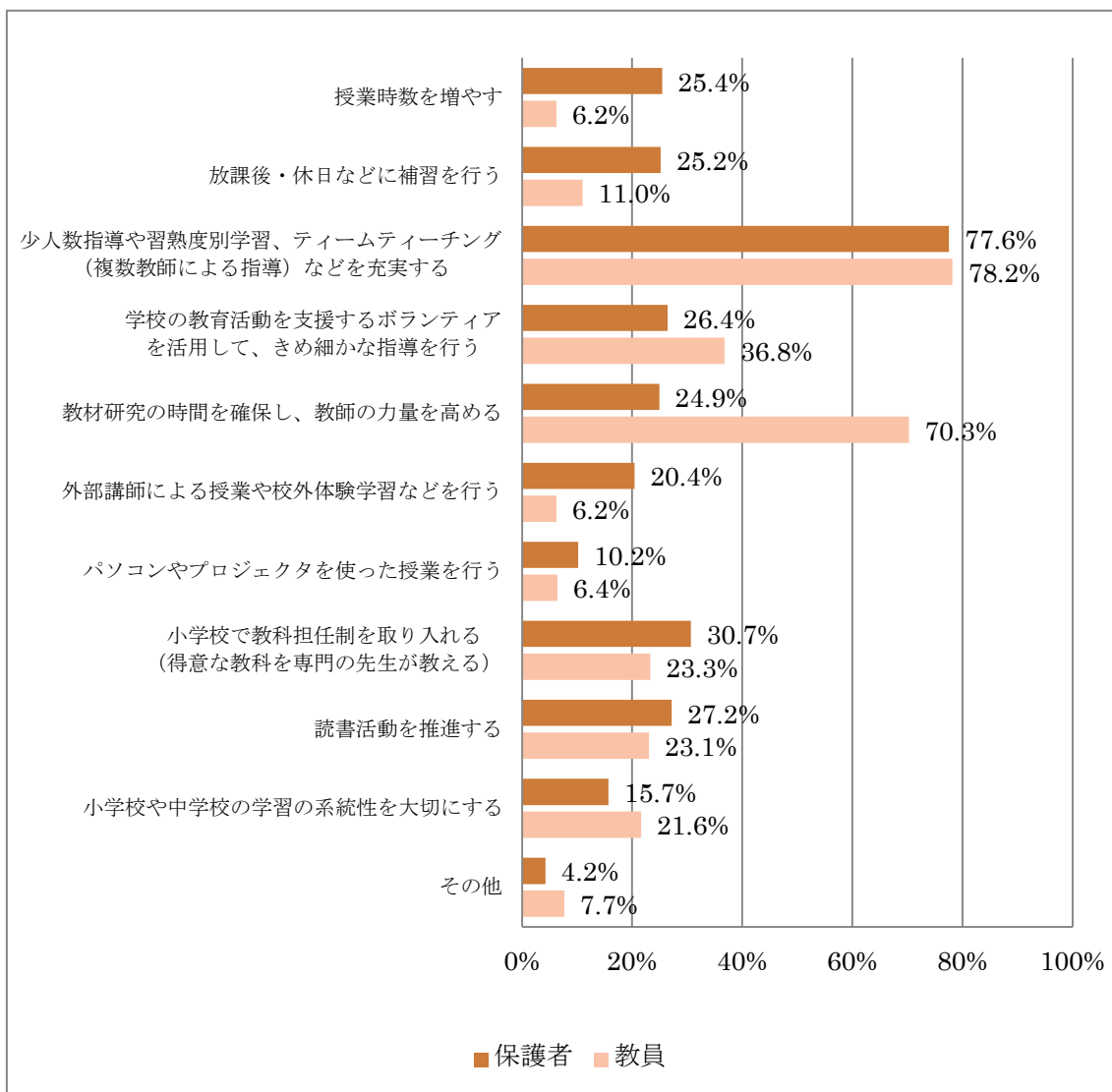
（13）基礎的学力向上への取り組み

（保護者）問5 （教員）問9 「基礎的学力」を高めるために、学校教育でどのような取り組みの体制が必要とお考えですか。（おもなもの3つに○）

※「少人数指導や習熟度別学習」については、保護者、教員とも割合が高くなっている。

※教員は、「教材研究の時間を確保し、教師の力量を高める」（70.3％）の割合が保護者と比べて高く、保護者は「授業時数を増やす」（25.4％）、「放課後・休日などに補習を行う」（25.2％）の割合が教員と比べて高くなっている。

保 N=401 教=481



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

（保護者）

- ・サマースクールを7月末まで行う
- ・家庭学習の確立
- ・自宅で家庭学習を自分から出来るように指導する
- ・昼休みに15分程度の（半）強制昼寝時間を設ける
- ・子どもがわからないと思うところを個別にわかるようにする
- ・単純な読み書き、計算（100マス計算 etc）を毎日続けた朝学習等の時間帯に行うようにする

（教員）

- ・教員数を増やし、ひとり一人にかかる時間を確保する

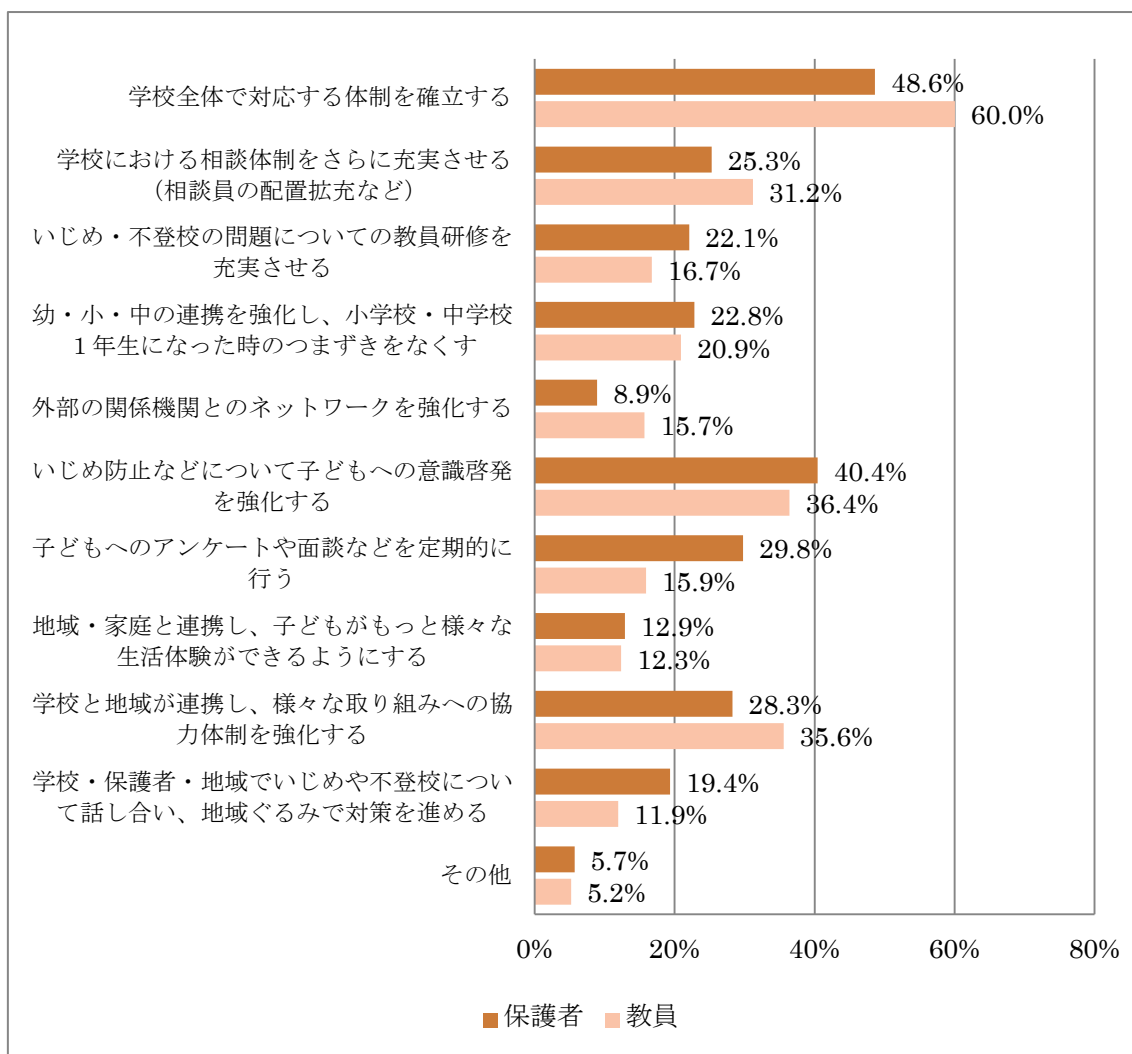
- ・少人数学級の編成
- ・土曜日に授業をする。週6日制
- ・教材研究を十分にできるよう分担していく
- ・音楽、図工など芸術教科は、専門の先生に教えて頂く
- ・3学期制に戻し、内容の連続性や区切りを大切に学習内容に戻す。2学期制は子供が学力低調になっていく事がやってみて明らかになった

(14) いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み

(保護者) 問6 (教員) 問10 いじめや不登校を未然に防止するためにはどのような対策が有効だとお考えですか。(おもなもの3つに○)

※「学校全体で対応する体制を確立する」(前回・保 49.2%、教 60.5%) や、「いじめ防止などについて子どもへの意識啓発を強化する」(前回・保 41%、教 36.7%) が、前回と同様に高くなっている。

保 N=403 教 N=478



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

（保護者）

- ・ 深刻な事態になる前に気づく
- ・ いじめの演劇の授業として子どもたちに「いじめられる側」「いじめる側」を体験させる
- ・ 家庭によつての考えの相違や環境によつていじめの原因となる行為の線引きも違う。親のモラルの教育も必要かと思う
- ・ 教員が子どもの様子をより細かく視察し、変化に気づけるようにする
- ・ 問題解決例を定期的に教師が発表、学ぶ場を設けていく

（教員）

- ・ 教師にもっとゆとりが必要
- ・ 1クラスの人数を減らし1人1人の子と向き合える時間と余裕が必要
- ・ 日常の子どもとのコミュニケーションをしっかりとる

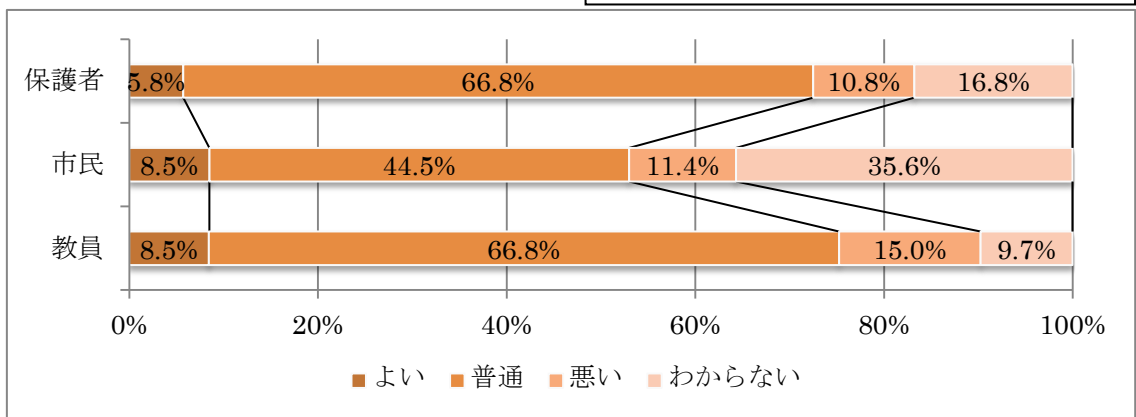
(15) 横須賀市の教育への評価

(保護者) 問 16 (市民) 問 9 (教員) 問 25 横須賀市の教育について、どのように評価しますか。(①から④のそれぞれ1つに○)

①教育環境全般

※前回に比べて「よい」を選んだ割合が、保護者（前回 7.8%）、市民（前回 11.7%）、教員（前回 10.2%）ともに低くなっている。

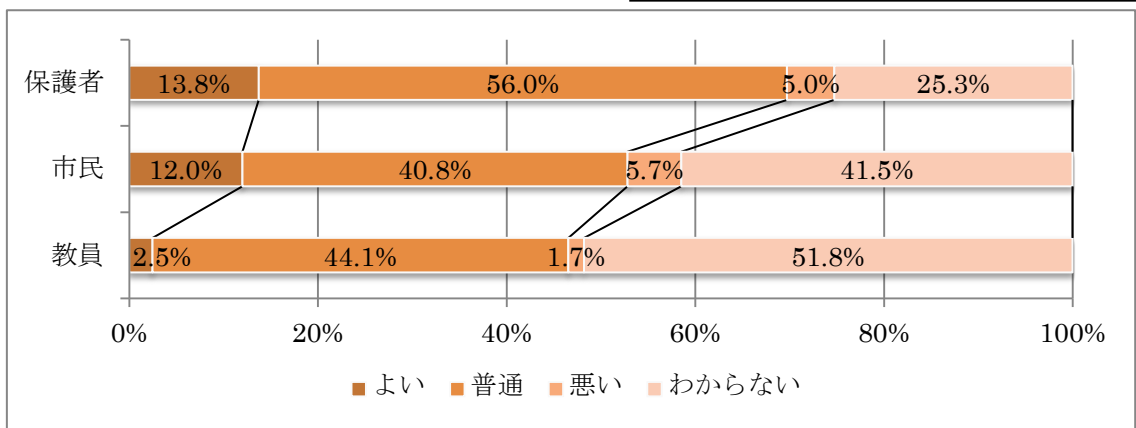
保 N=400 市 N=317 教 N=473



②幼稚園教育

※保護者（前回 11.1%）、市民（前回 13%）について、「よい」を選んだ割合が、③小学校教育、④中学校教育、⑤高校教育よりも高くなっている。前回と同様の傾向である。

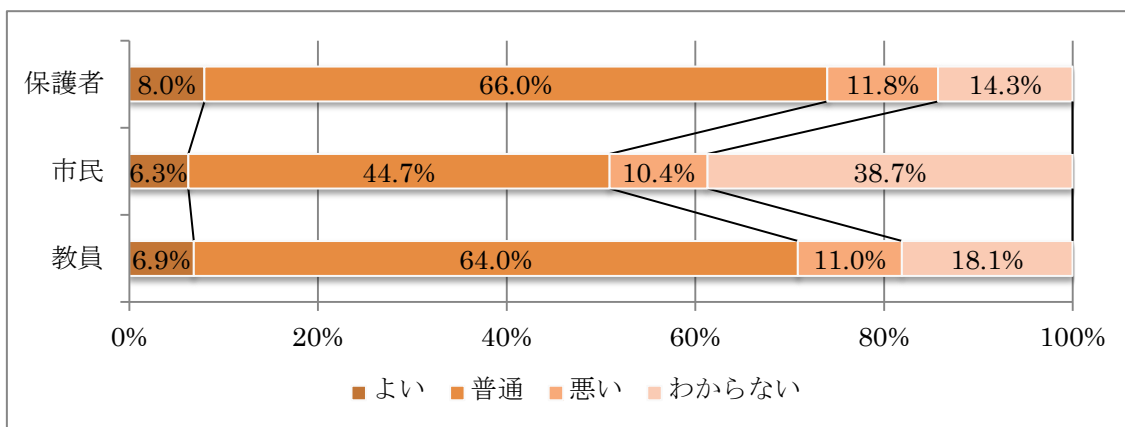
保 N=400 市 N=316 教 N=479



③ 小学校教育

※「よい」に比べて「悪い」の方がやや高くなっており、前回と同じ傾向である。

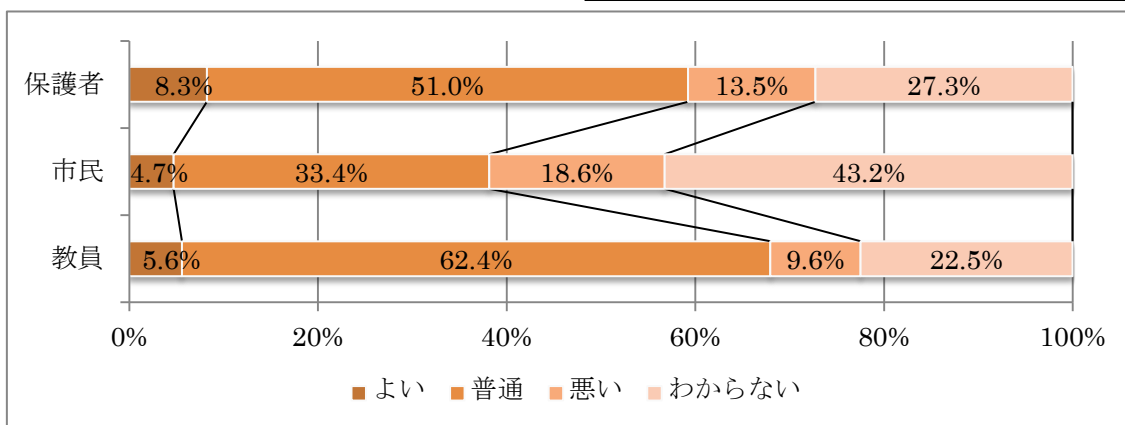
保 N=400 市 N=318 教 N=481



④ 中学校教育

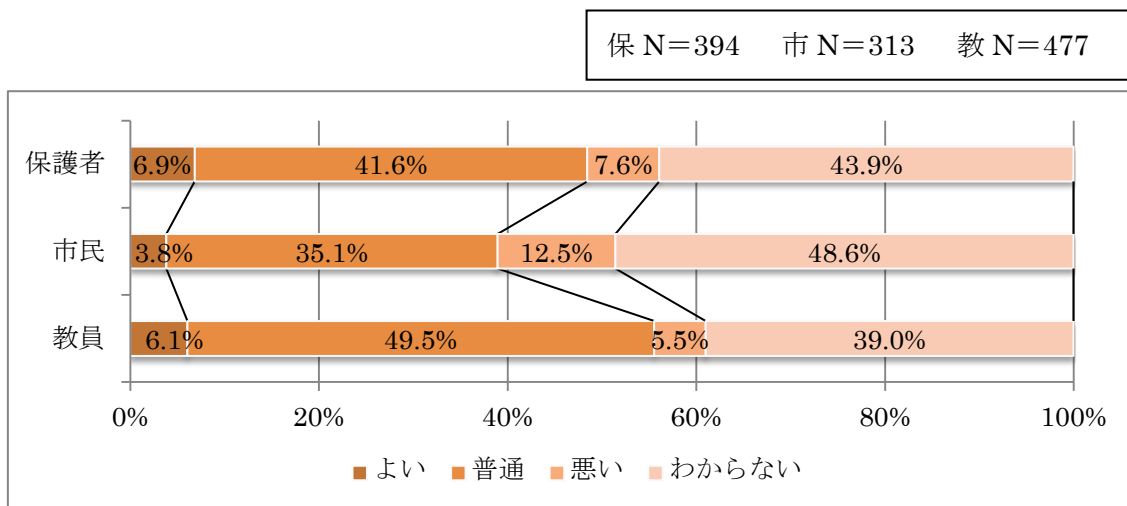
※保護者や教員では、「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 4.7%、教員 4.9%）

保 N=400 市 N=317 教 N=481



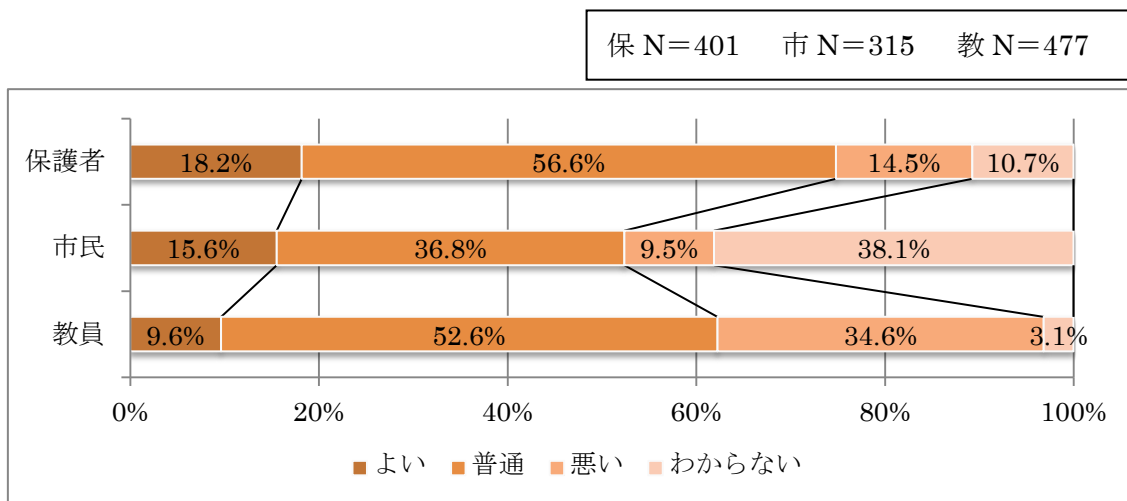
⑤ 高校教育

※保護者や教員では、「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 6.5%、教員 4.1%）



⑥ 学校施設・設備

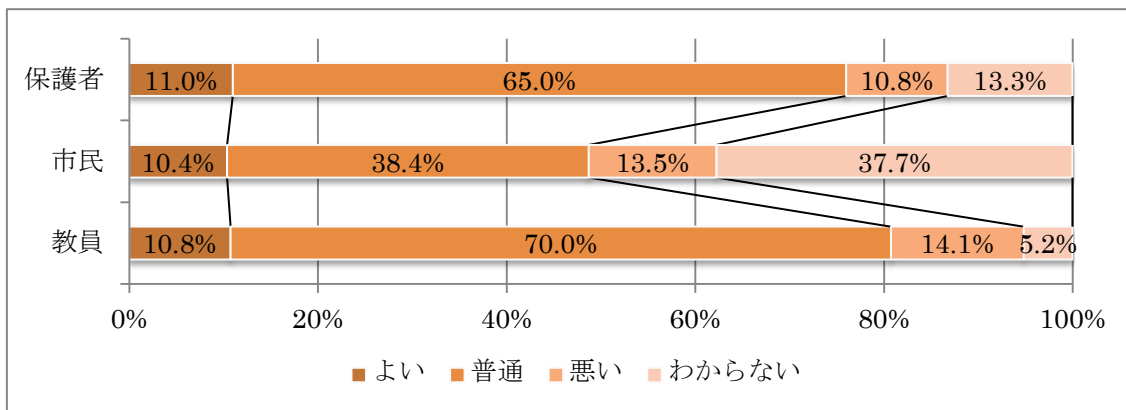
※保護者や市民では、「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 14.9%、市民 13%）



⑦学校の安全性（地震災害、犯罪被害）

※保護者、教員では「悪い」を選んだ割合が、前回と比べて低くなっているが（前回・保護者 11.3%、教員 23.3%）、市民については高くなっている（前回・市民 6.5%）。

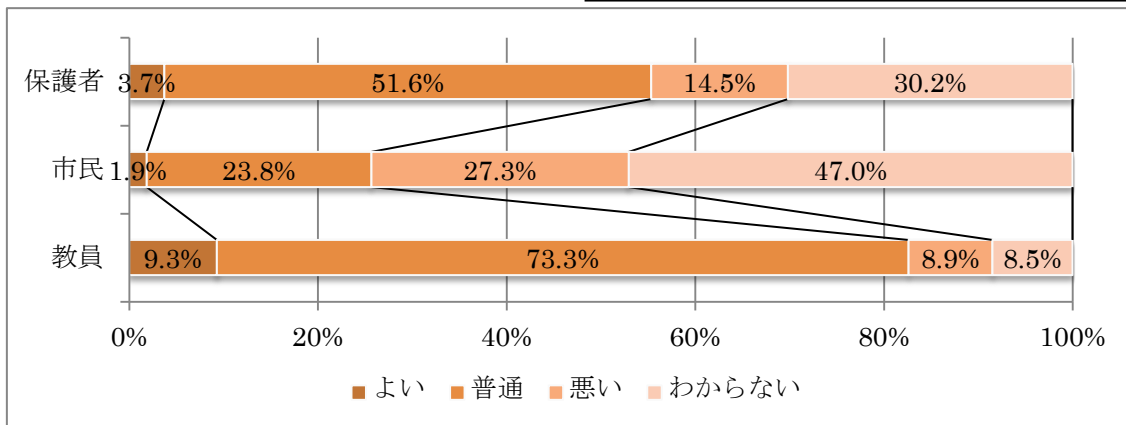
保 N=400 市 N=318 教 N=483



⑧児童生徒指導・いじめ対策

※市民は 27.3%が「悪い」を選んでおり、他と比べて高くなっている。

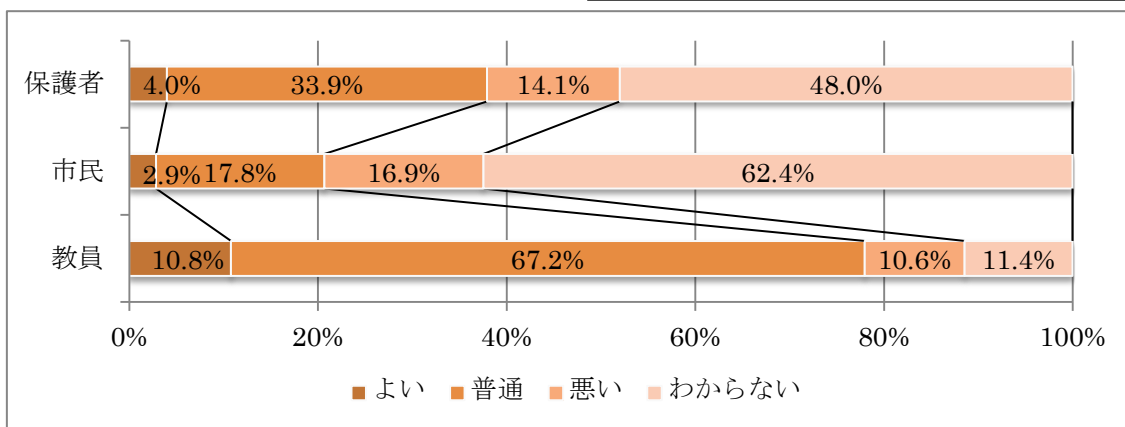
保 N=388 市 N=306 教 N=472



⑨ 不登校支援

※「普通」を選んだ割合が、教員と保護者、市民とでは大きな差がある。

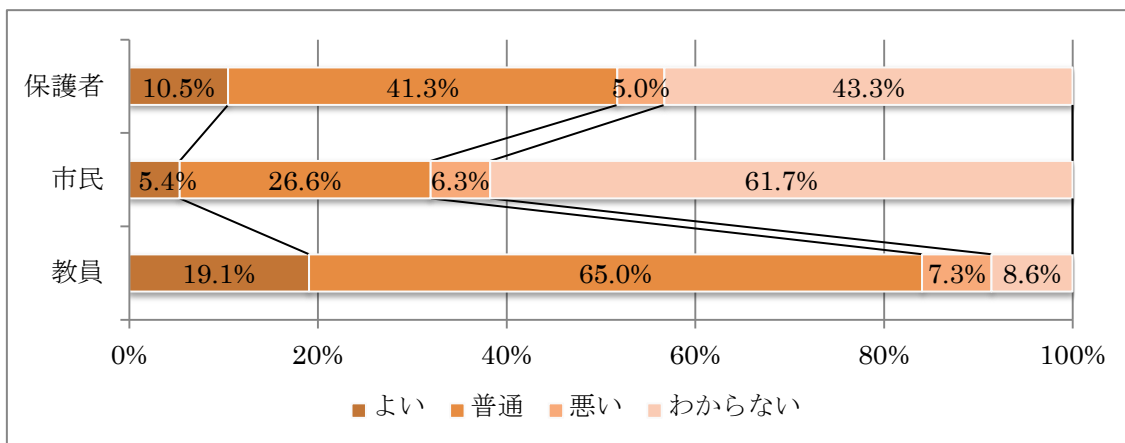
保 N=398 市 N=314 教 N=481



⑩ 特別支援教育

※保護者や教員では、「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 8.8%、市民 17.4%）

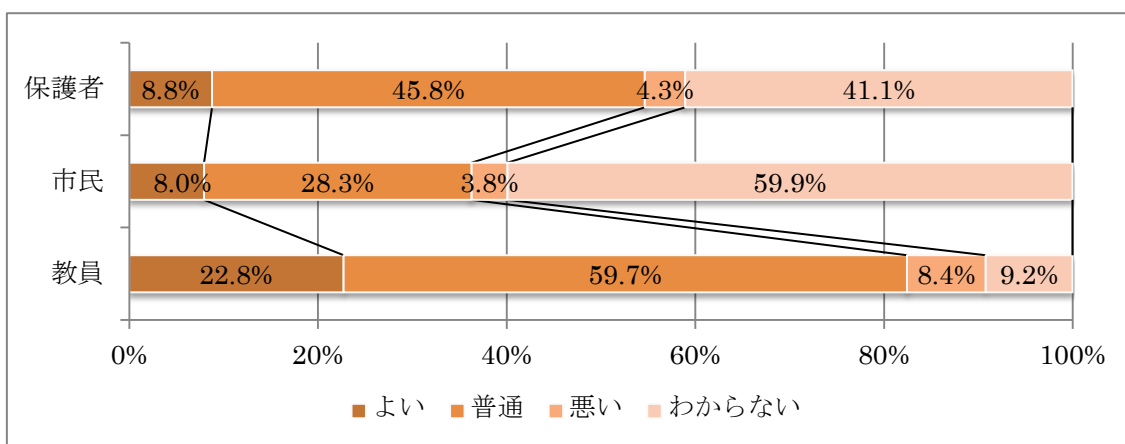
保 N=400 市 N=316 教 N=477



⑩情報教育（ICT活用推進教育）

※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 6.7%、市民 3.3%、教員 21.8%）

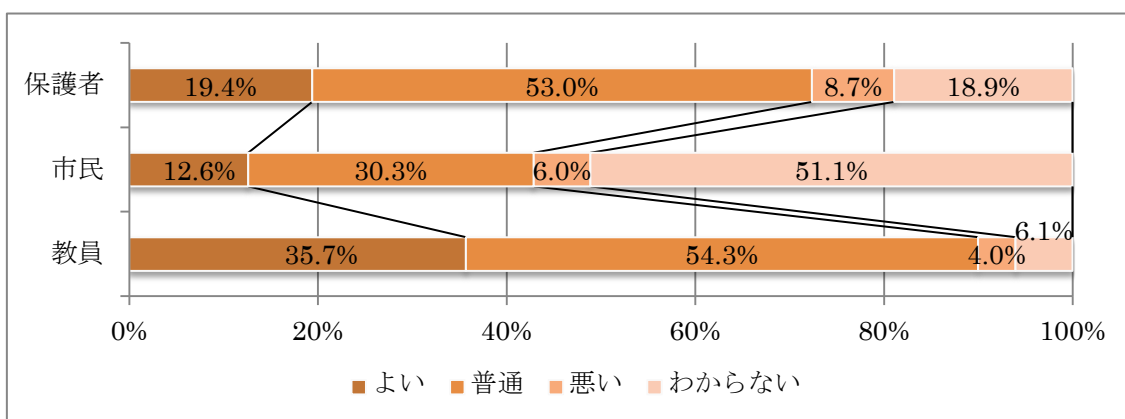
保 N=397 市 N=314 教 N=479



⑪外国語教育（小学校外国語活動も含む）

※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して大幅に高くなっている（前回・保護者 13.4%、市民 4.2%、教員 26.1%）

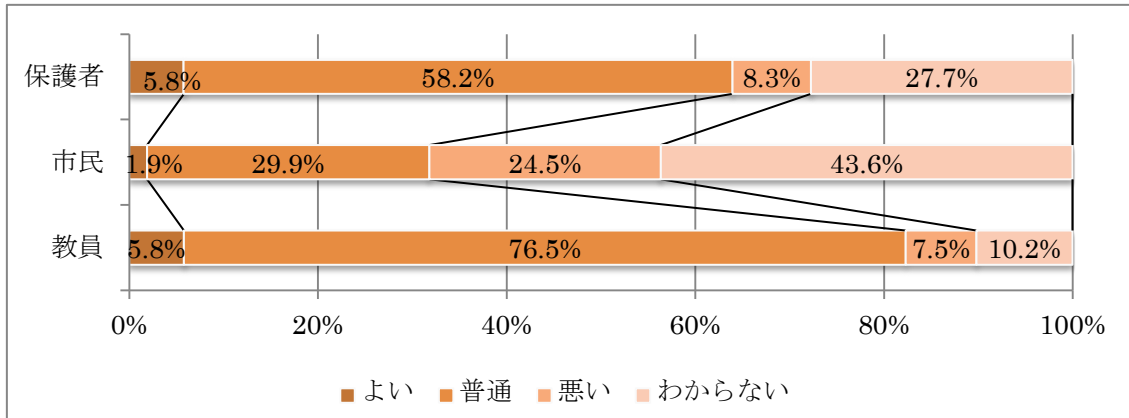
保 N=402 市 N=317 教 N=479



⑬道徳教育

※市民では24.5%が「悪い」を選んでおり、保護者、教員と比べて高くなっている。

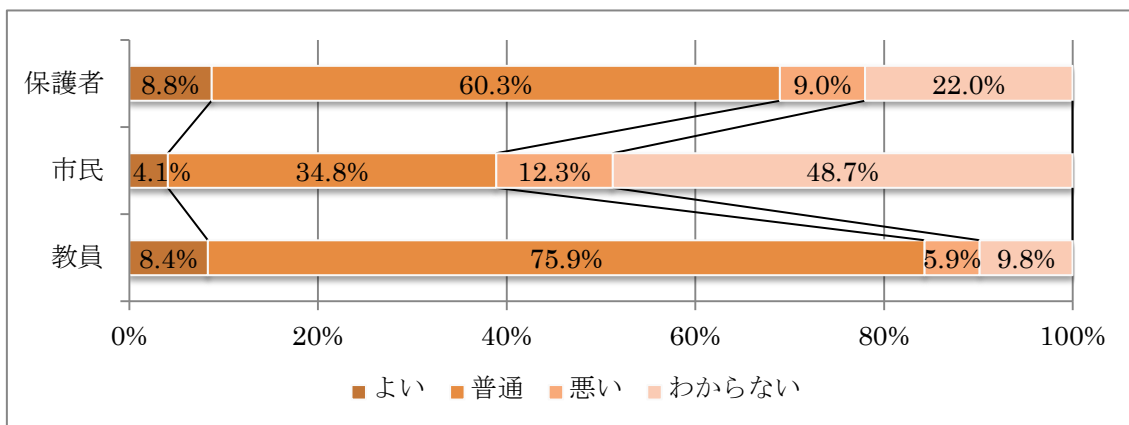
保 N=397 市 N=314 教 N=481



⑭総合的な学習の時間

※全体的に「普通」の割合が高い。

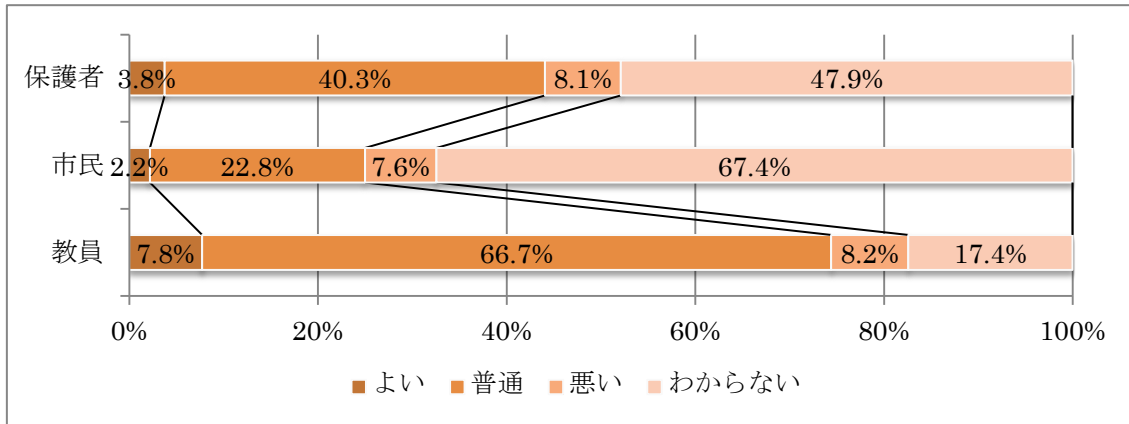
保 N=400 市 N=316 教 N=478



⑮キャリア教育の推進

※保護者、市民では「わからない」を選んだ割合が高い。

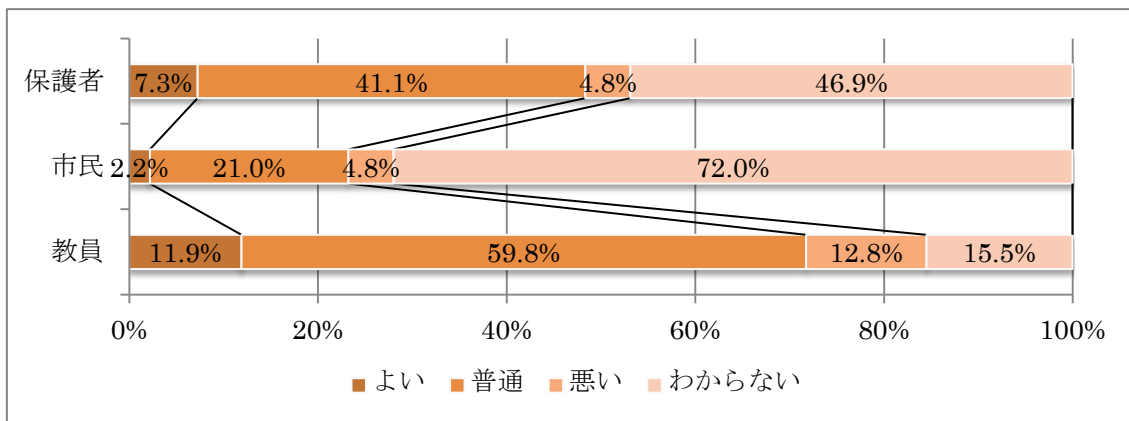
保 N=397 市 N=316 教 N=477



⑯ティームティーチング

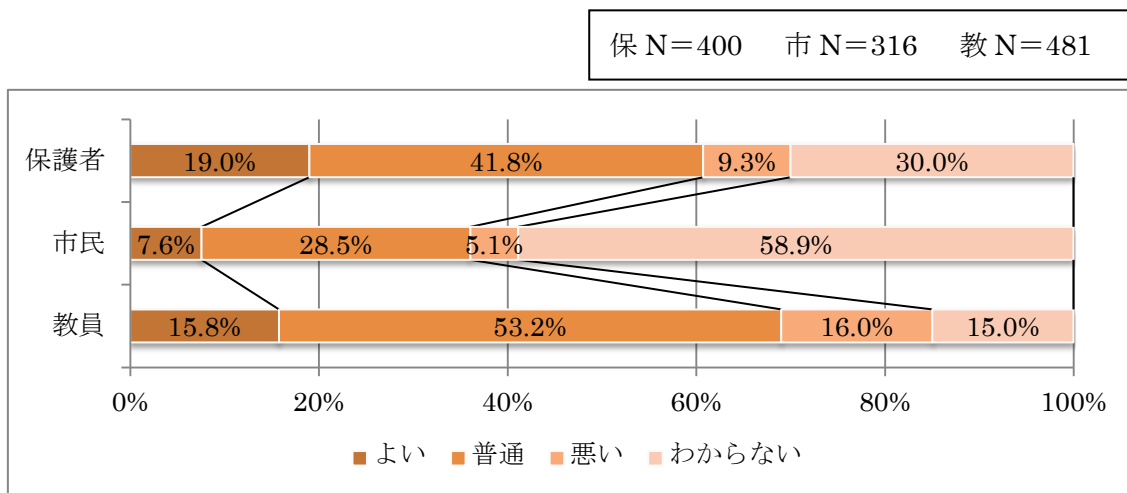
※保護者、市民では「わからない」を選んだ割合が高い。

保 N=399 市 N=314 教 N=478



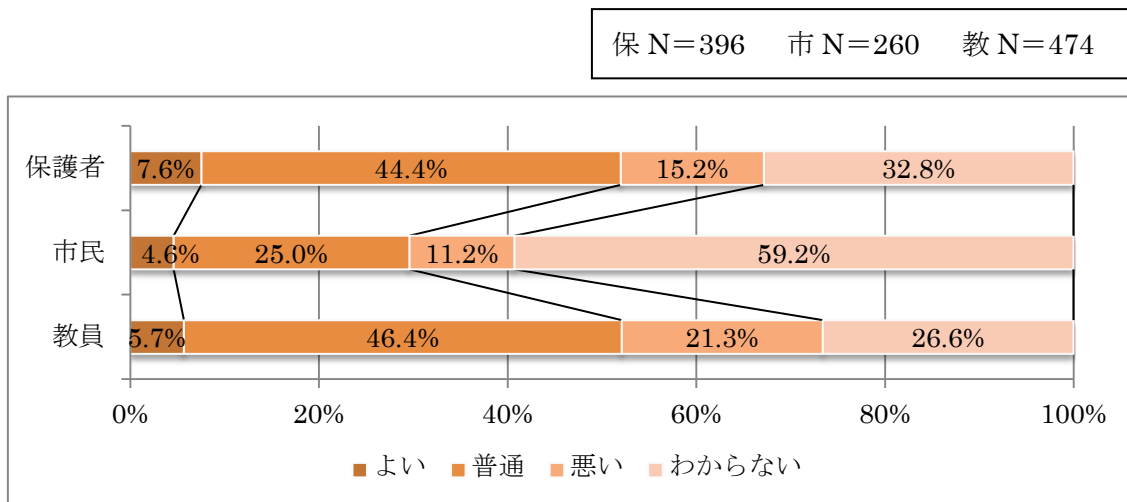
⑰少人数授業

※「よい」を選んだ割合が最も高いのは保護者となった。



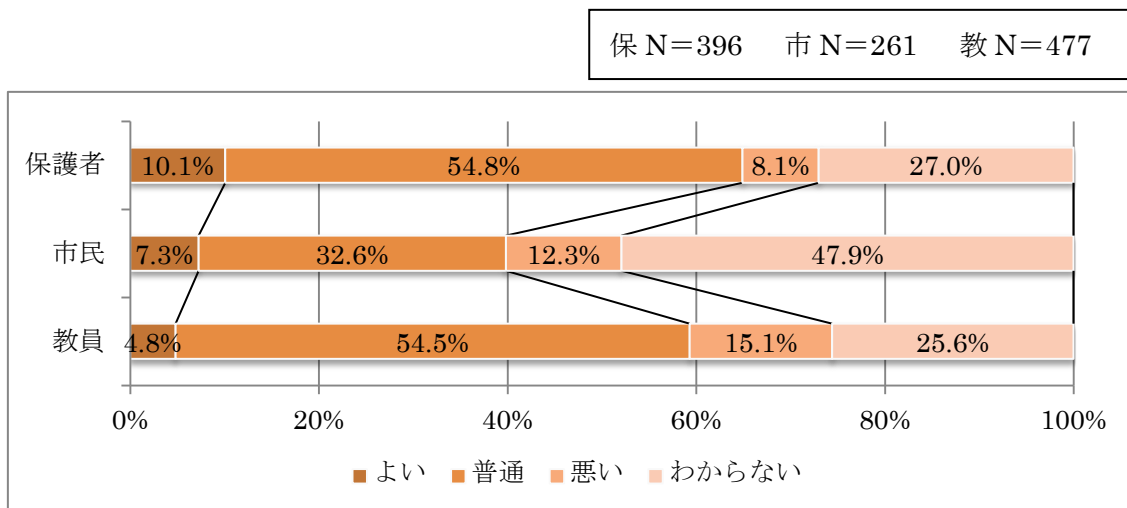
⑱習熟度別の指導

※保護者、教員は「普通」を選んだ割合が高いが、市民は約6割が「わからない」を選んでいる。



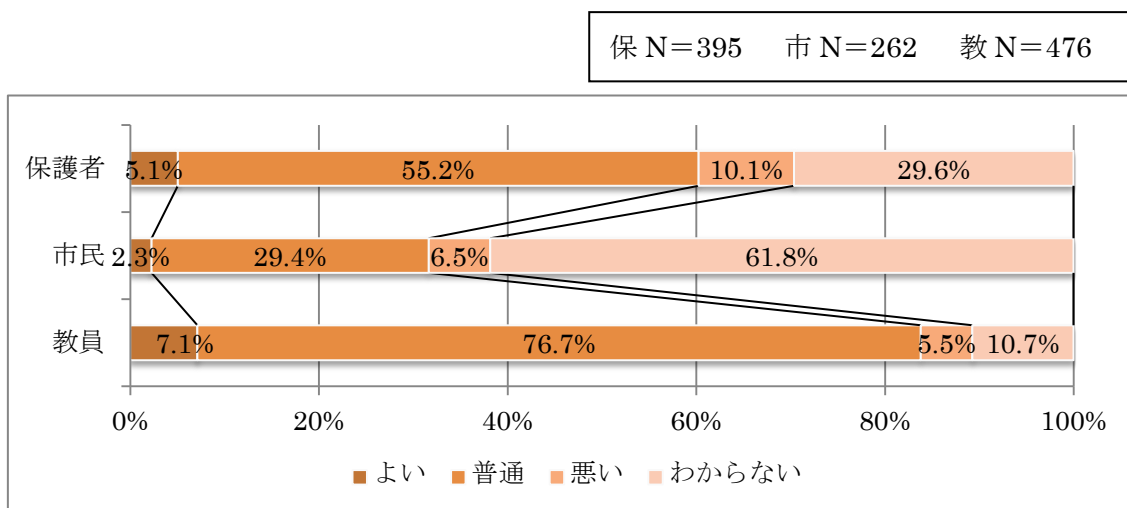
⑱郷土や伝統文化についての教育

※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 8.8%、市民 5.2%、教員 1.7%）



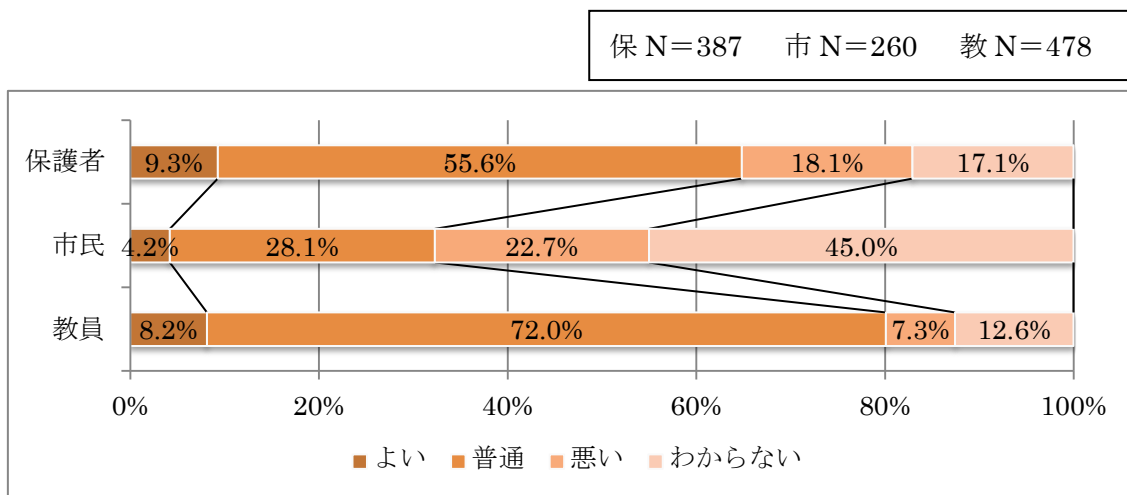
⑳目標に準拠した評価

※保護者、教員は「普通」を選んだ割合が最も多いが、市民については「わからない」を選んだ割合が6割であった。



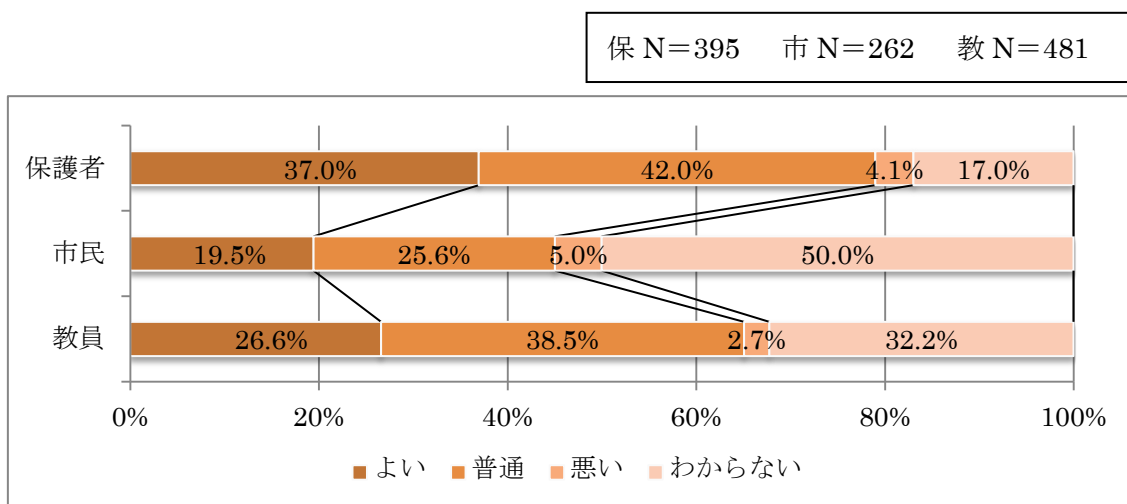
②教師の指導力

※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 4.4%、市民2.6%、教員6.8%）



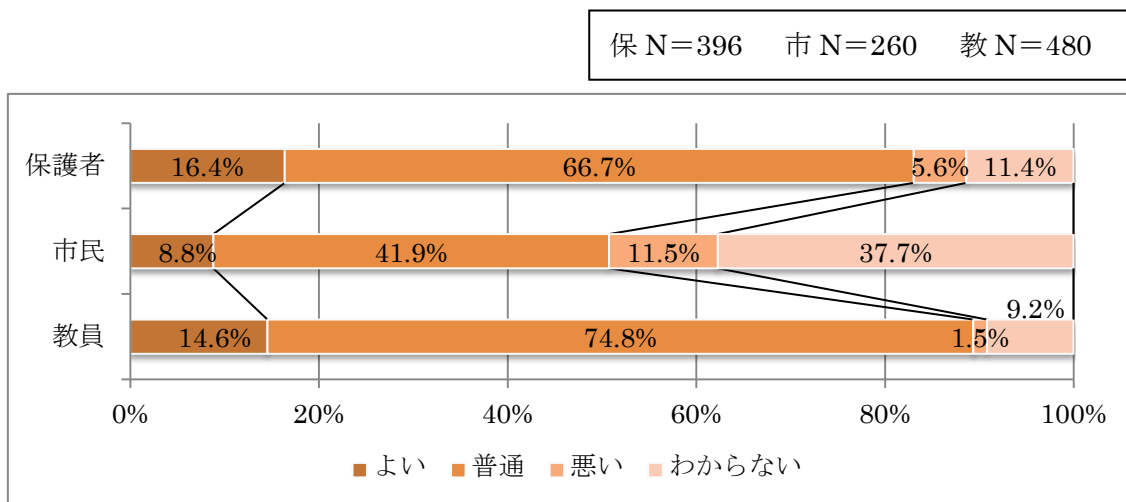
②給食における地場産物使用の推進

※保護者、市民、教員とも「よい」と回答した割合が、「悪い」と回答した割合よりも高くなっている。



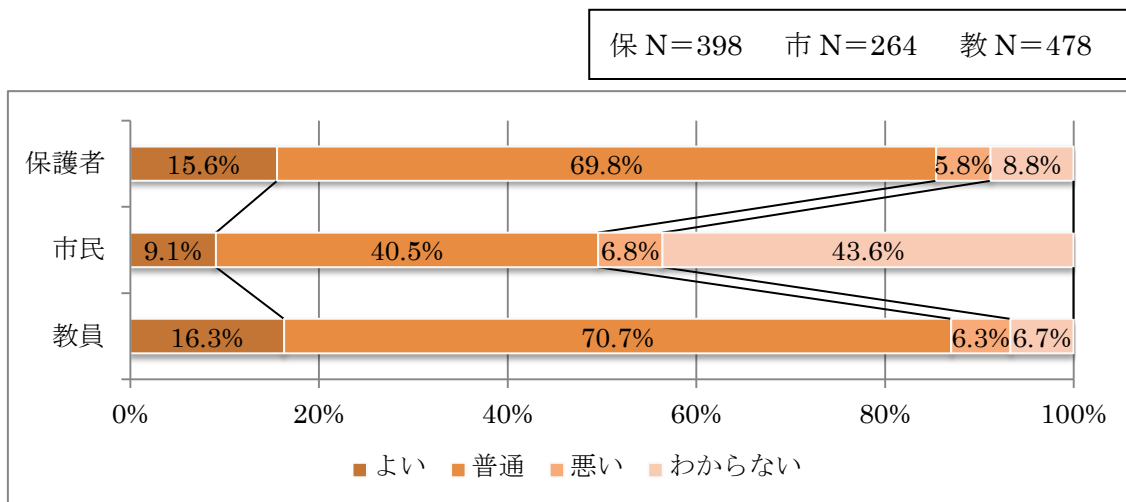
②保護者や地域への情報提供

※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して大幅に高くなっている（前回・保護者 9.6%、市民 4.6%、教員 8.3%）



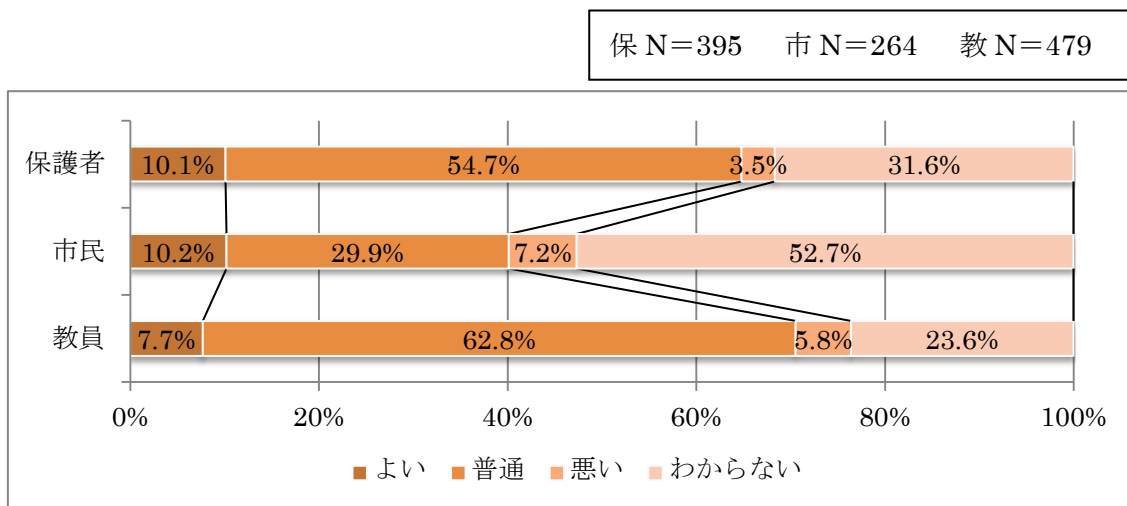
④PTAなど保護者の活動

※前回と同様に保護者、教員とも8割以上が「よい」「普通」を選択している。



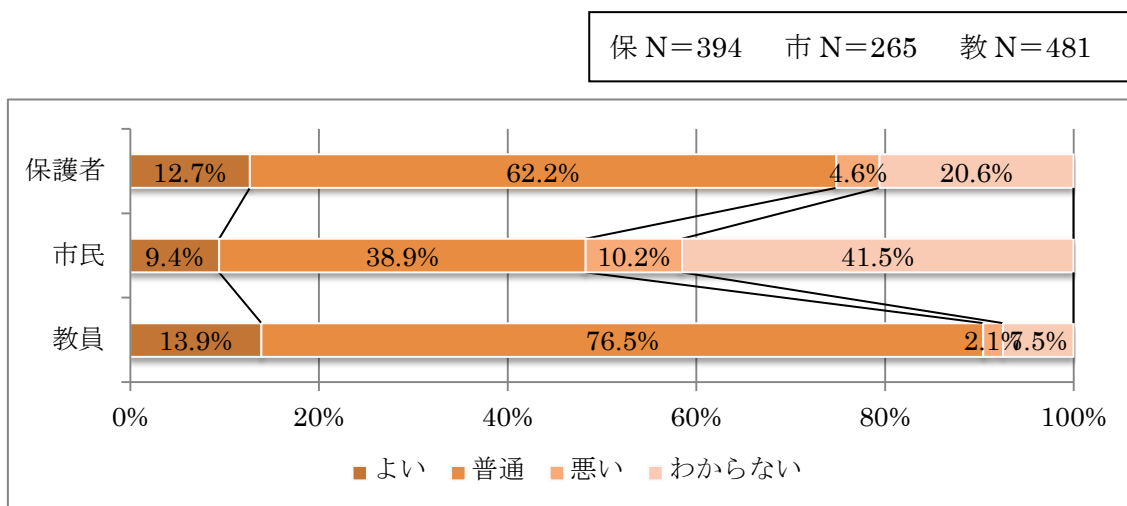
㊸市民の教育ボランティア活動

※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 8.5%、市民 5.6%、教員 5.9%）



㊸学校と地域との連携

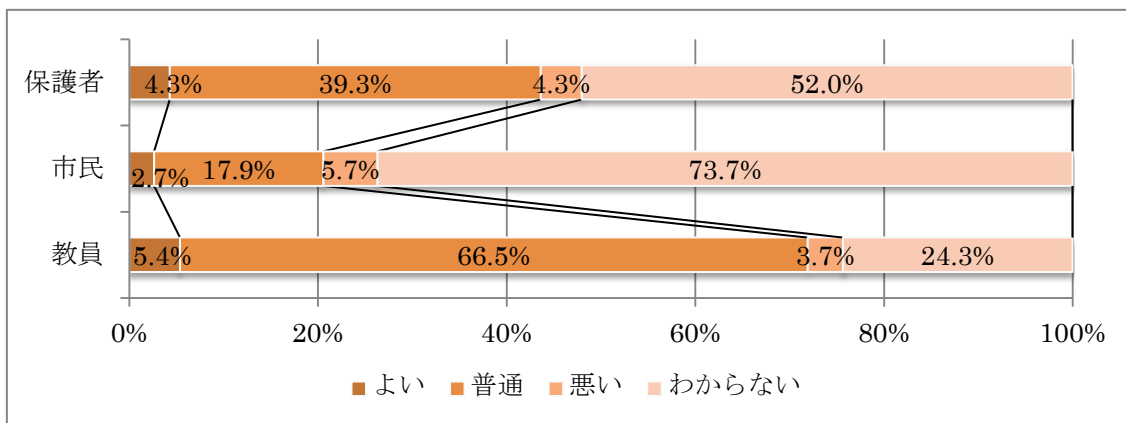
※全体的に「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 10.5%、市民 4.9%、教員 11.4%）



㉗学校評議員制度

※保護者、市民の5割以上は「わからない」を選んでいる。

保 N=394 市 N=265 教 N=481

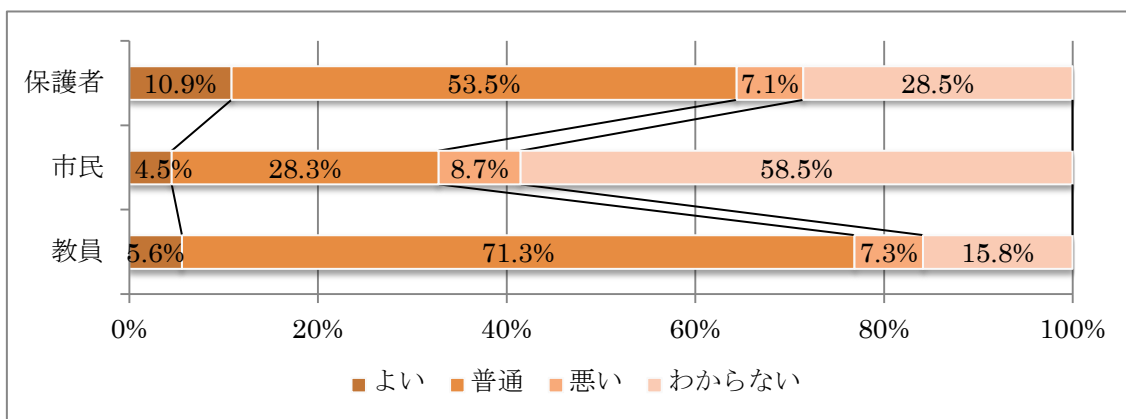


㉘学校評価

※保護者、教員の5割以上は「普通」を選んでいる。

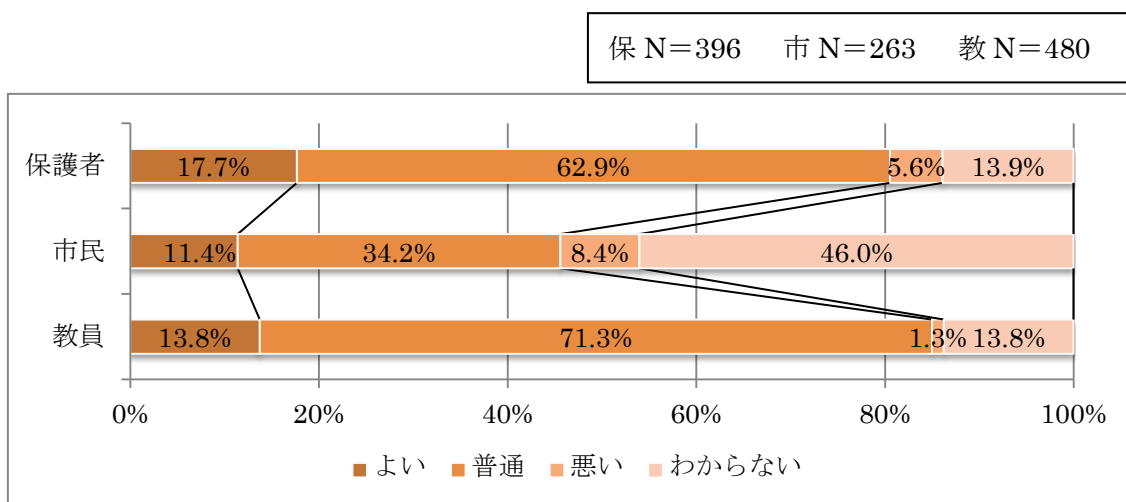
※「よい」を選んだ割合は、教員よりも保護者の方が高くなっている。

保 N=396 市 N=265 教 N=480



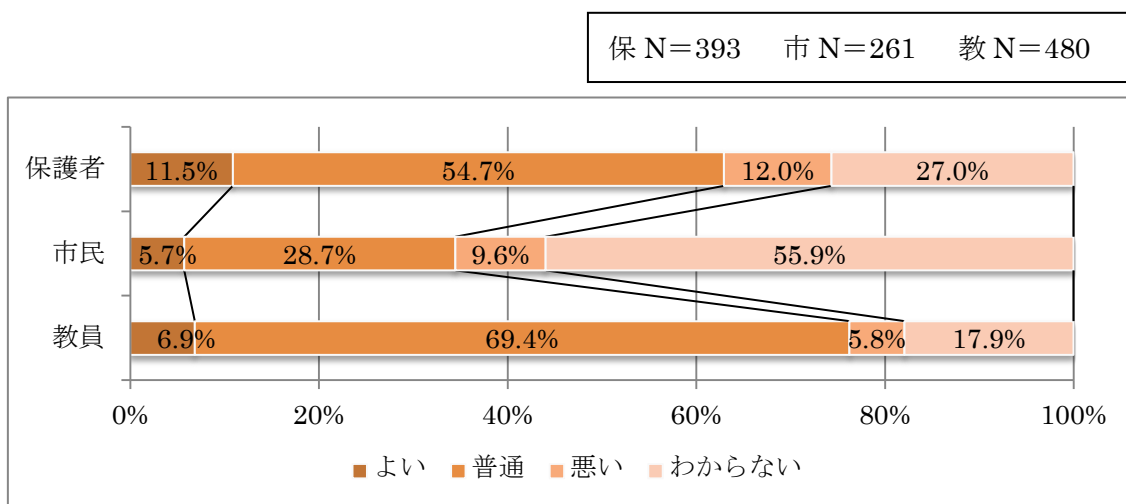
㊸学校開放

※保護者、市民では「よい」を選んだ割合が前回と比較して高くなっている（前回・保護者 16.5%、市民 6.2%）



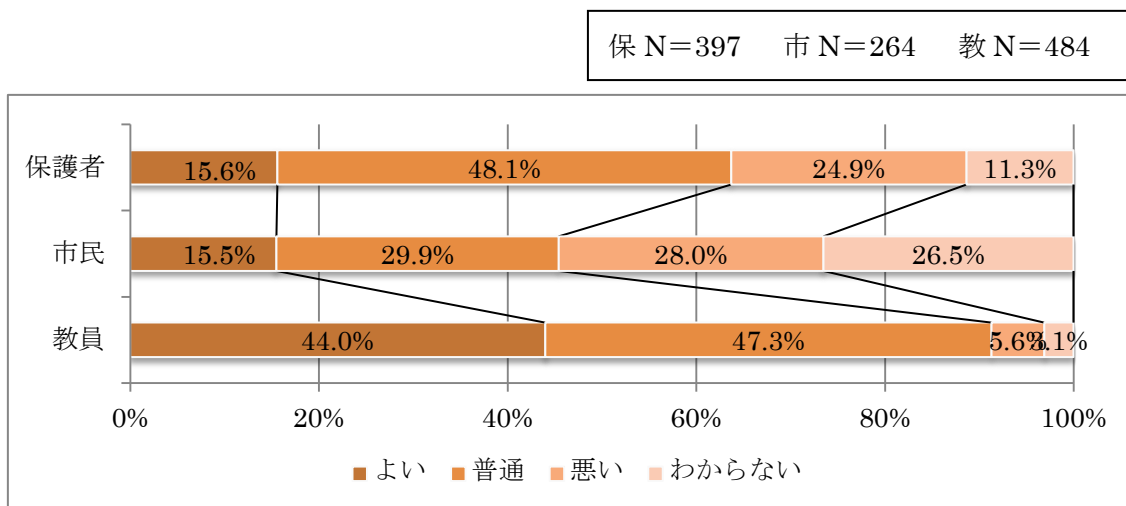
㊸特色のある学校づくり

※保護者、教員は、「よい」「普通」の割合が6割以上となっているが、市民は「わからない」が55.9%となった。



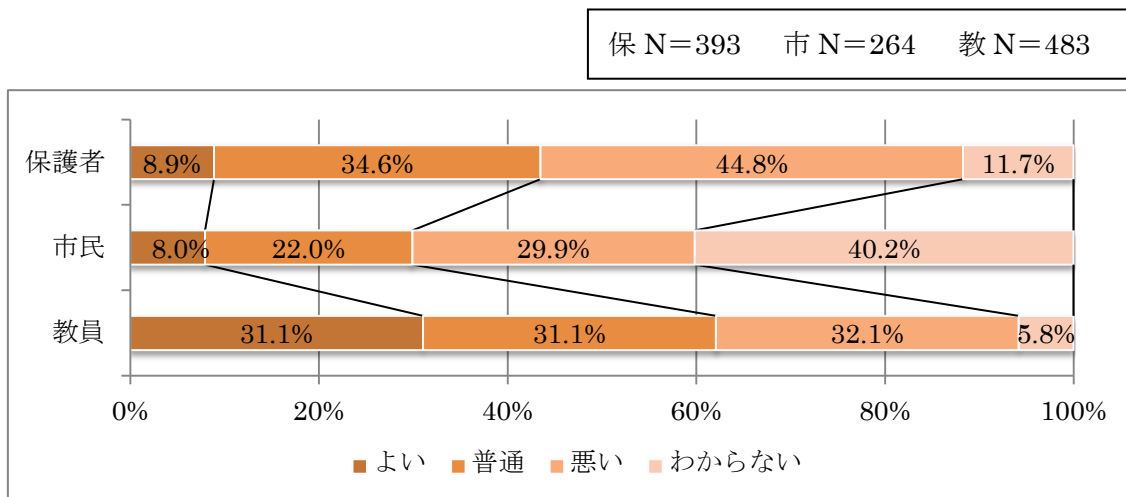
⑳ 学校週5日制

※教員の44%が「よい」を選んでおり、他と比べて高くなっている一方、保護者、市民は「悪い」を選んだ割合が教員よりも大幅に高くなっている。



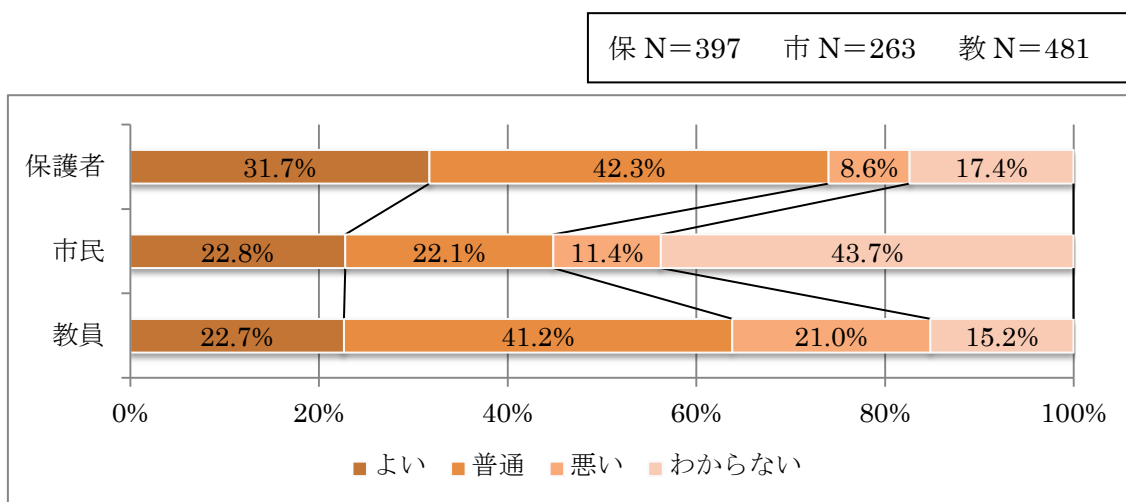
㉑ 2学期制

※教員の31.1%が「よい」を選んでおり、他と比べて高くなっているが、全体的に「悪い」を選んだ割合も高くなっている。



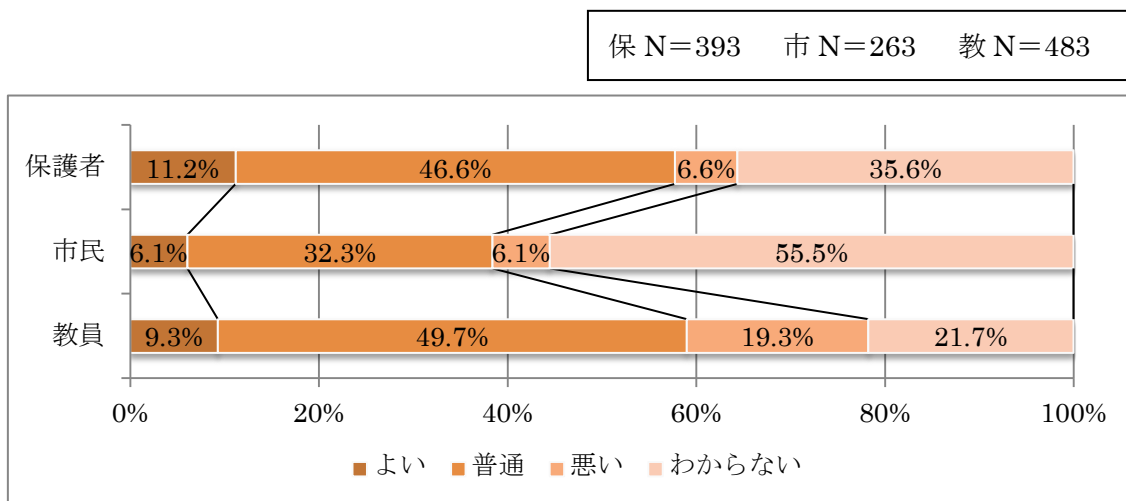
③学校選択制（中学校）

※「よい」を選んだ割合が最も高いのは保護者（31.7%）で、「悪い」を選んだ割合が最も高いのは教員である（21%）。



④学校規模の適正化

※教員では、「よい」を選んだ割合が、「悪い」よりも低くなっているが、保護者は「よい」を選んだ割合の方が「悪い」よりも高くなっている。



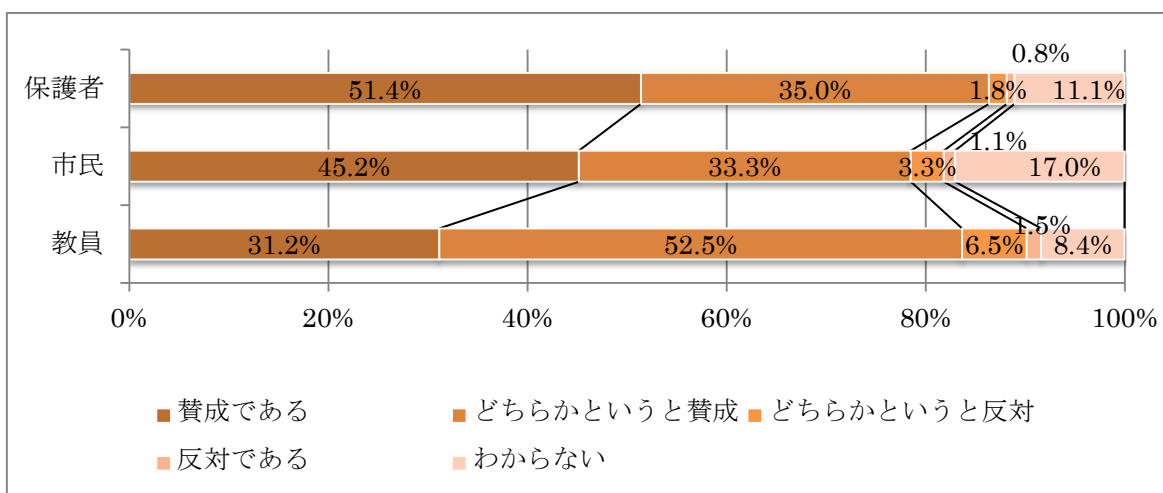
(16) 取り組みへの評価

(保護者) 問 17 (市民) 問 10 (教員) 問 26 これまでの教育の取り組みや、今後、検討する教育改革についてどのようにお考えでしょうか。(①から⑧のそれぞれ1つに○)

①小・中・高の児童生徒間・教師間交流

※保護者、市民、教員とも約8割が「賛成」「どちらかという賛成」を選んでおり、特に「賛成」を選んだ割合は、前回と比較して全体的に高くなっている。(前回・保護者 36.1%、市民 35.4%、教員 29.7%)

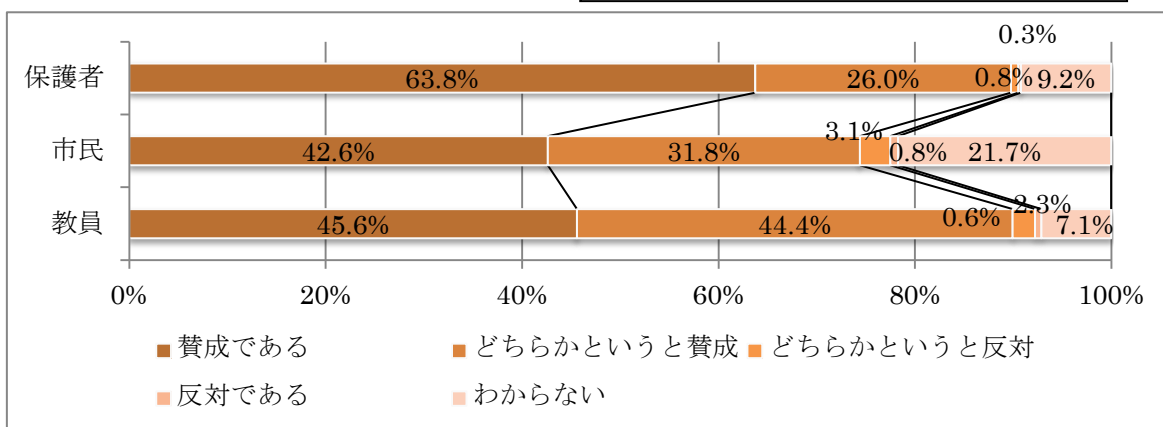
保 N=389 市 N=270 教 N=478



②サポートティーチャー

※保護者、市民、教員とも7割以上が「賛成」「どちらかという賛成」を選んでいる。

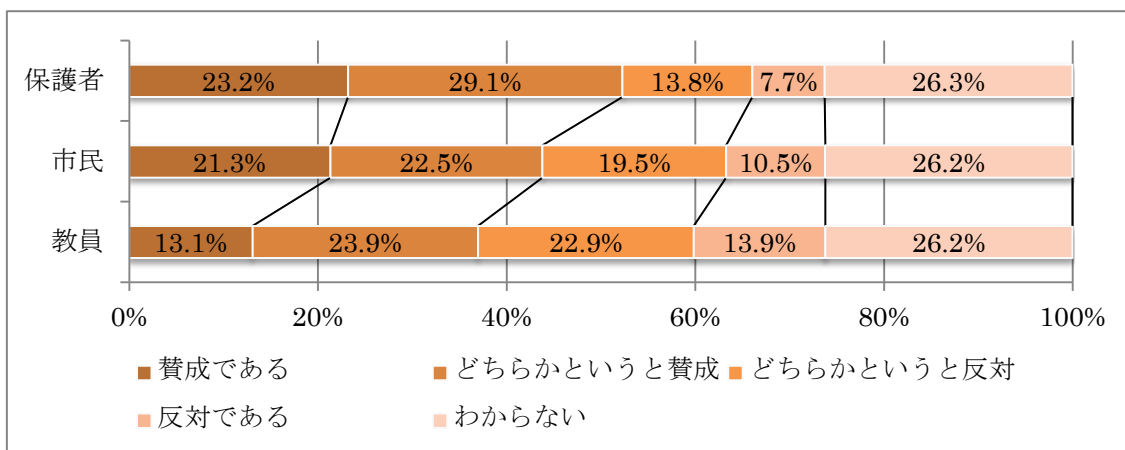
保 N=392 市 N=258 教 N=478



③校庭の芝生化

※保護者、市民、教員ともに回答が分散している。教員よりも保護者の方が「賛成」「どちらかという賛成」の割合が高い。

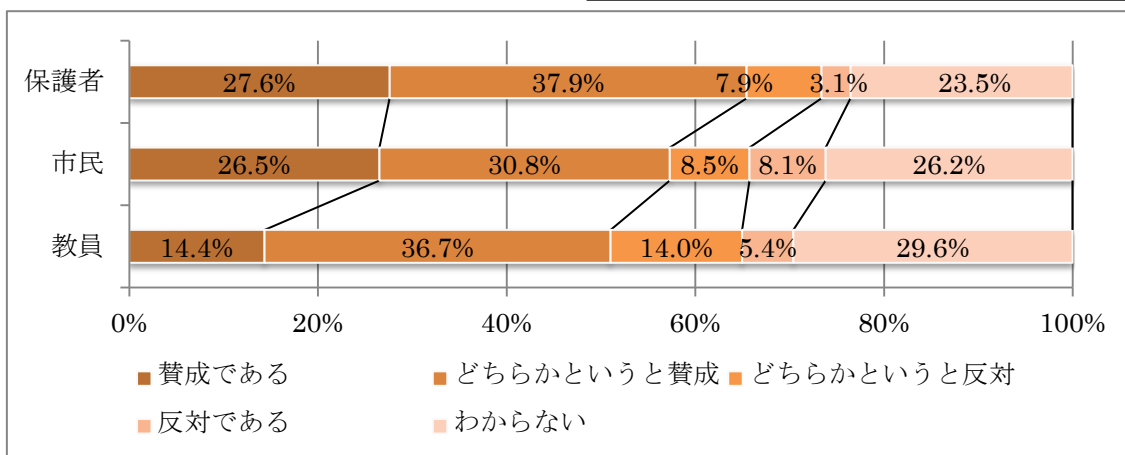
保 N=392 市 N=267 教 N=481



④校舎の壁面緑化

※保護者、市民、教員の5割以上は「賛成」「どちらかという賛成」を選んでいるが、教員については14%が「どちらかという反対」を選んでおり、他と比べて高くなっている。

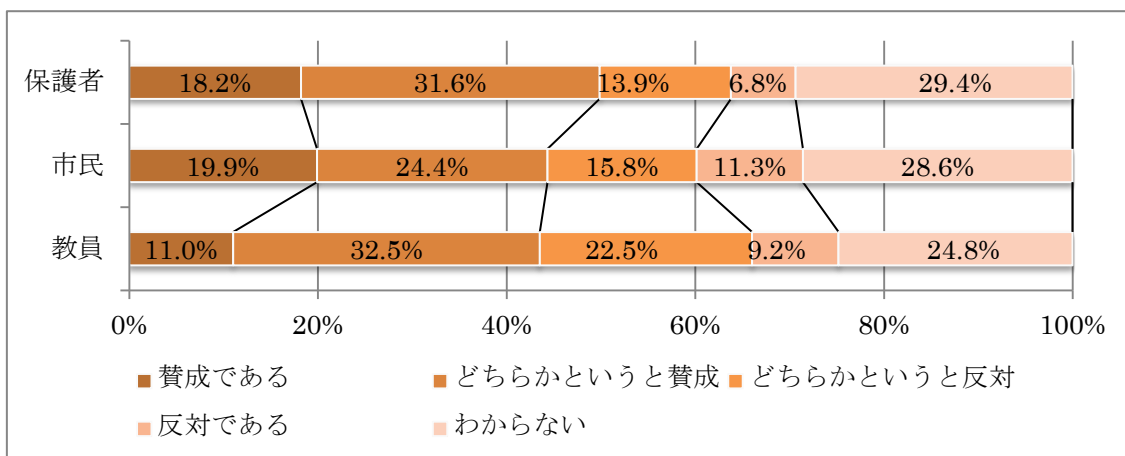
保 N=391 市 N=260 教 N=480



⑤小中一貫教育

※保護者、市民、教員とも前回と比べて「賛成」を選んだ割合が低くなっている。（前回・保護者 22.3%、市民 22.8%、教員 13.7%）

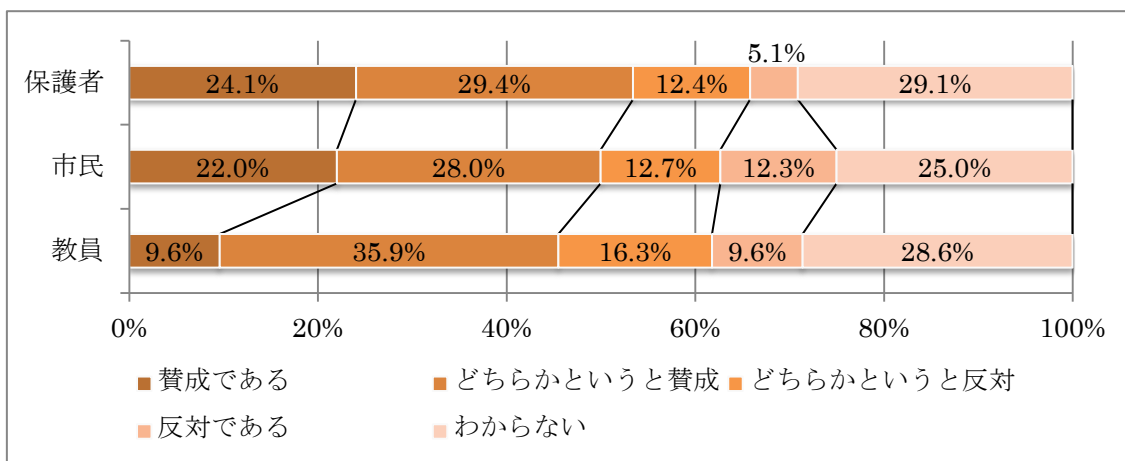
保 N=395 市 N=266 教 N=480



⑥中高一貫教育

※保護者、市民、教員とも「賛成」「どちらかという賛成」の割合が、小中一貫教育のそれよりも高くなっている。

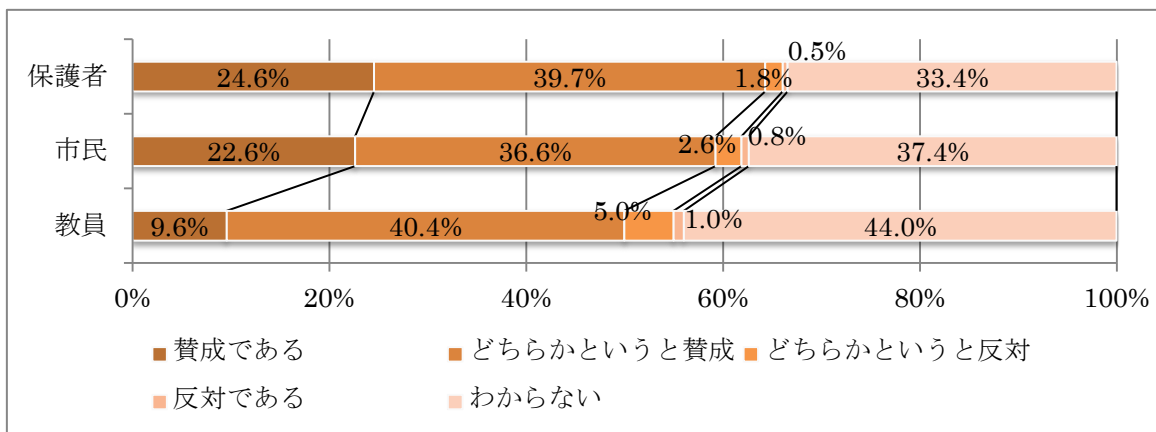
保 N=395 市 N=268 教 N=479



⑦コミュニティースクール

※保護者、市民、教員の5割以上は「賛成」「どちらかという賛成」を選んでいる。

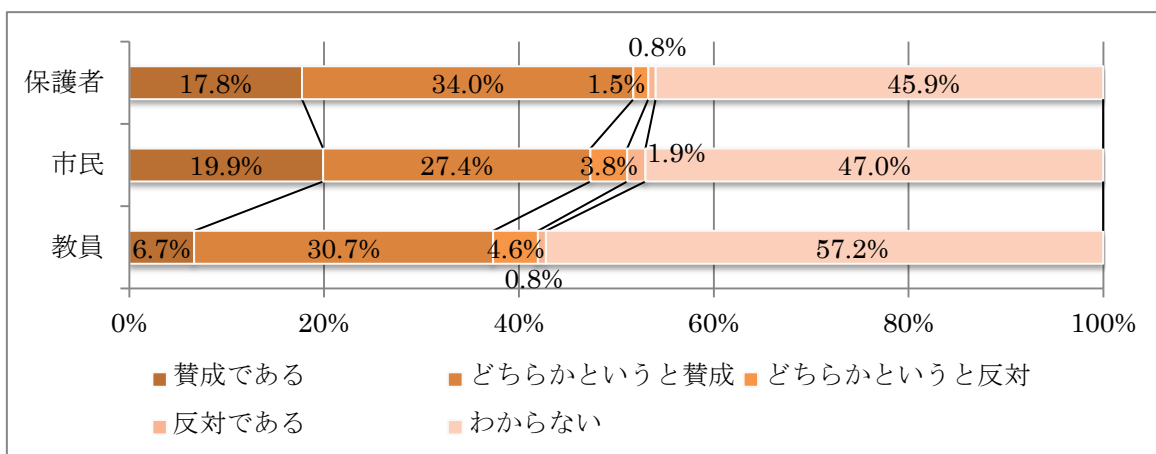
保 N=395 市 N=265 教 N=480



⑧学校支援地域本部

※保護者、市民と比べると、教員の「賛成」の割合が低くなっている。

保 N=394 市 N=266 教 N=479



6 悩みなど

(1) 健康や体力に関する問題

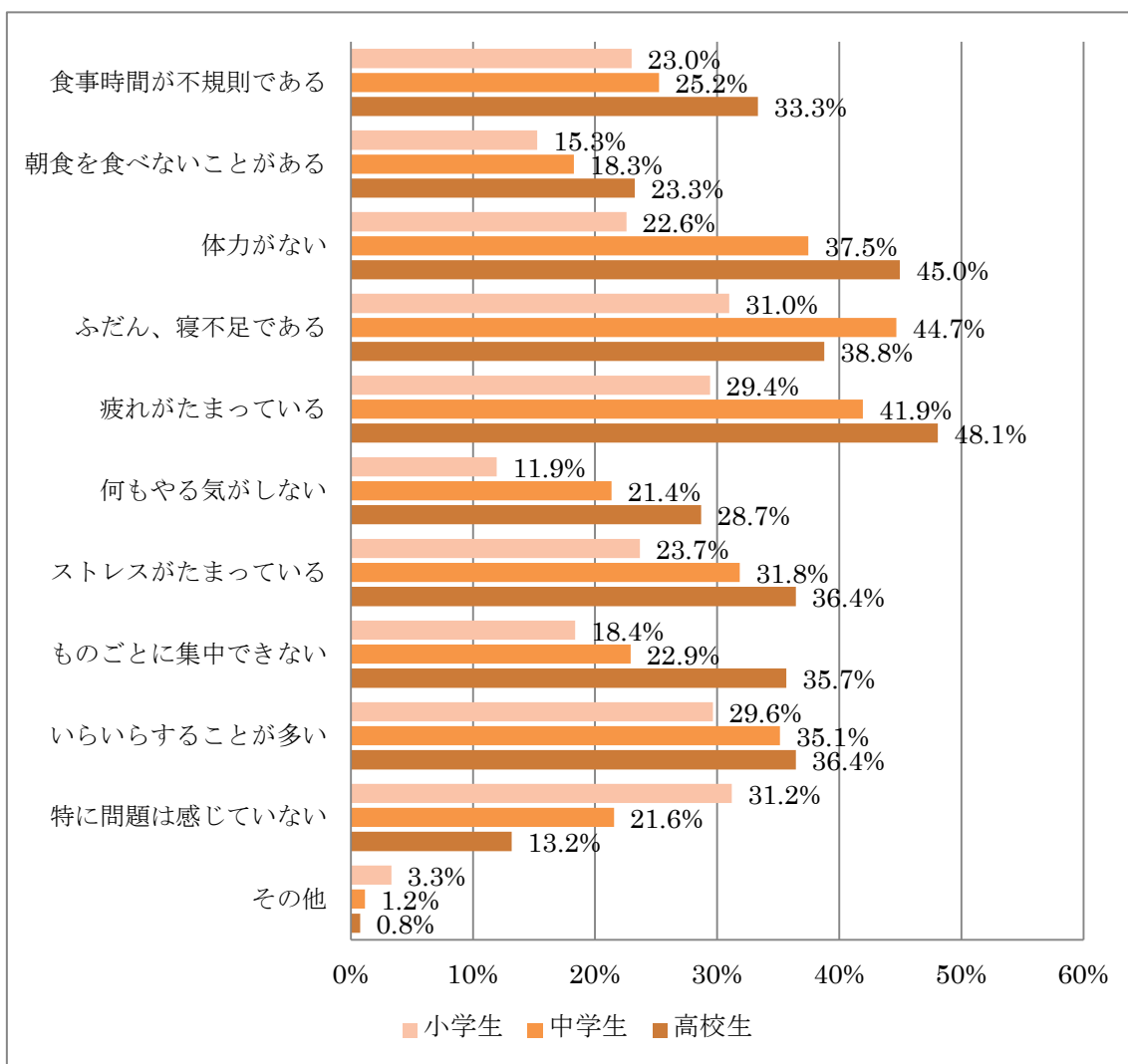
(児童生徒) 問6 自分の健康や体力について、あてはまるものがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

※「ふだん、寝不足である」、「疲れがたまっている」、「いらいらすることが多い」を選んだ割合が小学生、中学生、高校生とも高くなっている。

※中学生（37.5%）、高校生（45%）では「体力がない」を選んだ割合が前回（中学生 30.8%、高校生 37.2%）と比べて高くなっている。

※全体的には、小→中→高と上がるごとに、あてはまるものの割合が増える（逆に、「特に問題は感じていない」は減っていく）項目が多い。

小 N=452 中 N=515 高 N=129



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

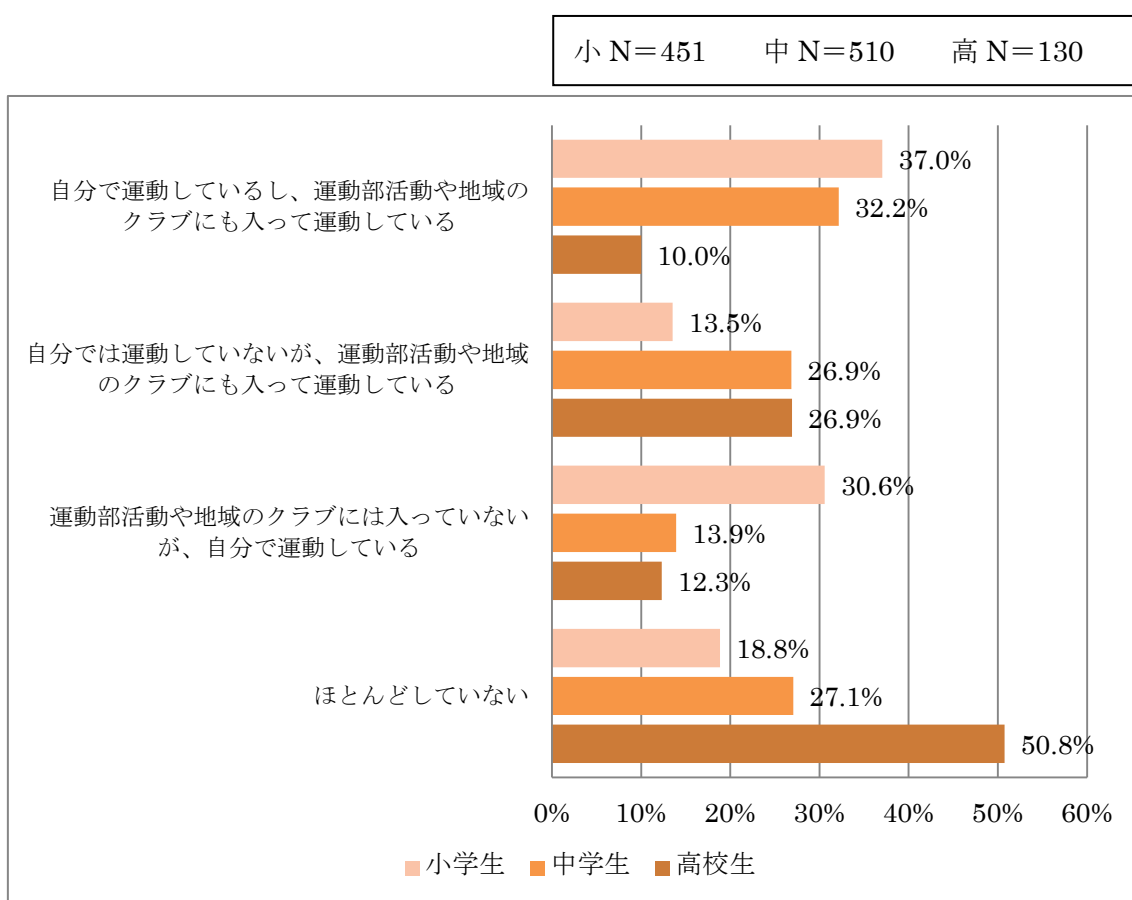
- ・ネガティブになってしまう
- ・ゲームばかりやっていたことがある
- ・だるい
- ・胃が痛い

（２）運動

（児童生徒）問 7 積極的に運動していますか。（１つに○）

※「自分で運動している」を選んだ割合は、小学生が最も高くなっている。

※高校生の５割以上が「ほとんどしていない」を選んでいる。

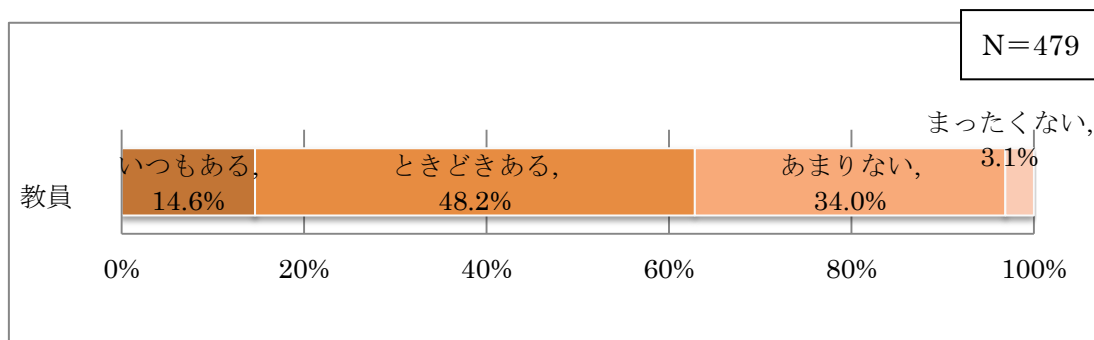


（３）悩みなどの有無

（教員）問 18 あなたは、最近、特に悩んだり困ったりしたことがありますか。（１つに○）

※約 6 割（前回 7 割）の教員が、「いつもある」か「ときどきある」を選んでいる。

※前回と比べると、「いつもある」(18.7%→14.6%)、「ときどきある」(52%→48.2%)の割合が低くなってきている。



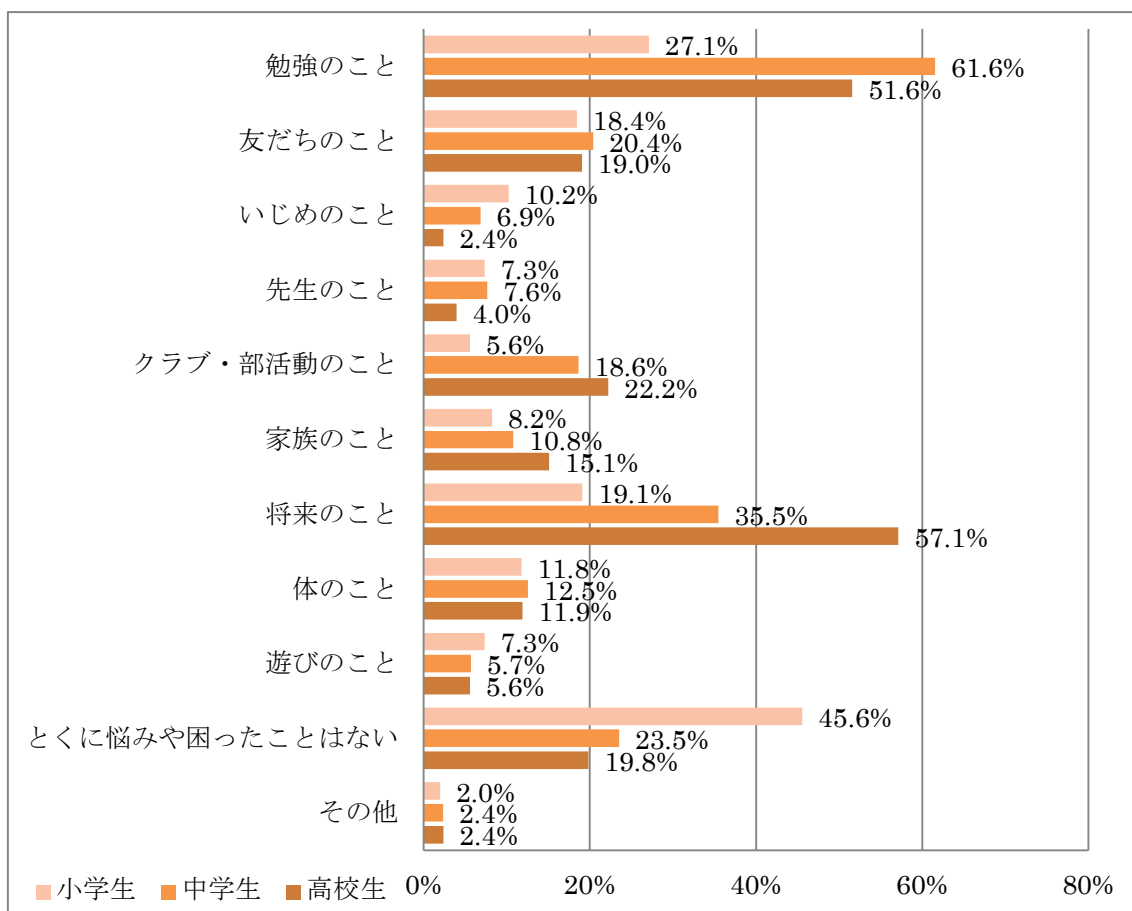
(3) 悩みや困ったことの内容

①児童生徒

(児童生徒) 問8 何か悩みや困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※小学生、中学生、高校生とも、「勉強のこと」、「将来のこと」の割合が高く、前回と同じ傾向となっている。一方、「とくに悩みや困ったことはない」については、小学生（前回 38.1%）、中学生（前回 21.4%）、高校生（前回 13%）とも前回より高くなっている。

小 N=450 中 N=510 高 N=126



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・ 友達に誤解をされること
- ・ 障害のこと
- ・ 学校の治安
- ・ 最近運動不足なこと
- ・ アルバイトのこと

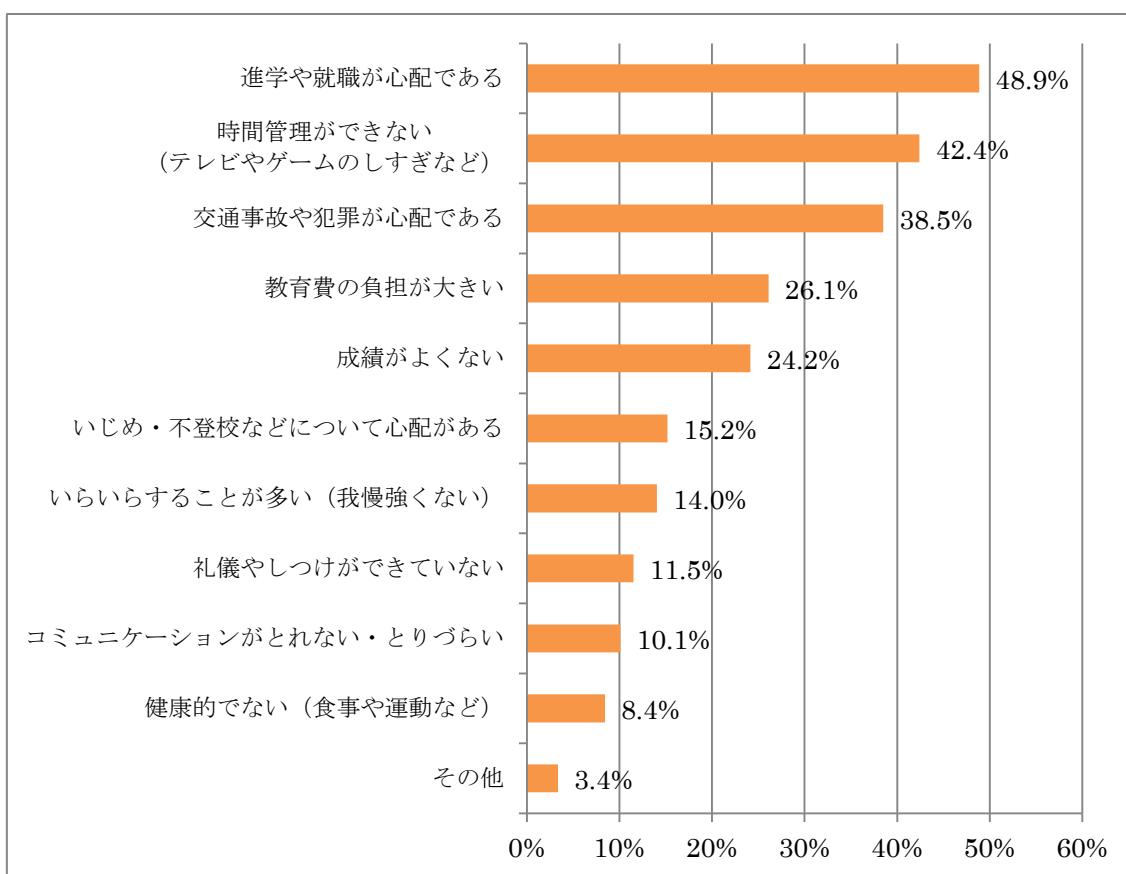
②保護者

(保護者)問 13 お子さんの生活や教育について、悩んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

※「進学や就職が心配である」、「時間管理ができない」、「交通事故や犯罪が心配である」の3つの割合が高い。

※前回最も割合が高かった「教育費の負担が大きい」(前回 46.1%)は、今回 26.1%と低くなった。

N=356



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

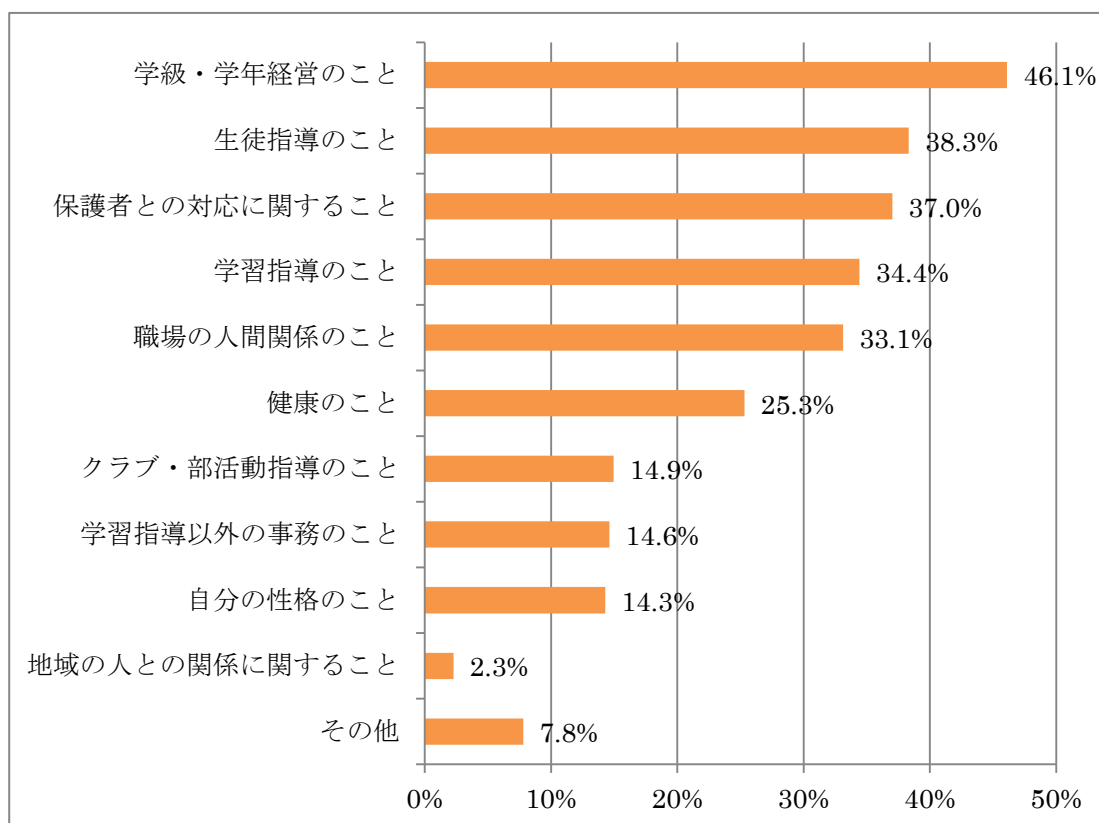
- ・ 進学後の塾等について
- ・ 放課後や土日に子どもたちが友だちと安心して遊べるスペースがない
- ・ アレルギーについて
- ・ 人間関係

③教員

（教員）問 19 悩んだり困ったりしたことはどんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

※「学級・学年経営のこと」、「生徒指導のこと」、「保護者との対応に関すること」が、上位3つとなっている。前は、「学級・学年経営のこと」、「生徒指導のこと」、「学習指導のこと」が上位3つであった。

N=308



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・授業内容の事
- ・保護者同士の関係
- ・家族のこと
- ・出費が多いこと（公的な夜の会食等）
- ・多忙すぎて、身体の疲れがとれない
- ・分掌の仕事量のこと

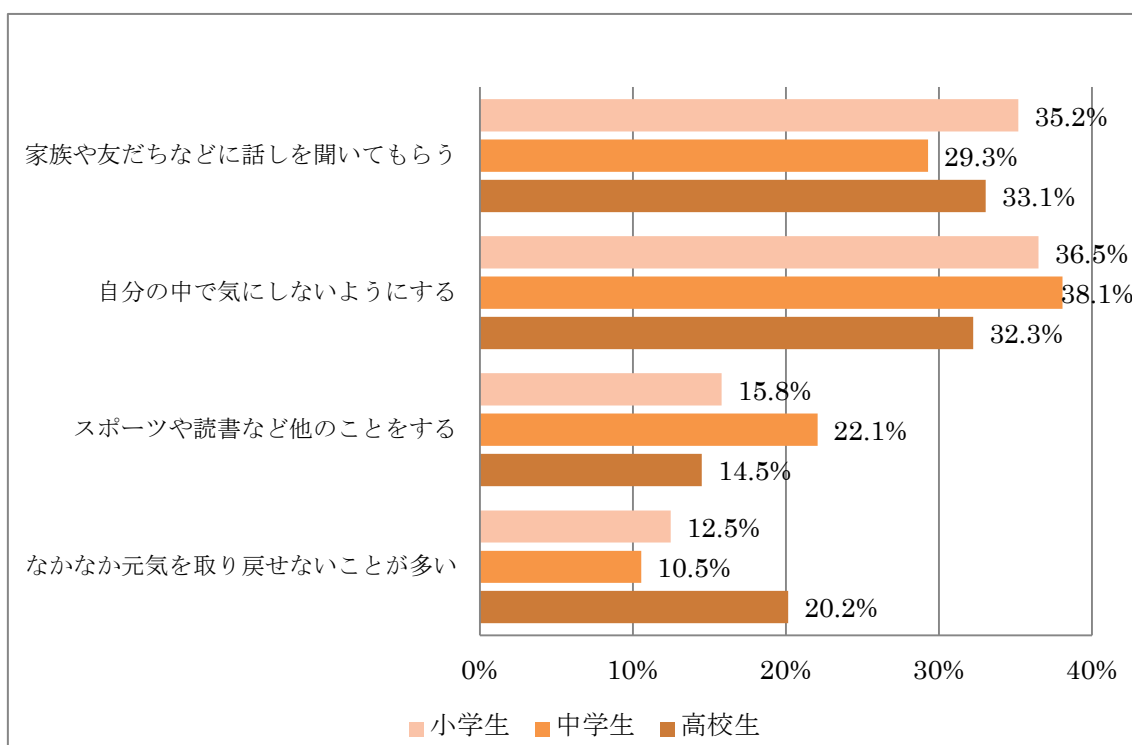
（５）落ち込んだ時の対処方法

（児童生徒）問9 いやなことがあって落ち込んだ時、どのようにすることが多いですか。（1つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「家族や友だちなどに話を聞いてもらう」、「自分の中で気にしないようにする」を選んだ割合が、約3割～4割となっている。

※「なかなか元気を取り戻せないことが多い」については、高校生が20.2%と最も割合が高くなっている。

小 N=449 中 N=512 高 N=124



（6）相談相手

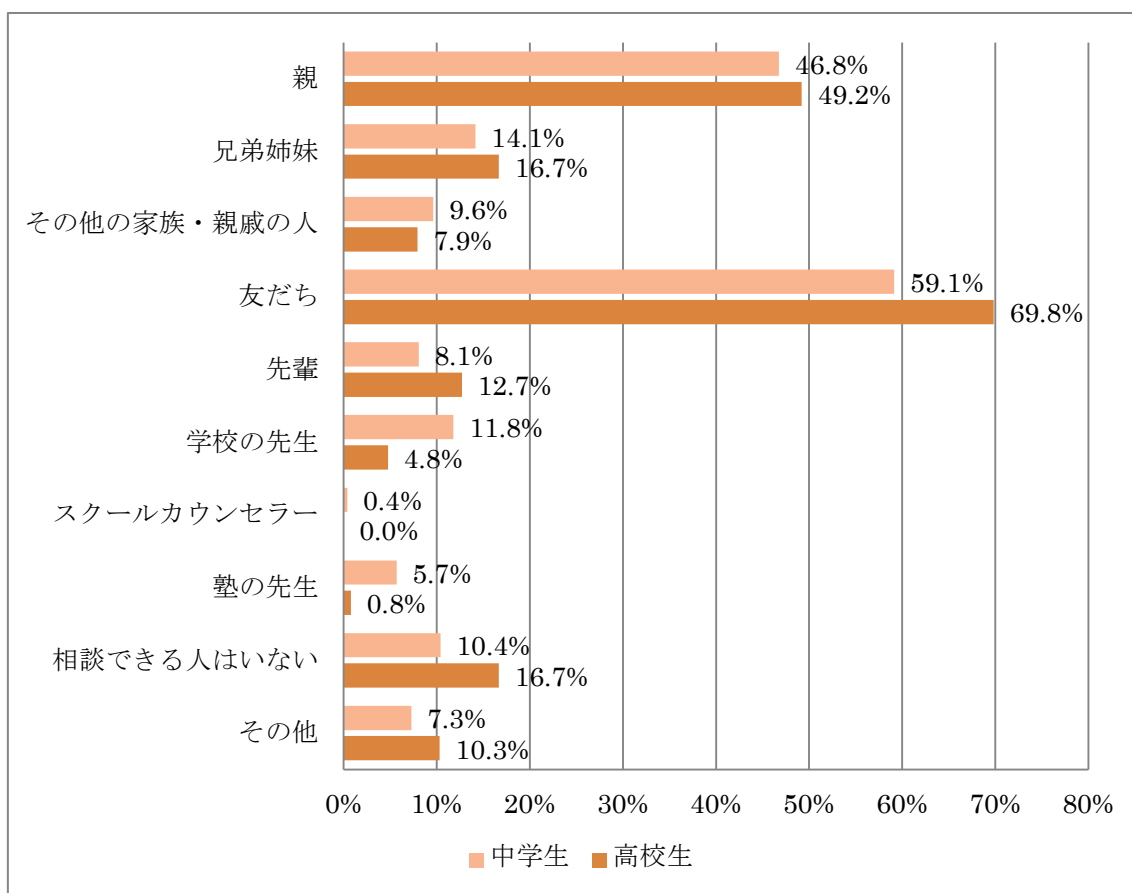
①児童生徒

（児童生徒・中・高校生）問 10 悩みや困ったことがあるときは、だれ（どこ）に相談しますか（あてはまるものすべてに○）

※中学生、高校生ともに「親」や「友だち」の割合が高い。「学校の先生」は中学生 11.8%（前回 11.1%）、高校生 4.8%（前回 14.4%）となった。

※また「相談できる人はいない」を選んだ割合は、高校生は前回 7.2%であったが、今回 16.7%と大幅に高くなった。

中 N=509 高 N=126



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

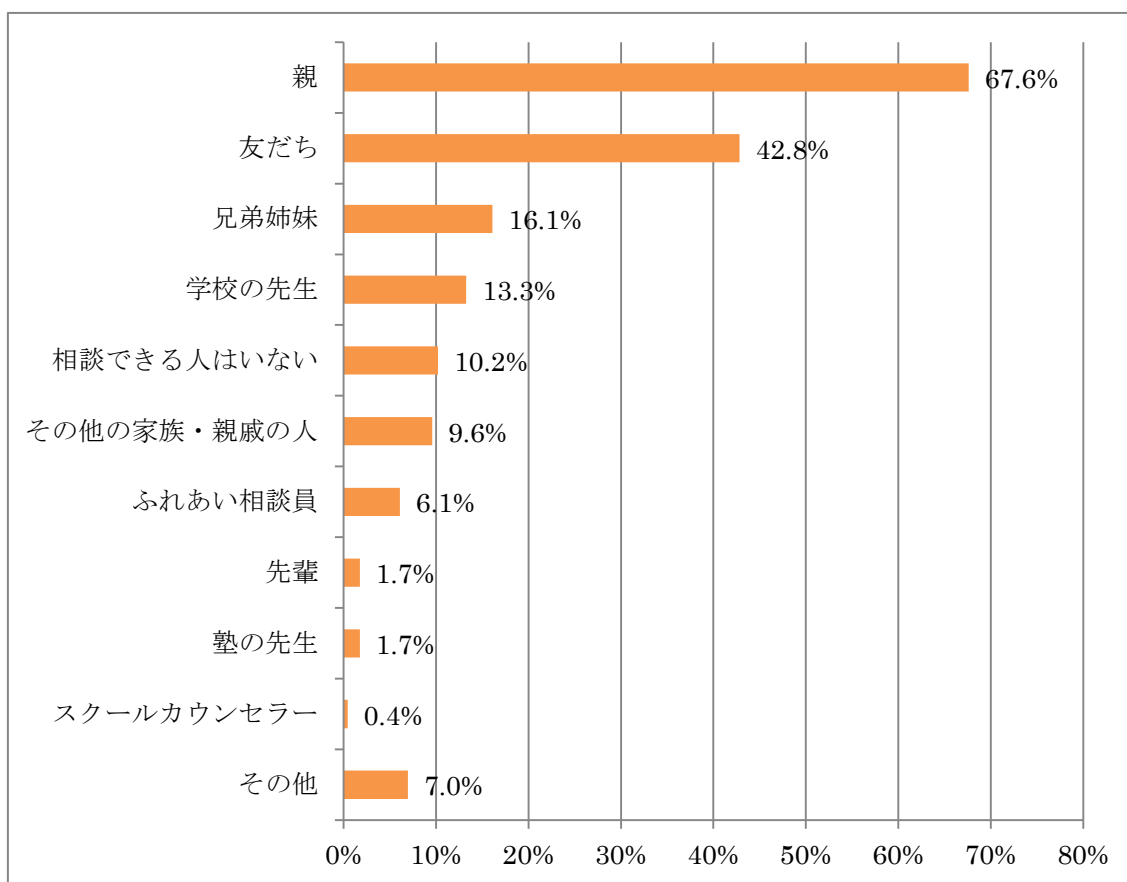
- ・悩みはあまり人には相談しない
- ・彼氏、彼女
- ・病院の先生

（児童生徒・小学生）問 10 悩みや困ったことがあるときは、だれ（どこ）に相談しますか（あてはまるものすべてに○）

※「親」や「友だち」の割合が高い。

※「学校の先生」は、13.3%（前回 15.4%）となった。また、「ふれあい相談員」という回答は 6.1%となった（「ふれあい相談員」は前回調査の際は選択肢に入っていない）。

小 N=460



※〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・相談しようとしていない
- ・困ったことは特にない
- ・ペット

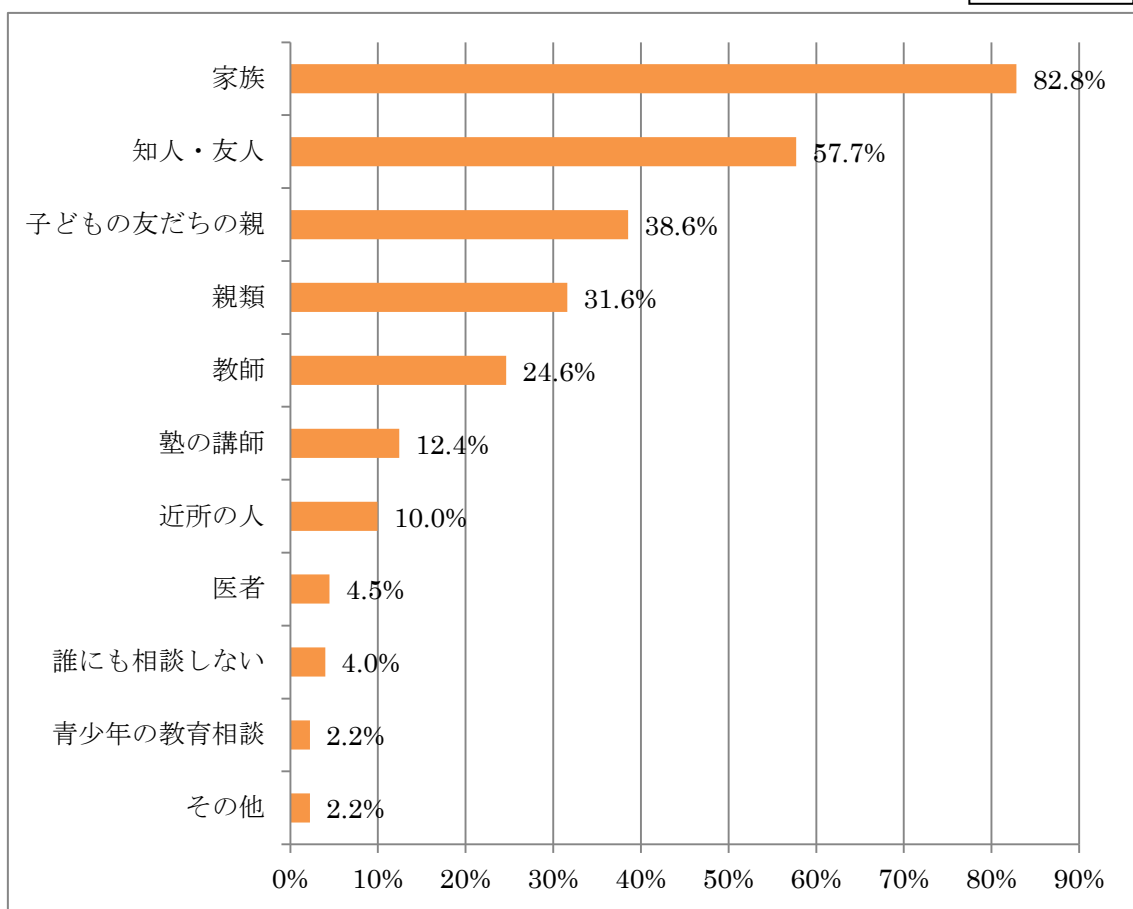
②保護者

(保護者) 問 14 お子さんの問題や教育について、誰と相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

※「家族」82.8%（前回83.3%）「知人・友人」57.7%（前回61.1%）が非常に高い。「教師」については24.6%（前回29.8%）となっている。

※各項目とも、前回とあまり変化がなかった。

N=402



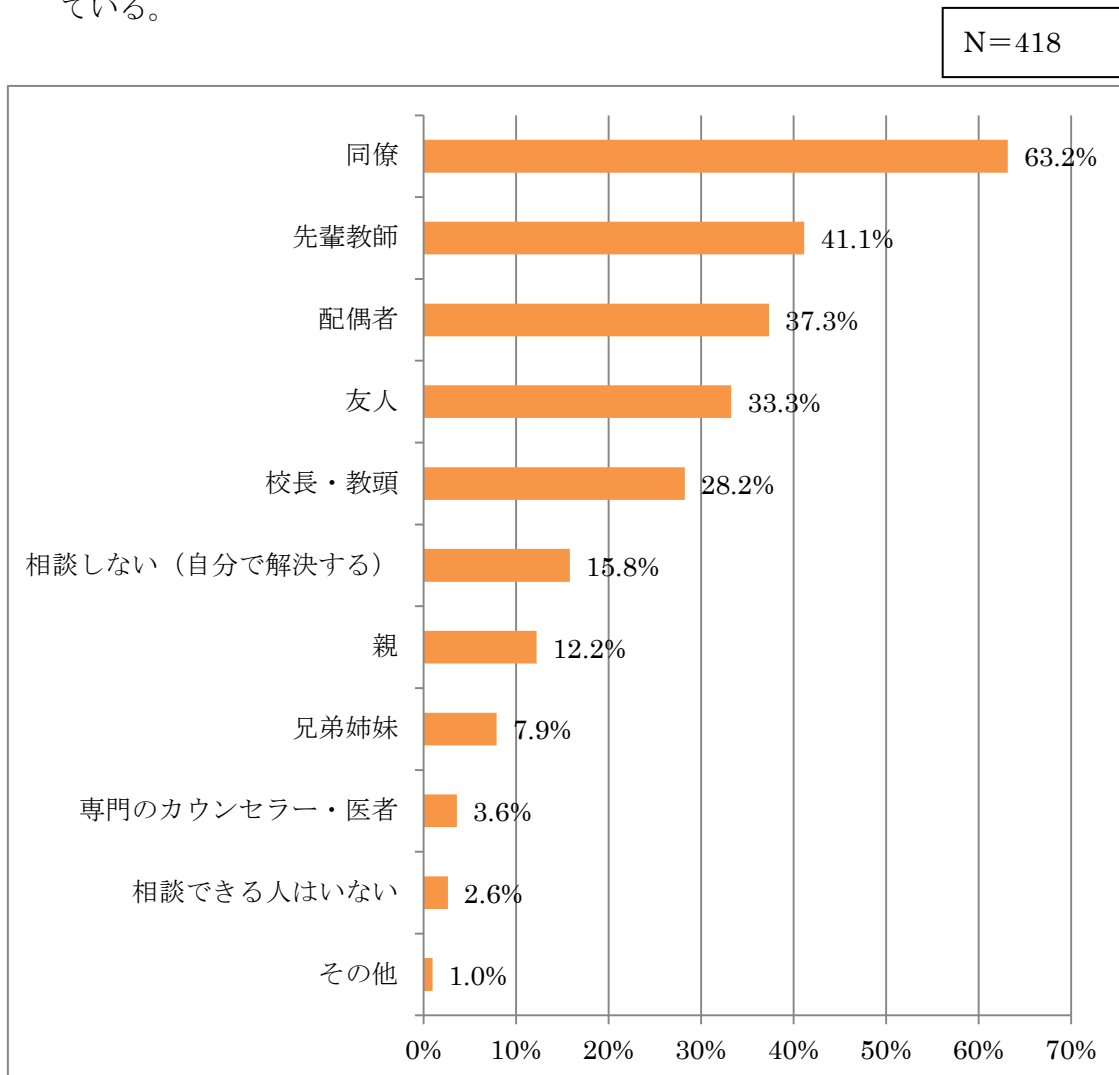
※〈その他〉の意見（一部抜粋）

- ・市の教育委員会
- ・元担任
- ・学童指導員
- ・職場の上司
- ・児童相談所

③教員

（教員）問 20 悩みや心配事があった場合、誰に相談していますか。あるいは誰に相談したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

※「同僚」を選んだ割合が 63.2%（前回 68.4%）、また、「先輩教師」を選んだ割合が 41.1%とともに高めであり、職場の中で相談する割合が前回と同様に高くなっている。



※ 〈その他〉の意見（一部抜粋）

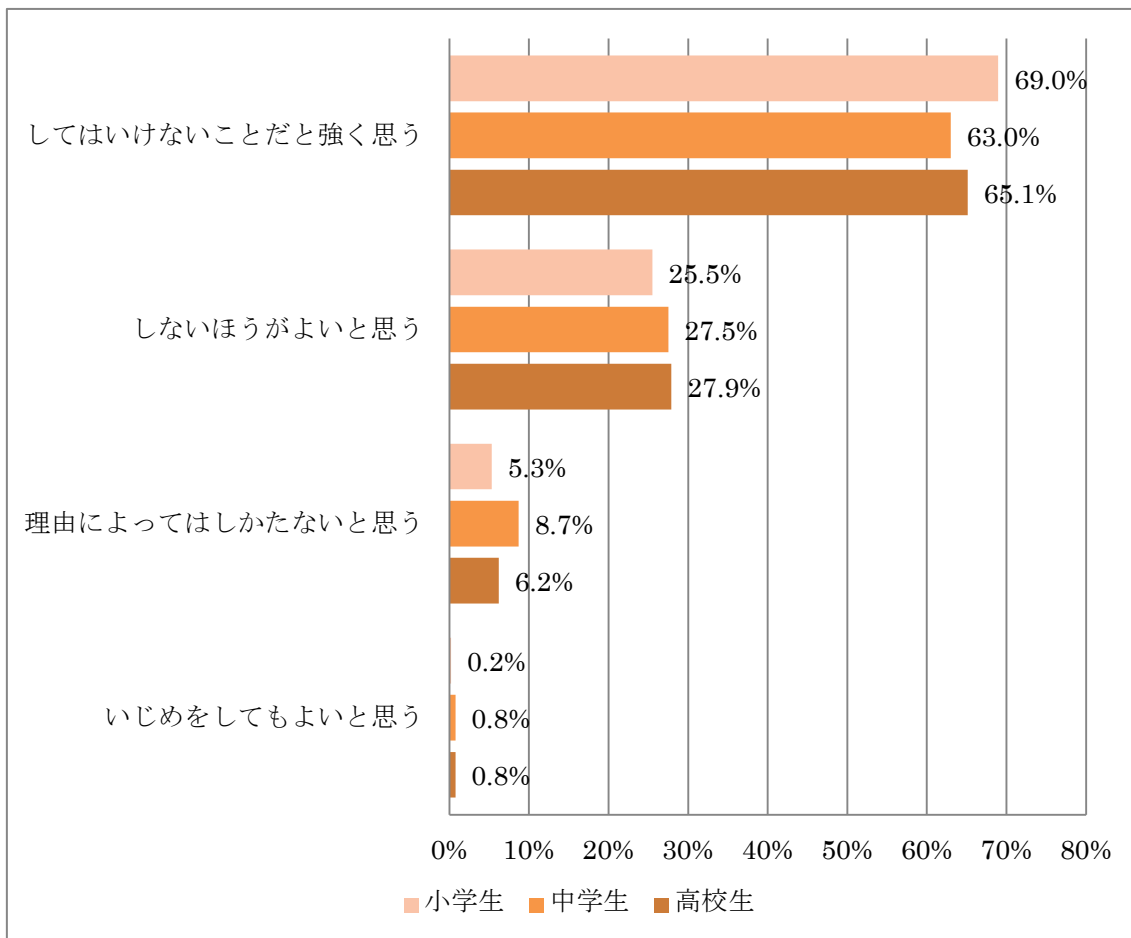
- ・他校の教員
- ・指導教官

（7）いじめはしてはいけないことか

（児童生徒）問 11 いじめはどんな理由があっても、してはいけないことだと思いますか。（1つに○）

※小学生、中学生、高校生ともに「してはいけないことだと強く思う」が6割以上となった。

小 N=451 中 N=516 高 N=129



7 全体的なこと

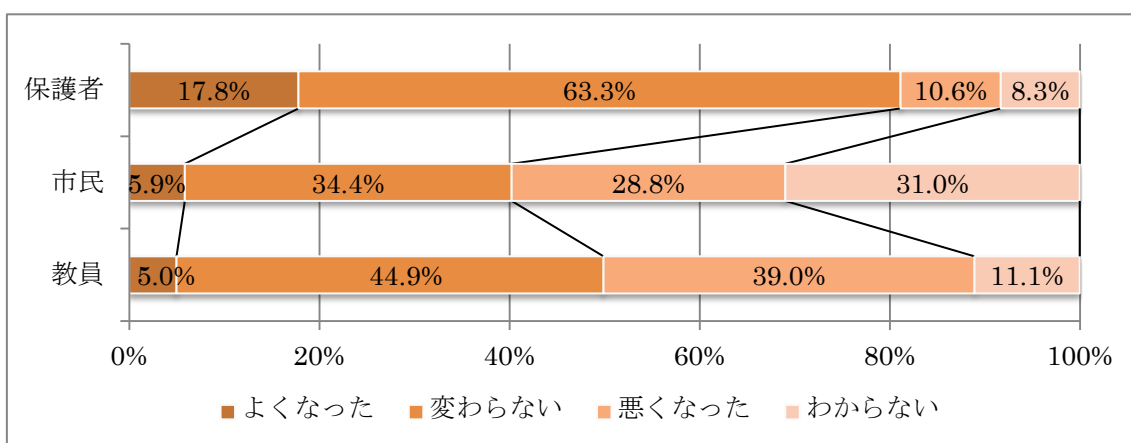
(1) 子どもを取り巻く環境(昔の環境との比較)

(保護者) 問 15 (市民) 問 8 (教員) 問 24 この数年間で、次のことは現状でどうなっていると思われますか。(①～⑧のそれぞれ1つに○)

①保護者の子どもへの関わり

※全体的に「変わらない」を選んだ割合が高くなっている。また、保護者以外は「よくなった」より「悪くなった」の割合が高い。

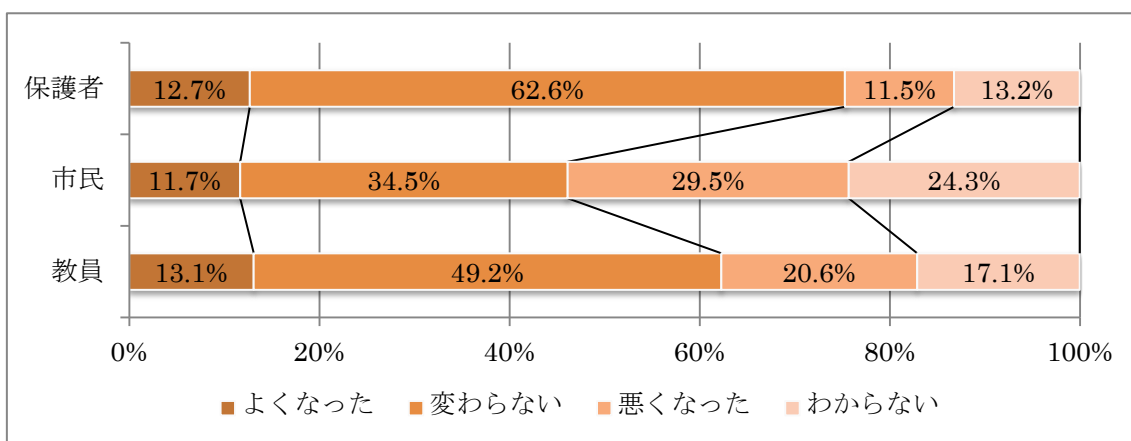
保 N=398 市 N=323 教 N=479



②地域の大人たちの子どもへの関わり

※全体的に「変わらない」を選んだ割合が高くなっている。また、保護者以外は「よくなった」より「悪くなった」の割合が高い。

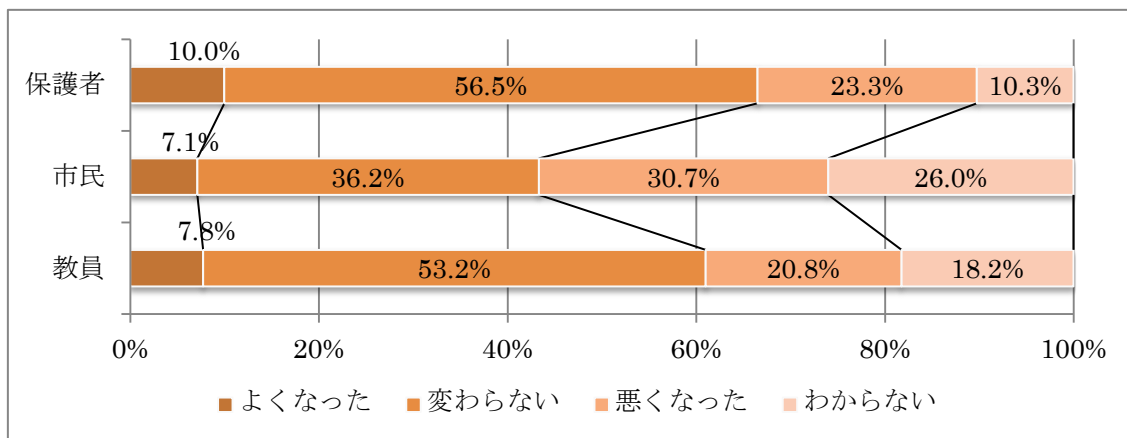
保 N=401 市 N=325 教 N=480



③子どもの地域の行事への参加

※全体的に「よくなった」より「悪くなった」の割合が高くなっている。

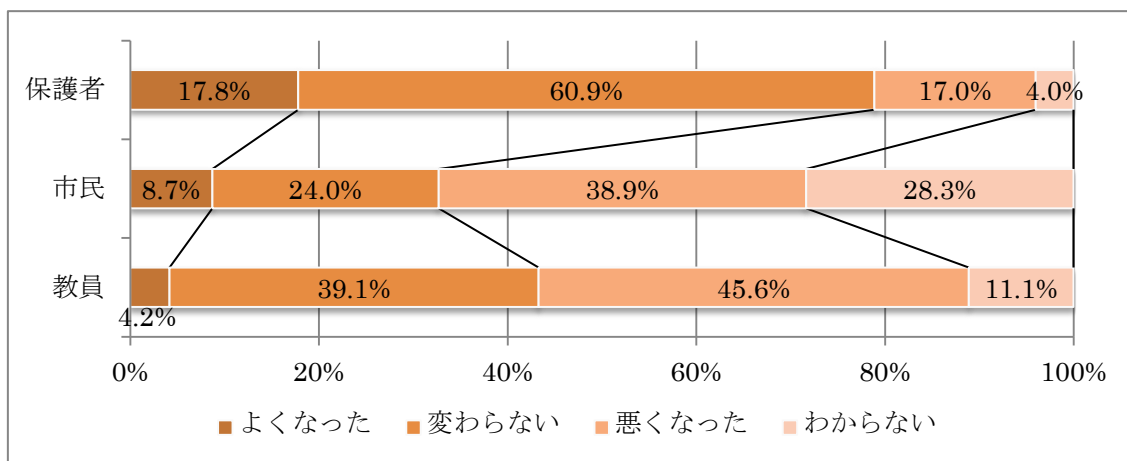
保 N=400 市 N=323 教 N=477



④子どもの食生活

※保護者以外は「よくなった」より「悪くなった」の割合が圧倒的に高くなっている。

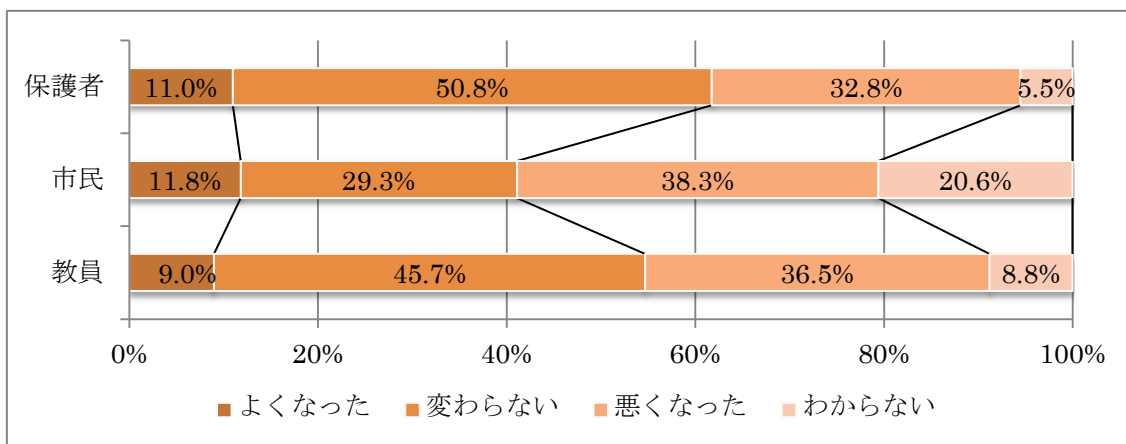
保 N=399 市 N=321 教 N=478



⑤子どもの安全性（災害や交通事故、犯罪など）

※全体的に「よくなった」より「悪くなった」の割合が高くなっている。

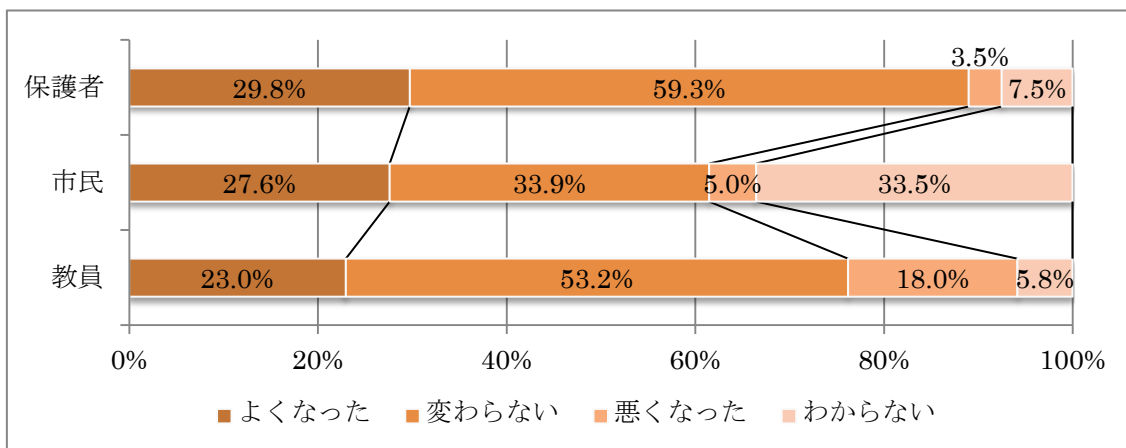
保 N=400 市 N=321 教 N=477



⑥学校の施設・設備

※全体的に「悪くなった」より「よくなった」の割合が高くなっている。

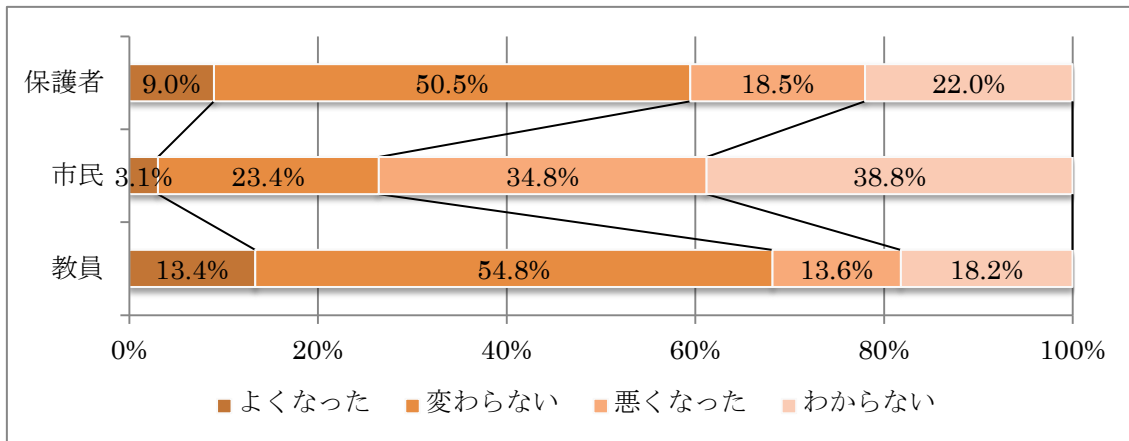
保 N=400 市 N=322 教 N=479



⑦教師の力量

※全体的に「よくなった」より「悪くなった」の割合が高くなっているが、教員は「よくなった」と「悪くなった」の割合に差がほとんどない。

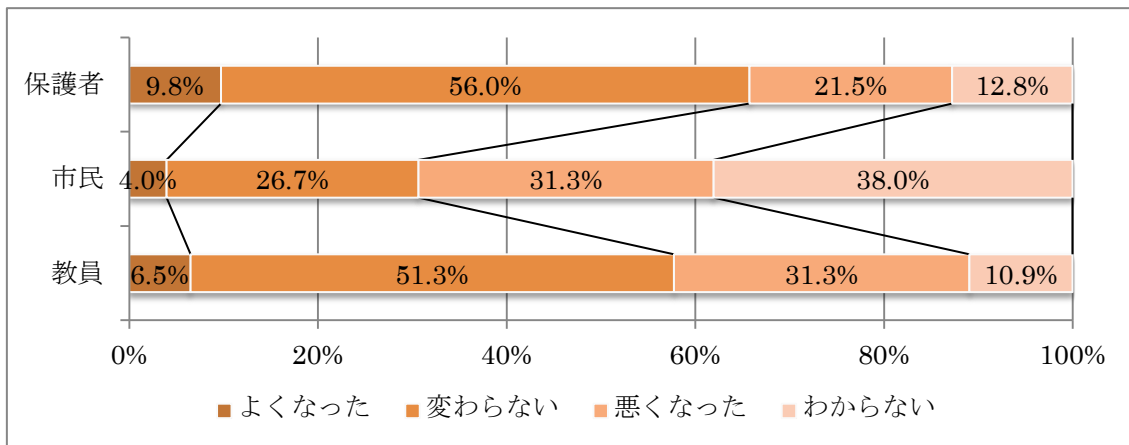
保 N=400 市 N=325 教 N=478



⑧子どもの学力

※全体的に「よくなった」より「悪くなった」の割合が圧倒的に高くなっている

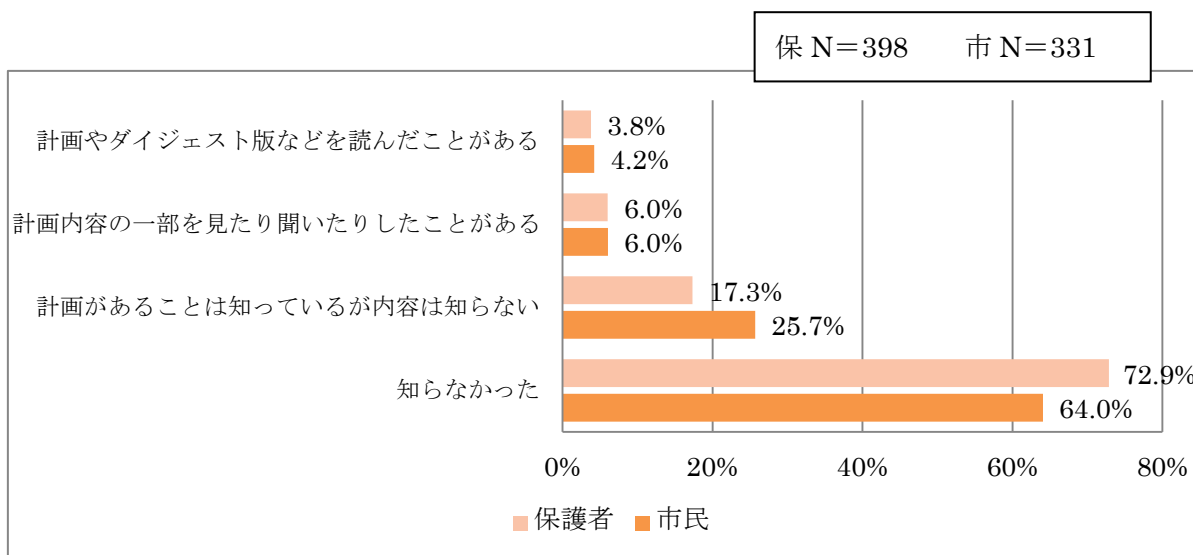
保 N=400 市 N=326 教 N=476



（２）横須賀市教育振興基本計画（平成 23 年 3 月策定）について

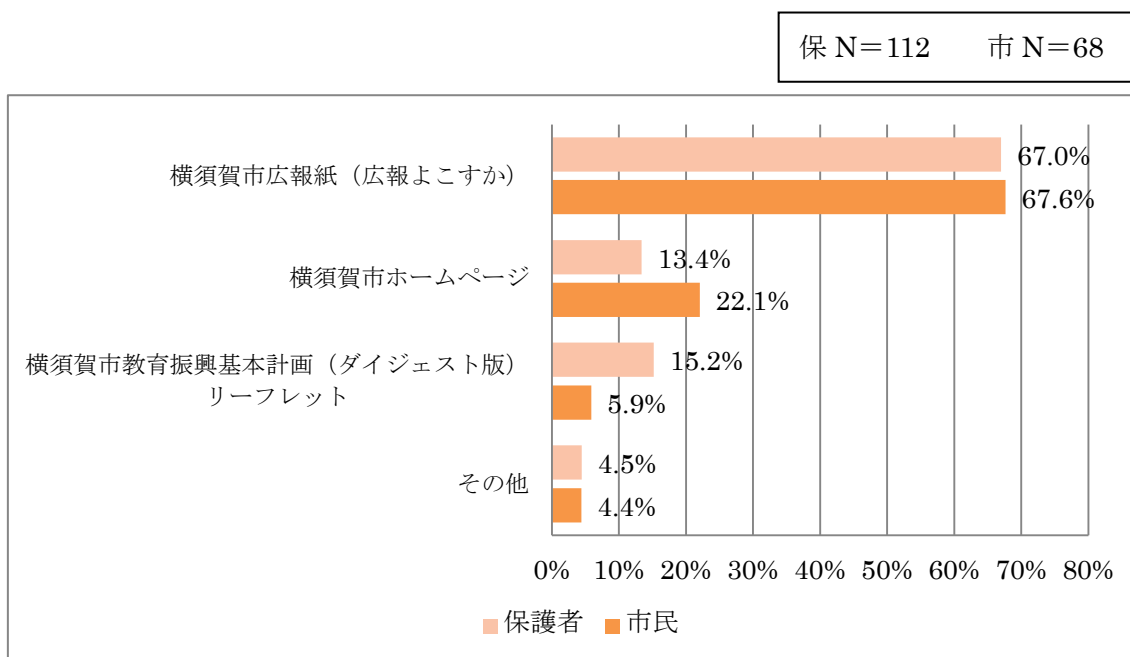
（保護者）問 18 （市民）問 11 横須賀市教育振興基本計画（平成 23 年 3 月策定）を知っていますか。（1 つに○）

※保護者、市民ともに「知らなかった」の割合が圧倒的に高くなっている。



（保護者）問 19 （市民）問 12 横須賀市教育振興基本計画を何で知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

※保護者、市民ともに「広報紙」の割合が圧倒的に高い。



【自由意見】 *一部抜粋

【1】 児童生徒

(1) 学校全般

- *友だちや先生がやさしいし、自分の意見を受けいれてくれるから楽しい。(小4)
- *学校をもっと明るくしたい。(小5)
- *私がいる学校は、明るくて元気な子がクラスにも違う学年にもたくさんいます。先生達もやさしくて、学校に来る毎日が楽しいです。(小5)
- *学校楽しいです。(小5)
- *変なことがおきて嫌な気持ちになることがあります。(小5)
- *毎日学校に休まず登校できるような学校なので、基本的にこのままの学校が僕は好きです。(小6)
- *楽しい学校にしたい。(小6)
- *とても楽しく先生がおもしろいので、とてもいい学校だと思います。(小6)
- *仲がよくて楽しいクラスでいいと思います。(中1)
- *あまり学校が楽しくない。部活だけ楽しい。(中1)
- *環境がよくない(学校の)。うるさい。(中2)
- *これからも良い学校にするために頑張りたいです。(中2)
- *1人も嫌な思いをしない、安心できる学校にしてほしい。(中2)
- *毎日楽しく学校に行かしてもらってます。今後もそうしていき、勉強もがんばりたいです。(中2)
- *ゴミがあまり落ちてなくてよいと思う。(中2)
- *楽しいし面白い。(中3)

(2) 教育内容

- *男子がうるさいので、もっと注意してほしい。(小5)
- *僕は4年間支援されてきました。はっきり言ってこのまま中学に行くのが不安です。ですが、その4年間に学んだ事を中学でいかせたら嬉しいです。(小6)
- *子どもの気持ちのよくわかる学校にして欲しい。(小6)
- *先生がいても、しっかりあいさつできてない人もいるので、そういうところはもっと強化した方がいいのではないかと思います。(中1)
- *この学校の偏差値を上げることも重要だと思いました。(中2)
- *エアコンをつけていても足元は寒いので、ブランケットやスパッツを自由に持ってきたりできるようにしてほしい。(中3)

（３）教員

- *先生がきびしすぎる。（小５）
- *自分の成績を見せてくれる先生がほしい。（小５）
- *先生の話がたまに長いことがあってもう少し短くしてほしい。（小５）
- *もっといろんな先生のイメージを変えて相談しやすくしてほしい。（小６）
- *たまにやさしいところや厳しいところの先生がいる。（小６）
- *良い先生が少ない。（小６）
- *生徒に無関心な教師が多いと感じる。生徒の授業態度がほぼ毎日悪い（一部の人だけ）のにもかかわらず、注意が少なく反省していない。（中１）
- *成績をネタに言うことをきかせる先生がいるのでやめてほしいです。（中１）
- *すべての先生がもっと細かい所まで気づいてくれるといいと思っている。（中１）
- *先生に生徒の気持ちをわかってほしい（中１）
- *普段、普通にしている子が違反をするときつく怒るけど、ヤンチャの子が違反をしても怒らないようにするのをやめてほしい（一部の先生）。（中２）
- *生徒に対して熱心に指導する先生はいないのかと思っている。（中２）
- *特徴的な先生が多い。（中２）
- *ふざけている生徒に対してあまい。（中２）
- *生徒と先生の関係をもっと良くしてほしい。（中２）
- *先生方がもっと何事にも熱心に取り組んでほしい。（中２）
- *今の中学の先生はあんまり信用できない。好きだけど。（中３）
- *集会で先生が同じような話ばかりするので困っています。（高１）
- *人の気持ちをわかる先生を増やして欲しい。理不尽な事は止めて欲しい。（高１）
- *普段を注意する先生がいないうりに、行事の時だけ注意するのは如何なものか思う。基本的に厳しい先生がいないう。（高２）
- *素敵な先生が沢山います。（高２）

（４）授業内容・授業方法

- *シャーペンをもってきてほしい。（小４）
- *その季節にちなんだ授業や物作りをしたい。（小４）
- *もっと科目を増やしてほしい。（小４）
- *授業が楽しくない時があるから、いつも楽しくしてほしい。（小４）
- *宿題が少ない。（小４）
- *勉強がめんどろ（小４）
- *教科書をもっと分かりやすくしてほしい。（小５）
- *授業中の質問を取ってほしい。（小５）
- *勉強が分かりにくい。（小５）

- *もうちょっと楽しい授業がいいと思います。（小5）
- *いつも授業をわかりやすくしてくれてありがとうございます。（小5）
- *先生が怒っている時間が長く、勉強が進まない。（中1）
- *授業によって進度が違ったりしてつかれます。（中1）
- *昔のように土曜も半日、学校がある方がひとつひとつの授業で覚える事が減るので助かる。（中1）
- *独学で勉強したい。（中1）
- *選択授業がほしい。（中1）
- *ゆとり教育に戻りたい。（中1）
- *授業がわかりにくい。授業がつまらない。（中1）
- *夏休み・冬休みの課題があるので、答えもいっしょにわたしてほしいです。理由は、答えを配られないと答えが合っていないままで練習しても意味ないから、答えを一緒に配れば、家でも何回も練習できる。（中1）
- *英語の授業は色々なこと（手紙、CAテスト）をやるので楽しいですが、去年のように学年末になって2年生の内容を急いで終わらせてしまうのか不安です。（中2）
- *授業が分かりやすいが、楽しいとは思えない。（中2）
- *塾に行っている人は塾の宿題があるだろうけど、塾に行っていない人だっているんだから、宿題を出してほしいです。塾に行っている人が基準で宿題がなくなったと聞いたことがあるので、それは塾に行っていない人にとって、とても困ります。（中3）
- *授業をわかりやすくしようとしているのは分かるけど、わかりやすくしようとすぎて、変に図や道具を使いすぎて逆にわからなくなったりするとよくないと思います。もっとシンプルにやっていいと思います。（中2）
- *学校がうるさい。しずかに勉強したい。（中2）
- *授業中に作業中の機械の音が気になる。（中2）
- *眠くなる授業はいらない。（中2）
- *まったくわからない授業がある（中3）
- *宿題があると嫌でもやらなきゃいけないから、夏休みとかに出して欲しい。（高2）

（5）個別教科

- *体育をたくさんやってほしい。（小5）
- *夏の水泳の授業をふやして欲しい。（中1）
- *社会の説明をもっとくわしくやってほしい。（中1）
- *英語の時間をもっと充実させてほしい。（中2）

（6）パソコン

- *パソコンの授業があるといいと思う。（小5）

*PCを使った授業をふやしてほしい。(中1)

(7) 体験学習・職業体験など

*もっと体験や活動を増やしてほしい。(中3)

(8) 行事、交流など

*遠足とかいっぱい行きたい。(小4)

*パトロール(地域の人たち)などが学校をみまわりしているので安全に学校に通える事をありがたいと思います。(小5)

*お楽しみ会を入れてほしい。(小5)

*修学旅行は外国がいい。(中1)

*もっと地域の為になる、ボランティア活動など地域の方々との交流を深められるようなものをつくったほうが良い。(中1)

*部活動を生かした行事が少ない。(中2)

*文化祭とかもやってみたい。(中2)

*行事が少ない。(中3)

*外国の人ともっと交流をして将来のために力を身につけたい。(中3)

*イベントをもっと多くしてほしい。(高1)

(9) いじめ・不登校対策など

*いじめなど深刻なダメージを受けない学校にしてほしい。(小4)

*先生のいじめに対しての態度を改めてほしい。(小6)

*この学校はいじめや暴力がなくとても平和だと私は思っています。これからもっとあいさつをすることを増やして欲しいです。(小6)

*いじめでひどい時は、さわったらバイキン扱いみたいにされます。(小6)

*いじめのない、良い学校になればいいと思っている。(小6)

*いじめを無くしてほしい(今、自分のクラスではないと思うが)。(中1)

*特に目立っていじめがある訳ではないけれど、人の嫌な事を言ったり、変なあだ名をつけたりしている人がいる。その事に対して、直接注意することはできないけど、やっぱりそう言う事はなくなった方がいいと思う。(中1)

*悪口のない学校なんて絶対にできないけど、極力減らしたい。(ありすぎる)。(中1)

*不登校の人に対しての対応はどうしているのか。何もしていないのなら、何か取り組みをした方が良く思う。(中1)

*いじめがもっとなくなるといいと思います。(中1)

- *毎日安心して学校に行けるようにしてほしい。学校に行くのが嫌だと感じないよう
にいじめをなくしてほしい。（中1）
- *先生たちはたまに、いやがらせのような言葉を言っている生徒を目の前で見ても、
何も言わない先生がいます。そういうところから、いじめがおきる原因ができると思
います。（中1）
- *いじめ、悪口ってなくなるのですか？いくら話し合い（集会などで）をしても、個
人の好き嫌いはかわらないので無理だと思う。（中1）
- *先生がいじめをやるなど言いつづけてくれている一方で、まだいじめなどのからか
いが終わりません。でも、その裏では学校のことを思ってくれていて、とても思い
やりのある先生方がいます。先生方がいるから学校が成り立っているのだと思いま
す。もちろん自分たちは学校の行事などをとても意欲的で、いろんなことをしてく
れます。地域の方々と一緒にいろんなことをしていますし、その人たちに感謝の気
持ちでいっぱいです。部活動では先輩たちからいろんなことをされ、たまに泣いて
いる人がいます。それで自殺したらどうする？とたまに見ていて思います。不登校
の人たちもきっとすごく悩みがあるから、不登校になっていると思います。（中1）
- *学校では、いじめや暴力、体罰などは無いので良いと思いますが、最近、ガムや大
切な紙を破るなどの行為が目立っているので、あまり被害や大きな迷惑が出ないよ
うに、早急な処置が必要だと思います。（例としては監視カメラなどの設置、又は
警備の強化）（中2）
- *なぜ、今の時代になっても体罰をする教師が減らないのか疑問。又、なぜそのよ
うな教師を生み出す前に止められないのか不思議。（中2）
- *この学校で最近いじめの問題がある。いじめた方の子をかばっている先生がいる。
（中2）
- *いじめはなくしてほしい。体罰は、少しはした方がいい（常識範囲で）（中2）
- *いじめや真面目にやらない人をどうにかしてほしいです。生徒にあまい。（中2）
- *いじめや、物を壊す事が多いのでなくしたい。新人の先生などいじめの事でストレ
スがたまりいきたくないと考えてないかと心配です。（中2）

(10) クラス、クラスメイトなど

- *男女別のクラスを作ってみてほしいです。（小5）
- *みんなと学校で会って楽しい毎日です。（小5）
- *将来の夢を聞いてくれる友達がほしい。（小5）
- *時々下品なことを言う人がいる。（小5）
- *友だちなどいろいろな話ができ楽しいと思っている。（小6）
- *もっと明るく積極的なクラスになった方が良い。（小6）
- *女子と男子は仲良くした方がいいと思う。（小6）

- *ちよくちよくクラスの雰囲気をおそろす人がいて、安心して教室にいけない。(小6)
- *クラスの問題が多すぎる。(中2)
- *ろう下でさわいでいる集団がとて迷惑です。先生も対応しきれない程、最近は悪化しています。誰かの物を壊したり、学校の物を壊したりしていました。自分に被害があった事もありました。このまま3年生になったらとて心配です。(中2)
- *問題児たちは特別指導とかにいてほしい。(中2)
- *先生が見てないところでお悪いことをしている人が多い。(中2)

(11) クラブ活動・部活動

- *クラブ活動の種類を増やしてほしい。(小5)
- *冬の部活が5時から5時30分まで延長してほしいです。(中1)
- *もって部活をさかんにしたい。部活の時間を増やしてほしい。(中1)
- *自分は部活動が好きなのでもって活動時間を増やしてほしいし、学校の宿題がかなり多くて全然できないので、少し減らしてくれたらいいなと思います。そうしたらもって授業に集中できると思う。(中1)
- *部活動で野球をする場所がせまいのでひろくしてほしい。(中1)
- *毎日部活の朝練や午後練があって大変なので、休む時間が欲しいです。(中1)
- *部活の中での問題が多すぎる。(中2)
- *部活でもってたくさん先生からアドバイスをもらいたい。(中2)
- *部活だけでなく、同好会など条件付きでもいいから立ち上げられればよかったと思った。(中3)
- *部活に時間を取られすぎて、勉強する時間も遊び時間もあまりない。(高2)

(12) 学期制・授業時間など

- *6時間目はなしがいい。(小4)
- *授業の時間が長くてずとは集中してられないから授業時間を短くしてほしい。(小4)
- *6時間授業はさすがに子どもの自由時間が短くなるのでやめてほしい。(小4)
- *授業時間を短くしてほしい。登校の時間を遅くしてほしい。(小4)
- *学校の授業が終わって帰る時間を正確にしてほしい。(小5)
- *もって授業時間が少なかつたらいいのに。(小5)
- *下校時刻を早くしてほしい。(小5)
- *もって登校時間をおそくしてほしい。(小5)
- *授業時間を減らして、休み時間をふやしてほしい。(小5)
- *毎日45分授業がいい。(中1)
- *学校を週3日にしてほしい。(中1)

- *午前中に帰りたい。(中1)
- *授業の時間が長すぎる。30分でいい。(中2)

(13) 休み時間・昼食時間

- *休み時間40分。(小4)
- *休み・給食時間を短くし下校を早くしてほしい。(小4)
- *休み時間をすこし長くしてほしい。(小5)
- *中休みと昼休みを多くしてほしい。(小5)
- *給食の後、遊んでから掃除がいい。遊べる時間が多かったり、少なかったりするから。たまには5分だけしか遊べなくなる時があるから。(小6)
- *昼寝の時間がほしい。(中1)
- *自由時間をもう少し増やしてほしい。(中1)
- *寝る時間をつくってほしい。(中1)

(14) 給食など

- *パン注文の種類をもう少し増やしてほしい。(中1)
- *弁当じゃなくて給食にしてほしい。(中1)
- *給食が食べたい。親の負担も減るし。(中3)

(15) 服装・制服など

- *規則がきびしすぎる。人に迷惑をかけなければいいと思う(スカートの長さ、セーター、リップ、かばんの色、髪の毛のあみこみ)。特に髪の毛のあみこみは横にくる髪の毛が邪魔だからしたいだけ。だからしてもいいのでは？(中1)
- *服装がきびしすぎ。(中2)

(16) 施設・設備

- *プールに飛びこみ台がほしい(小4)
- *花だんの周りを広くしてほしい(小4)
- *プールが無いのが不便。(小4)
- *図書室が小さく閉鎖的。(小4)
- *サッカーボールをふやしたい。(小4)
- *校庭にアスレチックが前にあったようにもう一度アスレチックを作してほしいです。(他の遊具でもうれしいです) よろしくお願いします。(小4)
- *卓球台をふやしてほしい。(小4)
- *遊具の場所を日当たりのいいところにしてほしい。(小5)
- *カードを持っている人しか校庭に入れないシステムを導入してほしい。(小5)

- *もうちょっと遊具を増やしてほしい。(小5)
- *トイレをキレイにして下さい。臭くて入れません。(小5)
- *学校の特別教室を快適に過せるようにしてほしいです。(小6)
- *校庭(バスケットコート以外)を人工芝生にして欲しい。(小6)
- *エレベーターがほしい。(小6)
- *スクールバスがほしい(遠い地域の人のため)。(中1)
- *売店がほしい。(中1)
- *どこの部屋にもエアコンをつけてほしい。(中1)
- *校庭に砂か土をいれてほしい。(中1)
- *自販機をおいてほしい(せめて冷水機を)。(中1)
- *体育館を新しくしてほしい。(中1)
- *黒板を上下にできるほうがいい。板書を消しにくい。(中1)
- *部活ができるスペースをほしい。部活をやる面積が少なくてちゃんとした練習ができないのとボールが他の部活をしている人にあたってしまうから。(中1)
- *グラウンドを芝生にしてほしい。理由は部活のときにスライディングなどをしにくいし、土だと堅くてやりにくい。(中1)
- *学校の掃除道具など色々なものをきれいにしてほしい(中1)
- *グラウンドがすぐ乾かないから部活でドロドロになる。(中1)
- *通学路をもっと製備してほしい。(中1)
- *もっとテニスコートやグラウンドを広くしてほしい。バスケットゴールとテニスコートが一緒なのでのびのびとテニスができないから、バスケはバスケットコートでテニスはテニスコートにしてほしい。(中1)
- *卓球場がほしい。理由は一週間に3日、体育館でしかも半面で台の間がせまいから。(中1)
- *陸上部は雨の日は校舎内で練習をしていて、人が多くてあぶないので室内練習場がほしい。(中1)
- *図書室の本でもう少し本をふやして欲しい。今売っているような面白い本とか。(中1)
- *グラウンドの土が悪い、設備が悪い。(中3)

(17) その他（アンケートについてを含む）

- *火曜日に学校を休みにしてほしい。(小5)
- *学校ってなぜ必要なのか、分かりません。(小5)
- *黒板の横に意見箱があるけど、使ったことがないから今後つかってみたい。(中1)
- *きれいに先生が掃除してほしい。(中1)
- *先生とか大人の人の言うことをなんできかないといけないんだろう。(中1)

- *学校は勉強するところなのに校則とかむだだなんて思う。(中1)
- *中学校の規則がちがうのがよくないと思う。(中1)
- *学級通信を毎週作ってほしい。(中1)
- *生徒で不用物を持ってきている人が多いような気がする。(中1)
- *学校に安全として自由に携帯の持ちこみを許可してほしい。(授業中は先生が集めて保管)(中1)
- *自転車で学校まで行きたい。(中2)
- *将来に目標を持っていない人が多い。(中2)
- *一昨年にくらべて、急に学校の感じが変わってしまった。今の学校も楽しいが、一昨年の学校の方が楽しかった気がする。(中3)
- *学校では、ペットボトルキャップ回収をしているが、どちらかという、親は夜、ビールをのむから缶が出る。だからプルタブがとれる。なら、学校の生徒がプルタブ回収に参加すればキャップを上まわるほどの数が集まるのではないかと思う。(全校生徒が参加すればの話ですが)(中3)
- *アンケート好きだからもっとおもしろいアンケートがほしいです。(中3)
- *中学生活も残りわずかなので良い思い出をつくりたいです。(中3)
- *中高一貫になるのはいやだ。(高1)
- *少し秩序が乱れているかなと感じる事があります。正直、遅刻するのも欠席するのも自分の責任とは思いますが、逆にむしろ「遅刻したくない、休みたくない」そう思える学校があればいいなあと思います。(高2)
- *閉鎖的な環境になっているところがあるので、そこがちょっと気になります。(ろう高2)
- *ろう学校の児童、生徒を増やしてほしい。(ろう高2)
- *やりたい事をやらせてくれる学校が良いです。部活や同好会を作らせてくれない。文化祭になってしまった。小さな文化的行事も有志の時に練習時間をとってもらえなかった。(高3)

【2】 保護者

(1) 教育内容など

- *小学校は学校によってレベルのバラつきがあるのが気になる。(40代)
- *中学では学校によって学力の違いが大きい。成績のつけ方がおかしい。(40代)
- *中学校での成績評価が不適切。内申重視し過ぎ。(40代)
- *学力向上に一層の努力をお願いします。力のある子には、さらに伸びる様な指導を期待したいです。(40代)

- *受験が点数主義なのに他の着眼点に固執し評価の意味が理解できない状況になっている。（A校の内申は有利でB校は不利・・・といった差は本来あってはならないと思います）内申点の取れない偏差値の高い児童の存在自体がおかしいとおもわないのでしょうか？「ゆとり」の弊害??（40代）
- *学力低下や授業の遅れを感じるし、自分の子どものころに比べ、子どもたちや学校の関わり方が堅苦しくなっているように思える。（40代）
- *横須賀の学力のレベルがとても低いと思います。（40代）
- *横浜、東京、埼玉などの良い取り組みをもっともっと取り入れて欲しい。（40代）
- *子どもの育成、教育、環境について横須賀市は遅れていると感じることがあります。（40代）
- *都内で仕事をしているのですが、横須賀市の教育はのんびりというイメージになります。（40代）
- *国際社会に通用する英語を身につける環境が横須賀にはあるのだから、積極的にベースと協力してもっと英語環境を増やして欲しいです。（40代）
- *横須賀の子＝（イコール）英語が出来る・・・になるといいですね。（40代）
- *私は教育については、その子どもに合わせて考えることが大切だと思っています。なので、言葉であれこれと意見はありません。（40代）
- *社会に出て生きられる力を学校で教えて欲しい。（40代）

（2）授業内容・授業方法など

- *先生によると思いますが、宿題の期限（子どもに期限内に提出させるために）を尋ねたところ、習い事をしている子もいるので負担になってはいけないとのことで「期限はない」とのことでした。期限内にちゃんと済ませて提出できるということも大事なのでは？と思いました。（20代）
- *体育の授業が少なく運動をしたい子どもはスポーツクラブに通わせなければいけません。（30代）
- *授業時間数が少ないせいか夏休みのプール開放も昔のようにはないからか、小学校6年間では泳げない子は泳げないままと聞きます。（横浜でも横須賀でも）だからスイミングスクールに通わせるそうです。（30代）
- *最近、修学旅行は民泊になっていますが、地域の方々の温かみを感じる事が出来て良いという利点もありますが、民家によっては疑問を感じる事もあるのでどうかと思います。民泊は各グループでの交流は深まりますが、クラス全体での泊まりがないので一泊ぐらいは全体で泊まれた方が楽しいと思います。（40代）

*学習面で、塾任せにしている部分が多いような気がします。ここは、塾に行く子が多い地域なので仕方がないのかもしれませんが、他県に住んでいた時の学校は全年で宿題が多く、塾に関係なく家でも学習する習慣があり、遊びとのメリハリもあって良かったです。(40代)

(3) 教育制度

*2学期制の良さを全く感じない。夏休みなのに通知表がない。8月の終わりに始業式、区切りが悪い上に数日の秋休み、全く良いとは思わない。(20代)

*2学期制は分かりづらくて、3学期制に戻して欲しい。年2回の評価ではわかりづらいのが現状。(30代)

*週休2日制は絶対に間違っていると思う。1日の授業時間が長く、帰宅時間は遅くなり遊ぶ時間も冬は無いに等しい。(30代)

*小学生を持つ親の間では、皆ゆとり教育はいらないという意見が多いと思います。私もそう思います。(30代)

*横須賀市も教育について色々行っていると思いますが、親である私たちに伝わってこない。何を改善し、どんな方針があるなどわからない。(30代)

*保護者と協力して情報の開示と今後何をしていくか話し合っていくというような体制を学校全体で整えて欲しいと思います。(30代)

*週休2日制をやめて欲しい。いろんな文化的な行事がカットされて最悪です。(40代)

*平日の負担を減らして、土曜日の授業をすることは賛成。(40代)

*夏休みを減らしても良いと思う。(40代)

*高校の選択制度は昔のように地域を制限して欲しいです。該当するブロックの中で選択して通学の方が高校ランク(学力)が安定すると思う。スーパー高校などは不要に思います。(40代)

*現代の教育根本部分が不安定のせい、子ども達の心の不安が大きいと思います。また遊びについても子どもは伸び伸びと遊べなくなっているのが現状と思います。子どもは伸び伸びと運動し、脳を活性化しながら教育をする事によって多大な未来があると思います。(40代)

*市立高校の総合化や統合されて、入学出来る選択の幅が狭くなっている様に思います。(40代)

*保護者による学校の点数化、点数公開(学校及び職員の向上、市内の学校の均一化を計る)(40代)

（４）教育委員会・行政など

- *教育委員会はもう少し、親の意見を聞いて欲しい。結局は市のいいようになっていると思う。子どもの為というよりは役所の仕事でやっているようだ。（40代）
- *教育委員会がとても悪いとよく聞きます。そこから見直していった方が良いのではないかと思います。年功序列の時代は終わっていることをよくわかって欲しいです。（40代）
- *問題発言があった先生に対してどちらに相談をしたらよいかわかりません。先生に対しての相談機関を作る又は、すでにあるのなら知りたいです。先生は守られていると感じる場面があります。（40代）
- *数年前、子どもは体罰を受け、校長には「愛のムチだ」と言われ市と県の教育委員会は適切な対処をされなかった。今でも教育委員会への不信感があります。今のままではとても心配で安心して子どもを通わせる事は出来ません。このアンケートよっての改善を望みます。（40代）

（５）教員

- *学校や先生はサービスではない。先生は子ども達の身の回りのお世話係ではなく、生活面だけではなく勉学を通して子どもたちの憧れる人格、人間性をまず先生自身に持ってもらいたい。（30代）
- *我が子が通っている学校の先生は、子どもに対する思いやりがなかったり、やらなければいけない事をやらずということが多々あります。（30代）
- *先生方がわざとではないにしろ、何かしらのアクシデントがあった場合や怪我までいかなかったら親に対して緊急の電話をしなかったり、事後報告で終わらせている事はありました。怪我がなかったらよいのか？という疑問があります。（30代）
- *毎年のクラス担任の発表のたびにドキドキします。自分のクラスだけではなく、学年全体、学校全体で協力、フォローしあう体制がもっとあっていいと思います。（40代）
- *今、子どもが通っている学校の先生の質は非常に悪い。先生の質向上、管理職の指導力と意識改革、一般企業への研修、子どもの意見を尊重する学校づくりが必要。（40代）
- *特に小学校教員に教える力がないと感じます。ほとんど出会った教員が「私の教え方はまちがっていない。これで理解できないのなら、子どもに問題がある」といった態度。学力向上に努力する気がないのなら、塾に通わせ、塾の教師に頼るしかないですね。学校教師も教えるためのさらなる勉強をして欲しい。（40代）

- *教育の現場にもっと柔軟性を求めます。着任順で先生方の上下関係が強すぎると思っています。古いから偉いと勘違いしている先生がいるようです。常に子どもと保護者と向き合い、その時に適した判断を求めます。教育現場は一般企業と違うのではないのでしょうか。(40代)
- *最近では昔ながらの先生は減少し、教師という職業として仕事している先生が増えた気がします。ただ、カリキュラムをこなすだけではなく、真の教育をされる先生がいなくなりましたね。残念です。(40代)
- *先生のスキルチェックを1～2年ごとに行って欲しい。公立と私立の学力格差をなくして欲しい。(40代)
- *横須賀市ではどのように教員採用試験を行っているのか？といつも疑問に思っています。何故このような先生が採用試験に受かるのか、本当に疑問です。社会経験のある程度積んだ後に学校現場に来て頂いた方がよいのでは？と思います。とても良い先生もいらっしゃいますが、子どもの気持ちを全くわからない。理解しようと努力する事もせず、自分の考えを押し付けてくる先生がいます。そういう先生には子育てについての講演会で子ども達の事をもっと学んで欲しいと思います。(40代)
- *子どもと真正面から向かい合う教師が少なすぎる。保護者にも問題はありますが、精神的に弱い先生が近年多いように感じ、安心してられない時があったりした。(担任交代や病気療養) 中学受験方法も変わり、子ども達の負担や変化への対応があまり親切ではなく、厳しくなったと思います。(40代)
- *サラリーマン化している教員を腹立たしく感じる事もしばしばあります。でも、学校には話せばわかる教師は必ずいてくれるものと信じています。私自身、担任から色々な面で他の生徒と差別され、悔しい思いをしたこともあります。生徒をきちんと1人の人間として考えて頂きたい。(40代)
- *教師の待遇を向上させて優秀な人材を確保すべき。(40代)
- *支援級の子どもに対して思いやりの心のない先生もいると感じたり、見聞きに驚きました。教育者だけは本当に情熱と指導力、愛情のある人以外やってはいけない仕事だと思います。(40代)
- *我が小学校の校長は保護者の意見を参考にして変えようという気はない。現状維持で満足している。自分の立場が優先。良い先生もいるが、校長がダメだと学校全体が悪くなる。(40代)
- *教師の力量の差が大きい。同学年の中でも、クラスによる教師と生徒のコミュニケーション関係がとれている、いまひとつとれてないことが保護者からもわかる。(50代)
- *薬物乱用の授業を行っていても教師が学校近くの路上でタバコを数人で吸っていて、子どもから疑問視されている。(50代)
- *教師へのアレルギーに対する研修を強化。(50代)

*養護の先生はもっと（アレルギーだけではなく、生徒の持病への理解向上を図る）病気への理解、緊急時への対応出来るよう勉強すべきだと思う。どの先生も子どもの病気の理解度が低すぎる。（50代）

（6）教員の多忙化

*先生のゆとりが子ども達にキメ細かな教育ができることにつながると思います。1クラス20人位として1人1人ゆとりをもって目を向け心のケアや教育（学習）をして頂けたらと思います。（30代）

*先生方は負担が多すぎると思います。色々と改革も大切かも知れませんが、結局は子どもたちが集中して授業を受けられる環境さえあれば充分だと思います。（40代）

*学校の先生が本来の教育・学習指導に専念できるようにしたら良いと思う。小学校でも担任と副担任を置いたらどうか？メンタル面を指導する人、その他の事務処理をする人。分業したらいいと思う。先生が尊敬される立場になってほしい。（40代）

（7）学校・家庭・地域の連携・役割分担など

*悪い大人（心の幼い大人）が増えているから、「子どもは未来そのものだ」と大人に教育したい。学校で出来る教育と、家庭で出来る教育は車の両輪。どちらも欠けてはならないし、協力しなければ先へ進めない。（30代）

*学校で頂く手紙以外、「よこすか広報」か「はまかぜ」くらいしか情報がわからないので、イベント（地域）があれば学校の方でお手紙とか頂けると忘れず参加しやすくなると思います。あと学年レクを土曜日にやってもらえたらもっと参加しやすくなる。（30代）

*挨拶が出来ない子が多い。家は学校の近くなので、毎朝何人もの生徒さんと顔を合わせますが、子どもの友だちでさえも逃げるように通り過ぎていきます。挨拶は基本なのではないでしょうか？（30代）

*学校は家庭との間にいつも地域の役割を差し込んでくるが、子どもを安全に預かり、平等に教育する意欲は先生たち、授業の中でしかないなので、様々な事柄にも志を持って指導して行って下されば、子どもたちが親以外で大人に触れ憧れをいただく最初の方々なので、親も見守って行けると思う。（40代）

*親がもう少し生徒や教師を信頼して学校での取り組みに口を出さない方が先生も伸び伸び指導できるような気がする。かといって、任せっぱなしというのではなく、保護者はや先生の関わり方に関心を持ってほしい。（40代）

*何事においても責任の押し付け合いが多い世の中。一つに家庭からだと思っていません。二つ目に学校等。各々に役割りがあるはずだと思います。ほんの一握りの人間のする事がその職等に関わっている人々のやる気を失わせている気がします。（40代）

- *家庭内できっちり子どもの教育が出来ない不出来な親が「教師は生徒を殴ってはけない」などと言う資格はない。(40代)
- *とにかく、先生(親もそうですが)は子どもたちの事を好きでいて欲しい。耳を傾け、目で見守って、声をかけていきたい(私も保護者の立場で)。見守る目が多ければ多いほど子どもたちは安心すると思う。子どもは宝物です。大切に育てていきましょう！あと怒るときは怒っていいと思いますが、愛ある怒り方をして欲しいです。(40代)
- *親の責任逃れ、未熟な親が子どもを育てているため子どもも親も問題が起きた時に誰かのせいにしてしまう。それが学校であり、教師に矛先が言ってしまう。人間としての教育はあくまでも家庭である。もっと教育現場は毅然として家庭の問題は家庭に戻すべき。(40代)
- *学校に対し親はどのくらい関わっていいものなののでしょうか？意見を言ったりするのはいけないことですか？(40代)
- *子どもの育成に家庭で出来る事、学校で出来る事、地域で出来る事を具体化し、見える教育をそして共有、協力できる教育を目指して欲しい。(40代)

(8) 子ども

- *中学生の素行が悪すぎる。公の場で団体がうるさすぎる。(40代)

(9) いじめ、不登校、支援教育など

- *いじめ問題は、徹底的に授業で指導してほしいです。(30代)
- *いじめ対策の強化、アンケートをまめに実施し保護者に情報開示してほしいです。(30代)
- *いじめを撲滅することは不可能と考える。ただし、いじめを肯定するのではなく、地域社会一丸となっていじめが行われることに対しての真剣な取り組み(解決)が重要ではないかと考えております。先生や学校だけに責任を押し付けるのではなく、親子、地域の方、全てに責任はあると認識し、向かい合っていかなければならない。(30代)
- *まず子どもたちの心に大人の声が届けてほしいです。(30代)
- *支援クラスに通わせている親ですが、先生が足りないと思います。どうしても重度のお子さんの方になってしまうので、支援クラスに通わせているのに普通級と変わらない時がある。(30代)
- *いじめ、暴力どこからがそうなのか定義は難しいと思うが、愛を持って、熱意を持って、学校等に関わる皆さま頑張る。いつかは思いは伝わると思います。(40代)
- *テレビなど報道にあると思いますが、いじめ問題、不登校の問題について、教師たちが真剣に考えて欲しいと思います。(40代)

- *いじめ問題にしても、教育面全てにおいて主であるのは親であると思うので、親の意識を高めるべきだと思います。学校や地域はあくまでサポートして下さっていると頭において子育てをするようにならないと。TVなどで「学校で起こったことは、学校で・・・」のような事を云いますが良い事も悪い事も学校での事もその子どもを作っているのは親なのですから。矛先は学校ではなく親にと思います。(40代)
- *子ども達が明るく元気に教育を受けられる事が望ましいけれど、いじめや不登校など辛い事もあるかもしれない。そんな時にいろいろな選択があったり、相談できたりする行き場がある社会教育であって欲しいと思います。(40代)

(10) 放課後の子どもの遊び場など

- *放課後の「過ごし場所が」がないから、街をブラつく子が多い。ジュース1杯100円で入場できるこども主役の「スペース」が欲しい。そこには学校で教えきれない「豊かな文化財」を用意したい。時代を超えて愛されてきた「映画や音楽や美術や本やおもちゃ」が良い。(30代)
- *放課後児童に対する対策を早くどうかして下さい。特に小学校学童について、横浜市のように！！(40代)
- *放課後に利用できる青少年の家を増やす。(50代)

(11) 給食

- *中学校も給食にして欲しいです。(30代)
- *中学校で給食がないのは遅れすぎている。義務教育なら全国で統一されなければならないはずです。(30代)
- *給食、牛乳の給食において以前から支払いができるまたはすべき家庭であっても払わず、それが現実そのままになっているのは、きちんと支払いをしている者にとって我慢ならない。そして、その積み重ねで突然、全生徒の牛乳がストップする事も時々あるのはおかしいのではないか。(40代)
- *高校の授業料の無償化より給食費（小学校）を無償化へ。(50代)

(12) 施設・設備など

- *外部の人が学校に入り、無差別に児童を襲う事件があるので、防犯カメラを設置したり、門番がいて校内をパトロールして守って欲しいです。(30代)
- *校庭にライトをつけて、夜でもスポーツが出来るようにして、地域に開放して欲しい。(30代)
- *市内の高校の数がかなり少ない。(40代)
- *市立養護学校の建て替え希望。古すぎる。ちょこちょこ手を入れて頂いて有り難いとは思っているけど、古すぎ。(40代)

- *小・中学校共にプールがなかった。小学校は校外プールを利用していたが、中学になったらそれもない。夏の体育で泳ぐことも必要では？横浜市はほとんどの学校に設備があるのに横須賀市は財政の問題なのか？遅れている。(40代)
- *新設校は、他校に比べて施設が充実しすぎている。特別な学校の印象となる。現小学校のトイレ改修はされてはいるが、一部のみであるため、市全体、平等にお金を使って改善して欲しい。(40代)
- *学校開放がいつでもOKというのは生徒が落ち着かないのではないかと。(40代)
- *公立高校の施設の老朽化はひどすぎる。避難所として活用できるようにしてもらいたい。県立高校の施設が悪い。(50代)
- *公立高校は設備が汚いとか、古いとか言われます。環境の影響は、子ども達の心に大なり小なりあると思います。綺麗な所にしてあげたいです。(50代)
- *教育を語る前に、学習などをする場の環境から改善して欲しいと思います。小・中・高全てに言える事、全ての部屋（特別教室、職員やPTAの作業する部屋など）にエアコンの導入を希望します。今やそれは必要な事だと思います。(50代)

(13) その他（アンケートについてを含む）

- *質問が多すぎる。(30代)
- *問13についてですが、子どもは自閉症なので一般レベルの子と育ち方に違いがあるため、あまり参考にならないかと思えます。(30代)
- *保護者へのアンケートも結構ですが、その前に先生方がどのように生徒や保護者に接しているかを調査したらいかがですか？(30代)
- *「横須賀市の教育」については大変回答しにくかったです。子どもの通う学校についてどうにか理解できる、分かる程度で「わからない」ことばかりです。(40代)
- *こんなアンケートを行って、何か変わるのかなあと正直思っています。回答しづらい(選択しにくい)設問も沢山ありました。でも、変わってもらわないと困ります。(40代)
- *他の市から横須賀の高校に入り、まだ、1年生の為わからない質問が多く迷いました。(40代)

【3】 市民

(1) 教育内容など

- *安易に時代に追従するのではなく、人として基本的な能力を身に付けられる場の追求を希望します。選択の自由と結果への責任に関する学びの機会も必要なものと考えます。(20代)

- * 私はまだ子どもがいないので、正直アンケートに答えられない項目が多かったです。お力になれず残念です。近所に小学校がありますが、みなさん元気でとてもいい子たちだと思います。ただ、普段先生方をお見受けしないのでどういう先生がいらっしゃるのか分かりません。登下校時など安全のためにも先生方が校外に出てもいいのかなと思いました。(20代)
- * 自分で考え、その考えを元に行動に移せる教育が必要だと思う。大人の意見だけで物事を決めてしまうと将来、社会に出た時仕事を自ら見つけてするという事ができない大人になってしまう気がする。(言われないとダメ、言われないと仕事を見つけれないなど・・・)「自分で考える」ということは生き方として教えてもいいと思う。教育や知識を教える場でもあるが、道徳的な事、勉強よりももっと大切な事がある事も教えるのも教育の場所では必要だと感じます。(特に中学、高校生に)(20代)
- * 英語教育は文法を習うのではなく、ネイティブの英会話(日常で使える)をおしえるべき。学力も大事だと思うが心の教育をすべき。音楽、芸術、自然、生き物を大切に育てる事に重要。(20代)
- * いじめ問題、自殺、傷害事件など命を粗末にする人が多くなった時代だからこそ「命の大切さ」を教えてくれる先生、授業が必要だと思います。私が小学校の時の担任の先生は授業以外で「生」がテーマの劇をして親に見せたり、命がどれほど大切なものなのか、一生懸命に教えてくれました。その後どんなに辛く、消えたい感情に襲われても絶対死を選んではいけないと思っています。とても熱い方で、今でも感謝しています。(20代)
- * 授業の進み具合や宿題などクラスによってだいぶ差があるように感じます。勉強を進めて行ってもらいたいです。(30代)
- * 特別支援教育の様な外部から見て目立つ子ども達にはとても手厚く、教師も多く配置し、一般生徒たちへの指導にもれが出ている様に思います。学校によってもバラつきが見られるようで市内の学校の平均化を図って頂けたらと思います。中学校についても学力面で各学校の差が著しく、同じ市立の学校なのに同じように教育ができないのですか?生徒のレベルに差があるとは思えません。(30代)
- * 体育の授業が少なすぎると思うので、もっと子どもたちに体を動かす機会を与えて欲しいです。私が小学校の時は朝、登校するとグラウンドをマラソンしました。冬の間だけでしたがあまり風邪をひく子どももいなかったです。ゲーム機が増えて外で遊ぶ子供も少なくなっているので、鬼ごっこでもドッジボールでも何でもいいのでいっぱい身体を毎日かかさず動かす機会を与えて欲しいです。(30代)

- *日本人の良さである「勤勉さ」と「道徳の高さ」を身に付けさせるのが第一と個人的に思っています。これが日本の治安の良さにつながっていると考えます。学力に関しては、公立学校はボトムアップに尽きると考えています。学力分布をいかに底辺を減らせるかという事です。塾に通えなくて非常に優秀な人の学力アップフォローができればということなしたいと思います。(30代)
- *現在日本の子どもたちがどのような教育を受けているのか分かりませんが、街中で子どもたちを見かけると放埒な印象を受ける事が多いです。学力も低下しているのではないかと思うので、週休2日制には反対です。いじめもあるのではないかと思います。日本人は特に「みんな一緒主義」が強い。これこそがいじめの根源だと私は思う。又、本をたくさん読むことはとてもいいことだと思います。(40代)
- *自分自身の体験から学習への動機付けには、ちょっとしたことでも褒めてやる事が有効だと考えます。(40代)
- *各校の特別支援級間の交流を作ってください。筑波大学付属久里浜特別支援学校（療育センターを卒業した小学生以降の相談先が欲しい）⇒全国の自閉症養護学校の中心となっている学校が市内にあるのに……です。発信されている情報（教育方法）を是非市内で生かしてほしい。(40代)
- *精神的に孤立した人間にならないように人と関われる教育が希望。育児知識不足の親の為の勉強、教育があると良い。(40代)
- *夜、遅くまで子どもが出歩いているのを見かける事があるので、質問の選択肢の「子どもの安全性」は良くなる。コンビニ等、店への寄り道も見せてあまりいい事だと思わない。自転車の乗り方（ルール）も指導してほしい。道幅いっぱい広がって歩いている事もあり、人とすれ違う時でも避ける事はなく歩いている。勉強も大切なことですが、道徳もとても大切な事だと思います。(40代)
- *集中の無い子どもたちが増えていると思う。多動児や学習障害などの子どもがいる場合の支援を専門的に安心できる教育を多く取り入れて欲しいと思う。(50代)
- *ゆとり教育は失敗。小学校では基本の基本になるので、詰め込みくらいの勉強や宿題は出した方がいいと思う。PTAは口を出しすぎだが、先生方も子どもたちにいろいろ学んで欲しいと思っているのか？と思われる方が多く、なんで学校の先生になったのか？自問自答して欲しいと思う。(50代)
- *学校内では生徒は挨拶、礼儀正しいが、一歩外に出るとそれがやられていない。教育方法が違っているのか？(50代)
- *世の中科学、医学を進めるための教科書教育はこれ以上ありません。これ以上科学を進化させる必要はありません。子どもの心を育てるべく親たちの人間性が衰退しており同じく教師も衰退しています。学校という集団生活のなかで社会性や思いやりを育て競争社会より思いやり社会を築く教育をすべきです。そのためにはまず、親や教師・大人全般が手本となるよう努力すべきです。(50代)

- *子どもたちが将来物事に、さらには周囲の人たちに対して分別の意識のある大人へと成長できるような教育を望みます。たとえば、苦情と不平不満は異なる事、優しさと曖昧さは違う事、厳しさと単なる怒りは全く違う事等、様々な分別をよく見極める方を養わせる様にしていけば期待が持てる様に思います。それらに対してどこで常識のラインを引くかが個人で異なり、なかなか難しいわけですが、学校である程度客観的な線引きをしていただき、周囲の人たちもそれに合わせていく努力が必要かと感じております。(50代)
- *奇声をあげたり、態度の悪い子どもが多い！学校教育の中で社会常識をもっと強く教育すべきではないか。(50代)
- *全体的に見て今の人たちに欠落していると思うのは、我慢と思いやりの精神。困っている人が居ても見て見ないふり、切なくなります。誰もが生きやすい世の中になるよう本当は家庭教育が一番だと思いますが、大人になりきっていない人が多い。昨今、学校の教育は大変重要です。しかし、先生も大人になりきっていない教師も多く見受けられます。先生、生徒ともども道德教育が必要でないでしょうか？ダンス教育も良いですが、今一度学校教育を見直して頂けたら幸いです。(50代)
- *差別と区別を混同しない教育をして欲しい。しっかりとした規範意識を身に付けられるような教育をして欲しい。日本人としての自信と誇りを持てるように教育して欲しい。(50代)
- *日本の歴史認識を正しく理解させる。(60代)
- *子どもたちが小・中・高校を卒業して以降、学校との関わりや情報が全く入らず、どういう教育や設備問題があるのかわからず、残念ながら今回のアンケートに役に立てなかったと思います。情報社会になり、世の中が激動しているのでそれに対応しつつ、昔の伝統文化や歴史等もお勉強する必要があると思います。他国の欧米・中国に比べ学校の学習時間が短いと思います。塾に頼ることなく学校教育中心で行っていくことが大切だと思います。他国の子どもたちは下校後も家庭でテレビゲームなどすることなく宿題をしているそうです。(60代)
- *年配者は貴重な経験、仕事等をした人が多い。短い時間でも良いので、その事を話して生徒に聞いてもらえる機会があれば良い。市の広報等を利用して希望者をつくることも考えても良いのでは？私はある技術教習所で電気安全の講師をしている。(月6日程度)その中で感じた事で子どもの中に一般常識を知らない者があまりにも多い事です。世間の荒波に負けないような強い気持ちを持てる事。(知識、体力、精神)(60代)
- *道徳は保護者と一緒に進めると良いでしょう。何事にも逃げだす保護者や学校の姿勢が見受けられます。(60代)

- *各子どもは秘めた能力をもっていると確信します。その点、その秘めた能力を見いだしたり、感じさせたり、さらには自覚させたりすることが望まれます。教育の基本が自立への教えにあるとすれば、自立に際して子どもの特性を大事にすべきであると考えます。(60代)
- *暗いニュースが多い世の中です。昔は勉強できてもできなくても学校は楽しい場所でした。今、頼もしい先生も少なくなったのでしょうか？成績はもちろん大事ですが、何か他にも学校生活で学べる事あるように思います。全ての子、健やかに育て成長できる事願ってます。(60代)
- *私たちの頃はテストの用紙も先生が作成し、先生が答えのマルつけでした。現在は、テスト用紙は作成済みにも関わらず夏休みの宿題等全て親、または本人がマル付けをするようになっていて疑問に思います。答えの用紙が付いているので変な？答えを見てしまっただけで終わる事もあるので身に付いていない子どもでできているのではないかと思います。(60代)
- *1人の生徒も無駄にしない教育。まったく異なる考えに敬意を払う教育。「あなたは人と違うからあなたなのです」いじめなし！(70代)
- *校庭の草取りは生徒にやらせたらどうか。(70代)
- *米軍基地がある事という条件はあるが、教育については非常に熱心に推進している事に喜んでおります。子どもの成長は日本繁栄の宝だと思います。学生だけではなく市民大学もこれから更に充実して下さる事をお願いいたします。政治家の言動に惑わされることなくしっかりした理念のもとに横須賀の街を（文化的）引っ張って行ってください。期待しております。(70代)
- *今は小学校から塾に通っているが、私たちの頃は塾などに行かなくても大学まで卒業できた。塾に行かなくても学習が理解できるような基礎学力を学校でしっかりつけて欲しい。(70代)
- *英語教育は小1からやるべきである。英語で語られるようにすべきです。(70代)
- *礼儀や社会ルールが出来たうえで自立心をもたせる教育が必要です。(70代)

(2) 教育制度

- *小学校1年の娘がいて、やっと横須賀市の教育について考え始めたところですが、横須賀市では2学期制ですよね。子どもたちにとっては一番長い夏休み前に通知表や終業式がなく、ダラダラと夏休みに入る感じにとっても違和感を感じました。先生方の業務負担の問題もあるかもしれませんが、このような教育体制が世の中のメリハリのないだらしない若者を生み出してしまったのではないかと・・・と思うのですが。神奈川県内には3学期制の市もたくさんあるようなので、比較・検討してみてもどうでしょうか。(30代)

- *子どもがいないのでどこまで参考になるかわかりませんが、個人の意見を書かせていただきました。しかし、仕事上、小・中・高の子ども達と接する機会が多くあります。そこで感じることを記入させて頂きました。学校は“子ども社会”だと考えています。大人はそれをサポートするだけでよい。ですから、学校の中に“保護者の存在”は無い方が良くと思っています。もちろん、勉学も重要です。しかし、問題解決能力が身につけば、身の丈に合った学力も自然と身に着くはずです。小5にもなってバスや電車の時刻表も読めない子、通学に係る時間から家を出る時刻を逆算できない小6も知っています。子どもの“考える”“推測する”力を伸ばせる学校になって欲しいと思います。(30代)
- *ゆとり教育から今の教育方針が変わって子どもたちへの負担が大きいように思います。できる子とできない子の差が広がりそれに対しての学校の対応（教師の質）があまりよくないと思います。教育を変えるならば、まず、学校側の対応をしっかりやって欲しいです。(40代)
- *学校週6日制の方がいいと思います。(40代)
- *一貫化は公立では私は進める事は賛成しません。もともと小中は公立の場合一貫である。又、高校受験があるから公立であり中学で受験するなら私立を目指すべき。中途半端な中学受験になりかねないし、中学で伸びる子の芽を摘むことになると思う。(高校で受験できる高校の数が減りかねない)教育にお金がかかる時代。公立の学校の役割が変化していると思うが私立にできない部分を補って頂けたらと思います。(50代)
- *2学期制のメリットがわかりません。早く3学期制に戻してほしい。今現在のやり方でも3学期制に戻せるはずです。授業時数を減らさなくても可能です。夏休み前、冬休み前、そして学年の終わりに成績を出す方法が子どもには必要です。(50代)

(3) 教育委員会・行政など

- *友人に教職に就いている方が多数いますが、自身の子どものころとは比べものにならないほど、施設や教育環境の充実を感じます。しかし、保護者の態度や振る舞いは以前より悪くなっていると感じています。教員の方たちの苦労をはたから見ても痛感します。教育委員会の役割ではないかもしれませんが、親を見て子どもたちが育つので、親として大人な振る舞いのできるよう何か支援をして頂ければなあと思います。(20代)
- *教育委員会に問題を提示されたら直ちに生徒達にもアンケートを取るなり調べる。なにも行動しない教育委員会は何のためにあるのかと考えています。(40代)
- *子どもに本と触れさせる機会を増やす事。児童図書館の老朽化が進んでいます。ぜひ、横須賀市の特色である児童図書館を活かす取り組みをして欲しいと思います。(40代)

- *教委の閉鎖的な体質の改善。教育行政の責任の所在を曖昧にしている。首長と教委の関係について議論を尽くす必要がある。(60代)
- *教育に対する統一性及び目的がない。校長特に教育委員会の責任体制が確立していない。すなわち先生をかばえない(責任のがれ)。横須賀だけの体質ではないのでしょうか……。 (60代)
- *教育委員会が面子・体面・評判を気にしていないか。(70代)

(4) 教員

- *子どもが3人いますが(小・中・高校生)ここ数年教師が「自己都合」で辞める事が多くなった気がする。小学校の担任にも1人、中学生の息子の担任も体調不良との理由で変わり、後任の担任でさえ精神的な都合という事で学校を休む事が多いらしい。辞める際にも特にクラスの保護者にも挨拶はなく学級通信に文章だけ載せて曖昧なまま辞めていくパターンが多い。心身ともにバランスが取れていてかつ担任をする以上責任を持って教師という職を務めて欲しい。(30代)
- *小1の息子の担任の先生に算数の問題について「こんなのも出来ないの?」と言われて家で泣いていた事があった。それ以降はないようなので私も気にしていませんが、教育者としてどうなのかなと思った。(30代)
- *先生方も学校卒業からそのまま先生になる方が大半であり、社会経験なく先生になるため自身の価値観や先輩先生方、学校の教育方針によって教育の仕方が大きく変わってくると思う。先生になる人たちが先生になる前の教育を充実させ経験と知識が豊かで先生自身が良い人間関係が築く事ができる人材を育成していく事が大切であると思います。また、教員同士が交流し自分の悩みやアイデアを共有できる場があればもっと明るくなるのではと思います。(30代)
- *子どもの気持ちを汲み取る先生を育てて欲しい。問題が起こると保身をはかる先生が多い。(40代)
- *学力の低下、学力の上がらない生徒を放ったまま、教師の方々はサラリーマン化している。はっきりした事が言えない教師が増えている。(授業中の子どもたちの無法ぶり見て見ぬふりをしている)日本語が乱雑している。(40代)
- *いじめを担当、校長も認めたにも関わらず何度訴えても何も対策をしてくれず、口ばかり……。校長は自分の評価を守る事ばかり、その担任は体罰もしてました。教員とは思えないほど、特定の生徒をひいきする教師がいます。体罰ではなく、言葉の暴力に関しては人間性を疑います。学年主任をそんな教師がしています。親には大変感じが良く接します。筆記試験をどれだけ頑張っても作品が悪いのだと成績でもひいきするそうです。内申点を気にして子どもたちはその教師の機嫌とりまでするようです。どうか子どもの為と我慢している保護者もたくさんいます。調査・指導・研修などをお願いします。安心して通わせたいです。(40代)

- *教師にゆとりが無く（特に新任教師）指導に一貫性がないため、子どもたちが常に不安定になり信頼関係が築けず残念に思います。部活動で強制的に坊主にさせられ、学校の窓枠に頭をぶつけ、救急車で病院へ連れて行かれるほどのケガをしてしまい、その後強制的に坊主にした教師はケガの原因だけをつきとめ、病院から帰ってきた子どもへ含み笑いをした事もありとても不愉快に思いました。教育する教師も、もう少し指導して欲しいと思います。（40代）
- *決められた公立の中学校に入学、はっきりいって担任の先生がよくなかった。（3年間同じ先生でした）子どもも悩んでおりました。問4のところ②に○をつけましたが、成績の悪い子はどうでもよかったのでしょうか？（50代）
- *教育は学力向上だけではないと思います。学力ばかり考えない教育をして欲しい。先生方が昔の先生のように大きな心を持って欲しい。生徒から親しまれ尊敬される先生が少なくなっていると思います。今はすぐ訴える・・・それが怖いから先生方が弱くなっていると思います。訴えられることが恐れない大きな心を持つ先生がたくさんいる学校作りをして欲しい。（50代）
- *孫の授業参観に行ってますが、先生の服装がだらしない。若い先生は、黒板に書くときに腰（身）を丸出し、下着をつけて欲しい。中年はダラけた服装。質の良いジャージを制服にしたらいかがでしょうか？（50代）
- *教員採用後、一定期間は別社会での研修を行うべきです。（50代）
- *電車の中でテストの採点をしたりしている先生を見かける事がありますが、やめた方がいいのでは・・・（50代）
- *一生懸命頑張っている教員が多い事は認めるが、多忙ぶるばかりで仕事もしないで権利主張だけをしている教員も多い。一般より高い給与、安定した給与をもらっているから一部の聖職者顔をしている教員には全く腹が立つ。学校や教育委員会で教員に対する保護者のアンケート調査などをすべきと思う。反対する組合であったなら進歩を望まない権利要求だけの集団と判定せざるを得ない。（60代）
- *先生の中に力量・熱意不足の方がみられる。それに対して指導が確実になされていない。（60代）
- *教員は健全育成の精神のもと、特殊な保護者の誤った意見などにとらわれず、自信を持って教育指導にあたってください。誤った意見を持っている保護者に限って学校に抗議文などを出している。先生方は堂々と活動して下さい。（60代）
- *教師は学力よりも人間性で採用すべき。過去に他職業に就いたり、色々人生経験をお持ちの方、いじめを予防できそうな人、とかを得たい。（70代）

（5）教員の多忙化

- *生徒数は減少しているが先生一人一人の負担は増すばかり。質の良い教育を目指すのであれば先生の処遇改善も取り組んで頂きたい。（30代）

- * 教師も頑張っていますが、みんな親の対応に疲れています。教育現場に親の意見・苦情などが多く寄せられてその事に神経を使っています。そのエネルギーを子どもの方に、授業の研究のほうに向けられると良いのですが・・・ひとクラスの人数を少なくするか、ひとクラスに二人の担任を配置して下さい。特に若い新採用や2・3年の教師にもう一人の副担任が必要だと思います。(50代)
- * 教員は過重負担になっていないか。個人の時間、家族との時間を含め研究などのためにも使える時間が持てるようにしては。(70代)

(6) 家庭教育・保護者など

- * 全てにおいて本人の努力がもっとも大切だと思います。努力できる環境を整える手助けを教育の場に望みます。他に地域の人が他人の産んだ子供を宝と考え、みんなで子育てとかは無理。気にしなければいけない事は、子育てをちゃんとしないで産むだけの親。いじめをする子供、間違っただけの事をした子供を正せない親への対応です。先生を困らせるのは子どもより親だったりしませんか？間違いを正常な判断、方法で正せる大人が必要ではないでしょうか？いじめを注意できる空気がある教育。心を病んでしまう先生が少なくなるようにサポートしてあげてください。人の痛みがわかり、他人に迷惑をかけない人間がふえるとい嬉しいしいです。(20代)
- * 子どもがいないので、教育現場の現状は全く知りませんが学校に全てをゆだねるのではなく各家庭での教育も大切だと思います。あまりにもしつけがなっていない親が多いので親の教育などができるといいですね。(40代)
- * 子どもがいないので、地域や学校との接点がまったくありません。こどもについては外出時に見るだけですが、親のマナーや常識を疑います。全体で取り組んで欲しい。(40代)
- * 学校教育も重要であるが、各家庭における日常の教育が最重要と考える。親が責任を持って子育てすることが、大切では。(60代)
- * 今の世の中、親子のコミュニケーションを取る時間が少ない事が心配です。父親だけではなく母親も仕事をしていることにより忙しい為、子どもの言動に対して目にした時のみ全てと思いきみで、子どもの人格を決めたり親の思い通りの行動をしない事で腹をたてたりするのはおかしいと思います。先生の中にも見て見ぬふりをする先生が多いようにも感じます。(60代)
- * 家庭でしつける事柄を学校側におしつけていないか。(70代)

（7）学校・家庭・地域の連携・役割分担など

- * 日常生活で社会のマナーを守られていない学生に良く遭遇します。電車に乗るときは降りる人が先、優先席で携帯は使わない、道をふさいで歩かない等私は小学校で教わり自然と身に付きましたが今は教えないんですか？勉強だけが学校の教える事じゃない。家庭でも教えないのかと疑問です。（20代）
- * 目上の人にタメロを使用したり、バスや電車などでお年寄りに席を譲らない子が多い。社会に出るまでに知らなければいけない最低限のマナーなどは親からの指導があつてのものだが、子どもが子どもを産むという時代でもあるし、それは望めない。学校側の負担にもなるが、学校側から土日などに保護者に向けての子どもへの指導方法などの授業を積極的に行っていくのはどうでしょうか。（20代）
- * 1歳半の子どものお母さんですが、テレビなどを見ていると親が強すぎるのではないかと思います。学校側が強すぎても問題だと思いますが、学校の方向性がはっきり見え納得すれば自然と親を動かし地域を動かしていくのではないかと思います。地域全体で教育育てる様な環境になるといいなと思います。（30代）
- * 勉強については学校が中心ですが、子ども教育全般としては、学校、家庭、地域が一体となって取り組む必要があると思います。そのためには各家庭が地域（町内会）に参加し、学校と町内会で定期的に会合を行い、情報交換を行います。まずは、全て学校任せにするのではなく各保護者の意識改革を行い、社会全体で教育に取り組む雰囲気を作ることから始めるべきだと思います。（40代）
- * 学校の先生が親の顔色を伺いすぎている様に感じる。先生が保護者におびえている様では良い教育はできないと思う。今の世の中保護者も良くないと思う。難しい問題である事は充分理解できるが、もっと堂々と自信を持って欲しい。家庭でできる教育というものもたくさんあるので、学校だけではないと思う。（40代）
- * もっと子どもが安全かつ安心して外で遊べる環境が広まって欲しい。子どもの声が街中に響きあつたらいいのに。（60代）
- * 小学生、中学生に携帯電話（スマートフォン）、最新の物を持つこと自体悪いとは思わないが、学校を出れば夢中で歩きながらの操作はいかがなものか。学校での教育ではないと思われませんが、モラルの低下が最近多く見受けられる。事故等怪我をしてからは「後の祭り」何か家族内、学校でも手を打つべきではないでしょうか。（60代）
- * 礼儀や社会のルール等を教育委員会（含先生）・地域住民と共同にて活動を進めてもらいたい。（60代）
- * 教育に対する親の考え、教師における制度がだいぶ以前と違うので、精神面で教育そのものが難しい時代であるので、学校教育、家庭内での子供に対する親の姿勢のあり方を充分考え直す時であると思われまます。大人が子どもに対しても充分理解し配慮すべき点があるのでかないか。（60代）

- *家庭で躰が充分できない子に対して、地域、学校で連携した取り組みを更にとる必要がある。(60代)
- *愛情もって育てていけばやさしい子どもに育っていきます。(過保護にしない)
(70代)
- *地域の方々がそれとわかるベストを着て朝夕散歩しながら子どもたちの見守りをされている事やいろいろな職種の方々が仕事をしながら(車で走りながら)見守り隊のワッペン(ステッカー)等を車等に付けているのも良い事と思います。世の中の大人が子どもたちを見守っているよという市全体地域全体の取り組みが必要と思います。(70代)
- *親学の必要性。(70代)
- *教師⇒子⇒親のつながりが密でない(学校の方針が子⇒親の方まで伝わってこない。)家庭に問題・PTA会合に関わっていない人への伝え方。(70代)
- *小学校では校区が狭いが中学となると広がる⇒学校帰りの買い食いによると思う(缶、食べた後の袋等所かまわず捨てていく)等道徳(なんでもない事の良し悪し)の判断が出来ていない。(70代)
- *子どもは国の宝という考えはなく自分の子どもにしか目を向けられない。他の子どもにも目を向け悪い事をした時はみんなで注意し合うようにしたい。(70代)
- *時代が変わったとはいえ、子どもへの過保護が気になる。体罰は限度ものだが、規律は大切。子どもを甘やかすだけでは将来の為にならないと思います。(70代)
- *定年退職した人や業者等、地域にはいろいろな才能・経験・技術を持った人が多くいられます。こうした人材を活用して放課後や休日等に少人数単位で交流する制度を導入してはいかがでしょうか。(日常生活での英会話、海外での生活様式 etc)
(70代)

(8) 子ども

- *先生の指導をどうこう言うつもりはないですが、生徒の質が悪すぎます。家庭でも指導はしますが、(教室)空気に吞まれてしまい結果駄目になってしまいます。教育・・・本当に難しいです。(40代)
- *子ども達の学力は低下している。将来の夢、希望が持てず意欲に欠ける子が多いと感じる。(40代)
- *携帯電話が普及したが、そのみに注意が向けられ、大人との会話態度が感心できない。これでは世界に出ていって自分の意見を述べ相手と豊かな人間関係は作っていけない。非常に不安。これから世界が相手。人間はみな兄弟の意識の寛容が重要であるまいか。(70代)

（9）いじめ、不登校、支援教育など

- *差別のない、いじめがあっても無視しない教育が必要だと思う。いつくしみの心を育てる思い。ただ、教育はやればいだけではない。1人ひとりの思いを大切にできる教育が必要。(30代)
- *小学生の娘を持ちます。学校にはいじめがないか・・・とまず第一に心配してます。子ども同士のやり取りの中で嫌な事があるのは仕方のないことだと思うし、そのやりとりをして成長していくものだと思っています。なので、いじめの現状があった時には、それに気づき対応できる先生が必要だと思います。子どもも意外と親には話さないです。教育現場にいる先生にお願いしたい事です。(30代)
- *テレビなどでいじめが原因で不登校や自殺の話を目にするので、学校が教師がどれだけ子どもたちの事を守ってくれるのか本当に不安です。(30代)
- *人が人である限り、いじめをなくすなんて無理。子どもが子どもらしくいられる環境が必要。(30代)
- *いじめはどんな形であれ、存在すると思う。「なくす」対策も良いけど「起こった時」の対策も必要だと思う。「ない」と言い切れるのは大人の都合の様な気がする。教師は私生活と仕事の境がないと聞いた事がある。教師の教育、リフレッシュなども質の向上になると思う。(30代)
- *私はいじめ(くだらない理由で始まります。生意気とか)が絶対許せません。私自身、中学生の時に1年間クラス全員に無視されました。謝ってきましたが、無視された私は大人になった今でも心の傷になっています。自殺も考えました。でも「明日は今日より楽しいかもしれない」と思い、1日1日を過ごしました。欠席もせず、卒業式には皆勤賞をもらいました。でも、本当に辛くて苦しんでいる人は自分で自分の命を絶つ事を考えます。そういう人はなかなか周りに相談しません。私もできませんでした。是非先生方には日頃から子どもたちがなんでも話せる環境を作って頂きたいです。それと学校の先生方全員が障害児教育について積極的になってくれば、障害のある子どもの親としてとても安心します。指導死もあってはいけない事なので感情的にならない指導を心掛けてもらいたいです。勉強も大事ですが、それよりも人との関わり方が社会に出るうえで大事だと思います。生きにくい世の中になりました。子どもたちにとって自分のいるところが「全て」なので、そこで不安になればずっとそれを気にして過ごすことになります。「生徒」がいるから「先生」という職が存在していると思うので、子どもたちに常に寄り添う教育を切に願います。(30代)
- *いじめをする児童、生徒の親御さんはひとまかせやいじめをする児童、生徒に対して「うちの子に限って」という。学校の中を見たわけでもないのにわかった振りをする。これは昔から変わらずむしろ増加。担任や保護者がもっといじめに関心を持って欲しい。(40代)

- *子どもたちの心の叫びを日々の行動で気づき、不登校など減らして楽しい教育の場を築き上げて欲しいと思います。(40代)
- *他の市で、生徒のいじめや自殺のニュースを聞くと本人もつらかったでしょうが、その親や先生のショックを思うと言葉に詰まります。互いに言葉に出して相手を理解していくことがどうして出来ないのでしょうか。中学での勉強がまだまだ一方的でその知識量も多く急いでカリキュラムをこなさないとならないのでしょうか。それだけ横のつながりが薄くなるのかな。(50代)
- *今、特に心を痛めている問題は「いじめ」です。私の学生時代、クラスで騒動がありました。担任の先生を交えてクラス全体で話し合い解決をいたしました。最近の「いじめ」は自殺者が出るほどのすさまじいものであるだけにとても悲しく残念に思えてなりません。簡単な事ではありませんが、このような悲惨な「いじめ」をなくすために何とか対策をたててよりよい学校生活を築いていかれる事を心より願っております。(50代)
- *「いじめや体罰が原因の自殺」のニュースでの学校の記者会見で「いじめ（体罰）はなかった」といっているのを聞くと非常に不愉快です。せめて「調査中だ」と言って欲しいものです。ただの「責任ののれ」にしか聞こえない。最近の教育の色々な問題は「親子のコミュニケーション不足」が根源にあるような気がしてなりません。「仕事・共働き」は言い訳です。「親への教育」も必要ではないでしょうか？(50代)
- *最も切実な「いじめ」を真剣取り組んでもらいたい。安心して子供を通学させるためには1教室1教師では目が行き届くわけがない。授業中、昼休み時間、常に1クラス3人の補佐が必要だと思う。補佐の先生は子ども達の相談役だったり子どもたちの助け船の役目が必要。学校で悩みを抱えている子どもの話を聞かされた親が相談に行ける窓口、通り一遍ではなく必ず解答が出せる、たらいまわしではない確実な専門家が必要と思う。学力が大事な事は当たり前ですが道徳をしっかりと教えられる時間を増やしたらいかがでしょうか。何か新しい事をするとなると市の予算とかで逃げるがなんとか取り組んで欲しい。(60代)
- *中学校における生徒による暴力事件に関してはもっと積極的に警察を。(70代)

(10) 施設・設備、学校開放など

- *子どもたちのスポーツに対しての施設の充実を希望します。(40代)

(11) その他（アンケートについてを含む）

- *1人ずつの質が落ち込んでいる。教える側、教えてもらう側、年齢含め関係無い。老若男女問わず質の向上必要あり。そのためには市・国の力も必要。現在高齢者の方々のマナーも悪い。(20代)

- *教育機関のますますの発展をお祈りします。(20代)
- *キーワードは「コミュニケーション(親と子⇒職員同士)とアフターケア(親と子)」
指導の完結⇒指導するだけでなく、最後に説明し生徒に理解させる。(30代)
- *アンケート内容について小学校と中学校では学校に求めるもの、役割りが違うため問3と問4は適切のものを選ぶのが難しかった。(30代)
- *都内や県内の他の市町村と比べるとあまりにも特色が無さ過ぎる。私が通学していた頃とあまり変化が無いのではと思う。市内には私立の学校が少ない為、公立校に進学する事が当たり前のようにになっているが、魅力ある私学があれば多少コストがかかっても私立に入りたいと思う事がある。又、横須賀市の中学は相変わらず給食がないが、近隣ではほとんど導入されており遅れていると思う。最後にこの様なアンケートに回答するのは構わないが、集計した結果を報告してもらいたいし、アンケートから実際に改善された項目なども定期的きちんと市民に知らせて欲しい。人口も減少し横須賀市の先行きにとっても不安を感じているのでせめて教育ぐらいは他の市町村には見られないユニークな施策を行ってほしい。(30代)
- *中学校での給食は実施した方がいいと思う。働いている母親が多く弁当を持ってこない又は買ってばかりいる子が多く、小学校で地産地消を進めているのだから中学校で更に地産地消を推進してバランス良く食べるように指導が必要だと思います。昼食で安定すれば子どもたちも健やかに成長できるのでは！！(40代)
- *自分に子どもがないので、現教育システムの是非は分からないが、親と教師の常識欠如を感じる。横須賀に在住していれば、最低限関与する公共施設(病院・ゴミ処理場・救急の現場・警察など)でもっと研修の機会があった方がいいと思うが・・・非常識な救急車使用、救急外来受診、ゴミ捨て、110番使用など大人の世界から改革すべき。(40代)
- *中学校での給食を始めた方がいいと思います。成長期の大切な時に家庭によって食の格差が生まれるのは良くないと考えるからです。(40代)
- *期待していません。子どもの生死に関わる事だけは真剣に取り組んで欲しいです。(40代)
- *調査に協力することは嫌ではありませんが、学校から離れてしまって年数が経っていて現状が分からないため、協力にならずに申し訳ありませんでした。未来の子どもたちの為にも頑張ってください。何か協力できる事、見つけてみます。(50代)
- *学校の禁煙化が進んでいる事は良いことである。差別ではないが、女性教師がたばこを吸っている姿は小学生(特に低学年)にはショックであった。(実際に何人かの子どもから言われた)(50代)
- *今の子どもたちは、私が子どもだったころより大変大人しく良い子が多くなったと感じています。その代わりに気力が充実している子が少なくなっていますか？そこが気になります。(50代)

- *横須賀市の教育や子ども達の現状に関して、身近に子どもや生徒がいないため、全く分からず参考になる回答ができません。子ども達の様子を知るには、各学校のホームページを見る事が出来れば現状がわかるのでは、と思いました。(60代)
- *今日的教育課題が様々ある中で現場で教育を担っている方々及び教育行政に関わっている方々の努力に敬意を表します。教育は自分が経験したイメージでしか語れないといわれます。現在、直接教育に関わっていない市民にとっては、問8・9・10は用語の意味を含めて分からない事が多く、無責任な回答になってしまうので困りました。このアンケートの目的は何なのか疑問でした。(60代)
- *子どもが成長し現在いないので学校との関わりが無くどう教育等が実施されているのか分からない。問題の解答に無理がある。(60代)
- *体罰⇒「一概に悪い事」と決めつける事はない。先生も気概を持って信念を貫く気持ちで児童・生徒に対処願いたい。いじめ⇒社会的悪である。加害者は氏名の公表など検討すべきだ。(60代)
- *幼稚園教育は私立が数多くあり、月謝の負担が大きい。補助金があっても月謝の一部であり、又、所得制限があるため公立の幼稚園との格差は大きい。幼児教育で心の成長、身体の成長を大切に、小学校へとつなげて欲しい。教育の根っこの部分、幼児教育に目をそそいでほしい。(60代)
- *教育現場にいない人間に何を求めてもたいした意見は無い。(70代)
- *子どもはもう成人しているので実際の内容は分からない。子育て中の父兄に絞りアンケートをした方が良い現場の情報がより判ったのではないかと思う。(70代)
- *世の中、全体的にお金儲けに走り子どもも大人も金・カネ・かねと報道し親の考えもそのように感じられます。もちろん教育面も点数が良ければ親も子も世間も優等生だ。落ちこぼれは救いようが無く無理。それで子どもたちは「どうでもいいや」と考える事もある。家庭教育の乱れ（ワガママ等）家族の在り方、学校教育、社会の数々の問題点どれも人間生きて行くのに大切と考えております。この調査（アンケート）の結果報告を知りたいと思います。(70代)
- *私には小学生の孫が三人おりますが、横浜市内に住んでおりますので、今回のアンケートは知らない事ばかりで回答できませんでした。部活での体罰、受験の為に小さい時から塾通い、長い人生の中で大切なものは何か。子どもを育てる親、そして先生方愛情と厳しさが昔と比べ少ないように感じます。多忙すぎて余裕がないようにみえます。月2回ほどですが、息子夫婦、孫三人と夕食を共にし、いろんな出来事を（学校の事）話す機会を持っております。(70代)
- *私たちの頃は教師から手を挙げられる事もあったが、なぜそうされたのか。自分たちの事を考えていてくれたからだと理解できた。(70代)

【4】 教員

（1） 教育内容など

- * 「わかる授業、子どもたちにとって楽しい授業」が少しでもできるようにしていきたいです。（小学校、30代）
- * 子どもたちの話をよく聞いて、適切にアドバイスしたり、楽しい会話をしたりして、子どもたちの気持ちを大切にしていきたいです。いけないことはきちんと諭して「何がいけないのか、どうしてよくないことなのか」が伝わるように注意します。（小学校、30代）
- * 教育活動そのものが簡単に結果を出せないものである以上、ひとり一人の個性をいかし、ゆるやかに重なり合いながら子どもも教員も過ごせなければならぬと思います。型をはめ、同じようなパターンで教育がなされていくのは本当に豊かな事とは言えないのではないのでしょうか？そうせざるを得ない力量不足を言う前にいろいろな事があってもフォローし合い互いに高め合えるゆっくりとした時間（そうしようとする結局自分の首を絞め多忙化になってしまいますが・・・）が必要と考えています。（小学校、40代）
- * 生徒の心に訴える授業へ。生徒が真剣に取り組む授業へ。（中学校、60代）

（2） 教育制度

- * 放課後サポートティーチャーの制度はどうかと思います。子ども達に7時間目の授業を作ることに意味があるのかと思いますし、効果があるとは思えません。また、遅い時間の下校で安全が確保されていないように思えます。学童期の子ども達にとってたくさん遊ぶことも人生の勉強だと思えます。形だけの制度は止めてほしいです。（小学校、30代）
- * 25人級、少なくとも30人級の早期実現を望みます。40人級ではきめ細かな支援、指導は難しいと思います。休憩時間と勤務時間の関わりがかわってから、休憩が取れないために疲れが取れにくい状況が多くなったように思われます。他の職業と違い休憩時間の取り方が違うと思います。（小学校、50代）
- * 2学期制にしても、今製作中の横須賀スタンダードにしても、何でも横浜市の後追いである。横須賀市の地域や児童生徒にあった横須賀オリジナルスタイルを作るべきである。（小学校、50代）
- * 市立高校にスポーツコースを作り、スポーツの人材が他市や私立に流れないようにする。（中学校、30代）

- *授業時間数を増やすだけで、質の良い、バランスのとれた教育となる事はありません、全く逆の結果をもたらすだけである。できるだけ早期に三学期制に戻し、土曜授業を実現して、地域の参加しやすい体制に戻し、行事にも十分時間をかけて子供に達成感充実感を与える事などが、豊かな教育になるはずで。授業以外の時間を十分に確保できる体制に戻すべきです。（中学校、40代）
- *3学期制になりませんか。（中学校、50代）

（3）教育委員会・行政など

- *現場の声を反映した教育行政であってほしい。（小学校、40代）
- *子どもの環境や保護者の生活意識など、学校では解決できない問題が多い。その中で、子ども達の教育活動を行ってもなし崩しになる事も多々あるので無力感が増す。児相、地域の民生委員、児童委員、保健所などに、もう少し権利？を与えて直接的に保護者に働きかけたら良いと思う。（小学校、50代）
- *受け入れ生徒数（全校生徒数）をもう少し考えて欲しい。（中学校、20代）
- *教委は個々（教員）への校正適正な評価をきちんとしてほしい。苦情ばかりに目を向けず、それ以上の内外の高評価がある場合には、それをどうにか生かすべきではないのか！（中学校、50代）
- *市の施策が小・中学校の内情や実情を踏まえて行われていることは実感できるが、高等学校（横須賀総合高校）が意識されていない（一切考慮されていない）と感じることが多々あります。このアンケートの設問もそうです。市教委事務局のメンバーの中に高校のことを知っている方が、ほとんどいないし、高校を担当する部署もないから、意識できないのも無理はないと思います。特に、様々な課題の中でも高校におけるキャリア教育に対し指導助言を行える体制づくりは急務だと思います。（高校、40代）

（4）教員

- *ベテランの先生は若い先生の見本となる言動をして欲しい。それが出来ない先生は子どもの前に立つべきではないと思う。個人的には土曜日も授業があっても良いと思う。職場の雰囲気を悪くする先生がいるので困る。（小学校、30代）
- *とにかく人が足りません。誰か一人でも休んでしまうと自習に入ってくれる先生もいない状態です。具合が悪くても安心して休めません。人を増やして欲しいです。（小学校、30代）
- *子ども達一人一人に対応するにはまず少人数クラスでの指導が必要と思う。教員の数を増やして欲しいです。（小学校、30代）

- *「教師の力量」について、学級経営力や人間関係の築ける力など、「人間性」のような部分がよく焦点にされる。しかし、より授業（学習）をわかりやすく、学力を見童生徒につけてあげられるかという「学習面での力、指導力」も同じくらい大切なものだと思う。研修や出張など、もっと「教師の授業力向上」を狙うものがあるのもよいのでは……。 (中学校、30代)
- *保護者は中・高に専門性を期待しているので、専門教科以外のものを担当するのはどうかと思う。また、教師側にとっても全く関係のないものの準備する時間を作らなければならないのは、負担だと思う。(教えるのなら、しっかり教えたいと思うので) (中学校、50代)

(5) 教員の多忙化

- *まだ、経験年数が浅く知らないことが多いです。また、すぐに先輩になってしまい成長をいそがされているように感じてしまいます。もっと先輩方にたよりたいが、たよれない雰囲気があります。校務分掌も力量に合わず苦勞しています。もっと若い教師をゆっくり育てる環境や若い教師向きの研修が増えると、より学校にいる若者が楽しく前向きに子どもたちと向き合えると思います。(小学校、20代)
- *現状でもなかなか厳しい事が多いのですが、さらに土曜日が普通に授業の日になったり、夏休みまで登校するのは厳しいです。(小学校、20代)
- *毎日が忙しくて、公私ともにゆとり（余裕）がない。(小学校、30代)
- *年々多忙化が進み、子どもに関わる時間を作るゆとりもなくなっていると感じます。(小学校、30代)
- *学級の人数を20～25名程度にしてほしい。多忙化を解消してほしい。現場に時間と余裕がない。(小学校、30代)
- *〇〇教育というのが多すぎる。それぞれ担当が頑張ってしまうことで、現場は多すぎる教育課題を負う。視点を持つ事は必要だが、学校独自の重点を明確にして軽重をつけることを良しとしないとやりきれず苦しい。長い目で全部に触れられれば良い。(小学校、40代)
- *大量退職で職員室の風景が変わった。若い先生が増え、中堅は少ない。技術を伝えたくても多忙な中、なかなかうまくコミュニケーションが取れない。また、非常識な保護者の対応に追われ、頭を抱える事が多い。真面目な人ほど気付かれし、体力も奪われる。もちろんこの仕事が好きだし、やりがいがあり上記の状況をなんとかしたいと思っている。こういった調査は自分を見直すきっかけにもなり有り難い。市の施策に期待している。(小学校、40代)

- *教員の数を増やして欲しい。若い先生方が増え、経験が少ない中できめ細やかな教育を求められても無理がある。特に現在 40 歳代の教員の数が極端に少なく不安である。一人一人の子どもをしっかりと見て行くためには、少人数学級制をとり多くの目で指導出来た方がよい。（小学校、40 代）
- *校務支援システムになり、通知表、出席簿記入に大変時間がかかるようになりました。その場面にいくまでの（時）間がかなりかかります。又、通知表所見には伝えたいことが沢山あるのに字数が決まっているので削って入力しようとすると又保存出来ず、やり直すの繰り返しです。もっと自由の効くものであったり使いやすいものにしてほしいと思います。（小学校、50 代）
- *今このアンケートを書いているのが夜 8 時です。もう 12 時間以上学校にいます。辛いです。教師が追い込まれるような教育改革にならない事を願っています。（小学校、50 代）
- *とにかく学校運営がうまくいってないと、すべてうまく進まなくなる。保護者の質も、家庭でのゆとりのなさが変化してきていることと思うが、学校も、人手不足、協力体勢がととのっていなかったりと、研修をやってもより授業をよくするための時間が削られたりと悪くなるばかり、しっかりと、全体を見られる環境作りが大切だと思います。自分の家庭、生活を犠牲にできる人しか、教員ができないような状態になっていると思います。（中学校、40 代）
- *教員の仕事の多忙化をどのように解消するか考えてほしい。例えば、横浜市では給食費の徴収を学校と切りはなし、市が行うことになったので、教員の負担がひとつへった。（中学校、40 代）
- *校務支援の導入により、かなり多忙になった。無理に使わせるのではなく、機能が完成されていないものは廃止してほしい。（中学校、40 代）
- *新学習指導要領になって 50 分 6 校時が増え、放課後の時間が短くなったにも関わらず教師の仕事が減らずに増えている。（統合などの取り組み、学校行事の取り組み、研究委託等）結果、生徒と教師と一緒にいる時間が減り、生徒を理解したり、面倒を見る時間がとれず、コミュニケーションをとれなくなっている。授業優先も良いが、HR や二者面談等を削る等、生徒を育てるという意味では本末転倒となりかねない。（中学校、50 代）
- *「良いこと」をどんどん取り入れることによって学校はパンクしそうです。新しい「良いこと」をするなら、そのための条件整備が必要です。子どもと向き合う時間がとれる学校にしていきたいと思います。「子どものため」ではなく、学校のため、教育委員会のため、文科省のために時間外まで働かされているように感じてしまい、意欲が沸きません。（中学校、50 代）

（6）学校・家庭・地域の連携・役割分担など

- * 地域、家庭によって教育に対する重さや考え方にあまりにも違いがあることに戸惑います。学校は公教育の重要性やその理由を親にこそもっと広めていかなくてはならないと強く感じる一方、目上の保護者へどのように伝えていけば良いのかと悩む事の多い5年間です。「公」教育とは何なのか。子どものためにも共有したいと思えます。（小学校、20代）
- * 就学児説明会、午前に行く学校と午後に行く学校がありますが、午前だと働いている親は1日つぶれてしまうので全学校午後にした方がいいと思えます。（小学校、30代）
- * 校務分掌で他の先生方に迷惑をかけることのないように、自分からすすんで活動したいです。（小学校、30代）
- * 学校選択制と特色ある学校づくり、小中一貫教育がうまくかみあっておらず、例えば部活動で学校を選ぶなど、うまくいってない方が目立つように感じています。（小学校、30代）
- * 中学校の学校選択制は地域連携と相反している。せつかく小学校で地域と連携することを多く行っても、実際に中学校へ行く時は部活動で中学校を選び、地域の中学校へは行かないという事態になっている。小中一貫を考えていく上でも学校選択制はそぐわない。学校選択制については再考してほしい。（小学校、50代）
- * 地域の年輩の方だけでなく一派企業の方々や芸術家など、若い力を学校に招いて講師になっていただく。地域にその力があればいいということで。そういった機会を多く設けることで、様々な価値観の学習をさせることが大切かと。（中学校、50代）

（7）支援教育など

- * 支援級の保護者の話によると、学校によっては指導や受け入れ体制にずいぶん差があるそうです。支援級の入学予定児童向けの小規模なお母さん達の交流会みたいなものをもっと企画してあげるといいと思えます。（小学校、30代）
- * 特別支援学校の教員として、障害児者への意識の薄さを感じる。ぜひ子ども達の視点に立った配慮をお願いしたい。（特別支援学校、50代）
- * 学校間にもよるが、不登校支援の必要性、または支援の仕方がわかっていない学校（担任）がいる。もっと学校全体でどう支援すべきかを共有して進めてもらいたい。（特別支援学校、50代）

（8）予算

- * 文化都市と言いながら、教育財政をけずるばかりである。文化を作るのは人である。これからの横須賀の文化を担っていくのは、今の子ども達である。教育予算を増やしてほしい。そして人材の確保を行ってほしい。（小学校、50代）

*教育にかかわる予算は削ってはダメ。高給取りだとなれば優秀な人材が集まってくる。様々な活動にも予算は必要。無駄使いはいけませんが……。やりがいを強く感じられるような職(場)環境作りが重要。研修して授業改善するのも費用がかかる。
(高校、50代)

(9) 施設・設備

*施設も老朽化しているので、改修して欲しい。(トイレ、プールなど)
(小学校、40代)

*校庭の芝生化・・・見た目は緑化しているように見えるが、児童の遊びの制約を増やしてしまうような学校を見ている(芝生養生の為グラウンドで遊べない)
(小学校、50代)

(10) その他（アンケートについてを含む）

*保育園の先生、親、小中の教員、親への簡単なアンケートを定期的に行えば、今必要なものが見えてくると思います。(小学校、30代)

*問25は、一教員としては評価しかねる項目が多く、目的にも疑問を感じます。(他の学校のことは、わからないので)(中学校、50代)

*問25は比較するものがないので、わからないが多くなってしまった。
(中学校、50代)

横須賀市教育アンケート報告書（学校教育編）

平成 25 年（2013 年）9 月発行

編集発行 横須賀市教育委員会事務局教育総務部総務課
〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
電話 046-822-9751（直通）



YOKOSUKA CITY
SINCE 1907



横須賀が大好き!